バングラデシュ

野菜栽培ハンドブック

——慣行野菜栽培調査報告書——

1982年 3 月

国際協力事業団
青年海外協力隊事務局

刊行にあたって

昭和48年から始まったバングラデシュでの協力隊活動は今年で9年目を迎え，累計130人有余の隊員が派遣されるに至った。

バングラデシュにおける協力隊活動の特徴として，隊員の約80％が農林水産分野の開発に寄与して来たことがあげられるが，そのうち約30％にあたる31人が野菜栽培の指導に従事してきた。バングラデシュでは1次産業の発展を開発計画の第一目標に掲げており，協力隊としても上記分野を中心とした協力活動を重点的に推進する方針であり，中でも稲作，野菜栽培に関する隊員の派遣が今後ともに大きな比重を占めるものと考えられる。

隊員による協力活動の成果は，地道で小さな努力の積み重ねのうえに成り立つものであり，早急に成果を期待出来る性質のものではない。しかし，長期的な展望に立って協力活動を理解する場合にも，隊員が原則として2年間という限られた任期内で活動していることを考えると，現地の農業事情を出発点で，より深く，正確に把握しておくことは業務の方向付けに大きな意味をもつものである。ちょうど育苗が作物の収量増大に大きく影響することと同様に，出発点での理解度の深さは隊員の活動期間全体の成否を左右すると言っても過言ではない。また，同じ国内においても，慣行農法は地方によって異なっていることから，隊員が自分の任地のみならず，他の地方での栽培方法を対比し研究することも必要となるであろう。

このような観点から，今回バングラデシュ各地での野菜の慣行農法を調査した報告書としてハンドブックが編集出版される運びになったことは，誠に欣快の念にたえない。バングラデシュ農業の一端を紹介するものとして，活動中の隊員および後に続く隊員達に役立つことを期待するとともに，他の派遣国で活動する隊員達の地道な努力をも励ますことになれば幸いである。また同時に，本ハンドブックは現地での活用を主目的として作成されたものであるが，内容の不備な点や，参考となる事柄について識者の方々からご指導，ご批判を賜れば望外の喜びである。

本ハンドブック編纂にあたっては，元農林水産省九州農業試験場園芸部長・秋谷良三氏から多大のご助力とご指導を賜った。ここに明記して深甚なる謝意を表したい。
また，現地において慣行農法の調査を行なうとともに，汗にまみれ，一致協力して

資料の収集と起草にあたった隊員諸兄の努力を称える次第である。

昭和５７年３月

青年海外協力隊事務局

事務局長　野　村　忠　策

はじめに

このハンドブックの構想が生まれたのは今から5年あまり前であった。当時，バングラデシュ国で活動中の野菜分野の隊員が年2回定期的に野菜隊員会議を開き，業務上の意見交換，問題点などについて話し合いを行なってきたが，協力隊前技術顧問・中川龍一氏の助言もあって，将来バングラデシュの野菜栽培をどのように改善，発展させていったらいいかという観点から，その方途を考えるための基礎資料として慣行野菜栽培の実態を調査することが提案された。そして，この調査資料は日頃の活動に示唆を与えるばかりではなく，これから後を継ぐ隊員のためにもたいへん参考になるということで，各地で活動している10名の野菜隊員（別記）が自主的に調査を実施することになった。

調査を開始するにあたり，その内容，様式，項目などの細目が打合わされたが，途中で任期が終了し，帰国せざるを得なかった隊員があったり，調査を進めるにしたがって新たに項目を付け加える必要が生じるなど，また各地にちらばっている隊員同士の連絡が満足に取れないなど数多くの困難があって編集が遅れたが，どうにかここに後記10名の野菜隊員の調査にもとづく「野菜栽培ハンドブック・バングラデシュにおける慣行野菜栽培」をまとめることができた。

各隊員は配属先の業務内容も異なり，なかには農村をまわる機会の少ない隊員もいたが，業務の合間をぬって農村をまわり，農民を相手に話を聞いたり，実際に自分の目で確かめたりして，まさに足で資料を集めた。従ってこれは上記の野菜隊員の汗の結晶といっても過言ではない。だが，慣行野菜栽培とひとくちに言っても個々の農民によってその栽培法に大きな差があり，一様に述べることは不可能に近いため，主としてその地方の篤農家の例を中心に述べたものが多くなった。また，調査に関して，隊員の間で調査内容が統一されていなかったため，調査不十分な点が数多くあったり，なかには正確さに欠ける箇所もあると思われるが，バングラデシュにおける慣行野菜栽培の概略は理解していただけるものと思う。

なお，本ハンドブックは現地で隊員が協力活動を行なう際に必携の資料とすることを目指したものであるが，内容上不備な点に関しては先達諸賢のご指導，ご批判を仰ぎたい，と考えるとともに，バングラデシュの野菜栽培に興味をお持ちの方々

にもなんらかの参考にしていただければ幸いである。

ハンドブック編集にあたっては，秋谷良三，篠原捨喜両先生から多大のご指導，ご協力を賜わり，協力隊前技術顧問・中川龍一先生からは数多くの助言を戴いた。ここに記して心から感謝の意を表したい。また，大嶋健男シニア隊員には野菜の名称対比表作成に，そして林尚文，塩井信孝両隊員には気象グラフ作成に，それぞれご協力戴いた。野菜ハンドブックの作成は，バングラデシュに派遣された農業隊員の積年の計画であったが，青年海外協力隊事務局長・野村忠策氏はじめ事務局関係者の特別のご配慮により，ようやく刊行の機会を得ることができた。ここに併せて感謝の意を表する次第である。

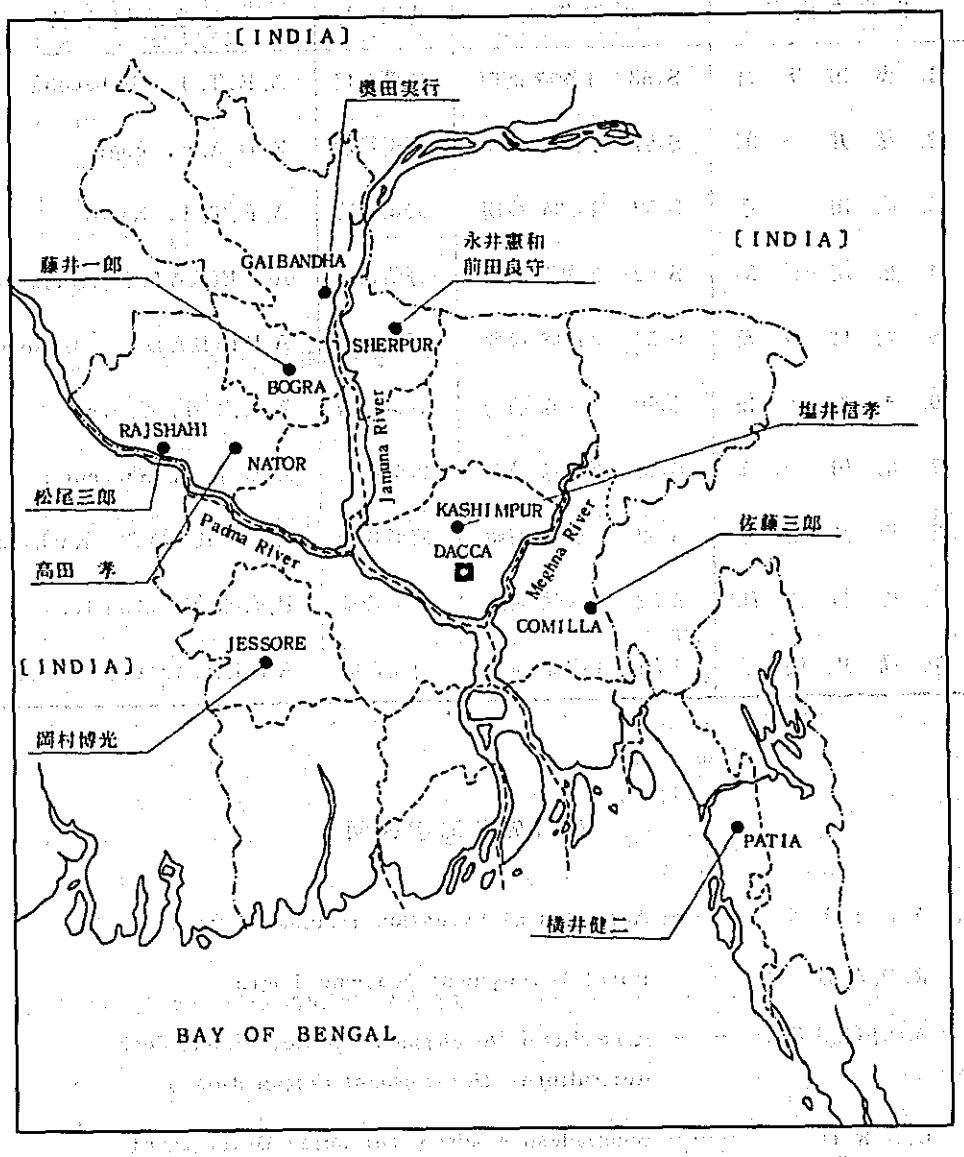
昭和57年3月

「野菜栽培ハンドブック」編集委員

佐　藤　三　郎

松　尾　三　郎

調査地区及び担当者氏名



担当者氏名一覧表

担当者氏名	派遣年次	専門分野	現地配属先名
1. 奥田実行	S.53 1次隊前期	野菜栽培	A.E.T.I, Gaibandha
2. 藤井一郎	S.51 1次隊後期	農場管理	R.D.A.B, Bogra
3. 高田孝	S.53 1次隊後期	野菜栽培	A.E.T.I, Nator
4. 松尾三郎	S.52 2次隊前期	野菜栽培	A.D.E(B.A.D.C), Rajshahi
5. 岡村博光	S.52 2次隊後期	野菜栽培	A.D.E(B.A.D.C), Jessore
6. 永井憲和	S.50 2次隊前期	野菜栽培	A.E.T.I, Sherpur
7. 前田良守	S.53 2次隊後期	野菜栽培	A.E.T.I, Sherpur
8. 塩井信孝	S.52 1次隊前期	野菜栽培	A.D.E(B.A.D.C), Kashimpur
9. 佐藤三郎	S.52 1次隊前期	農業普及	B.A.R.D, Comilla
10. 横井健二	S.53 1次隊前期	野菜栽培	A.D.E(B.A.D.C), Patia

配属先名略字説明

A.E.T.I …… Agricultural Extension Training Institute

R.D.A.B …… Rural Development Academy Bogra

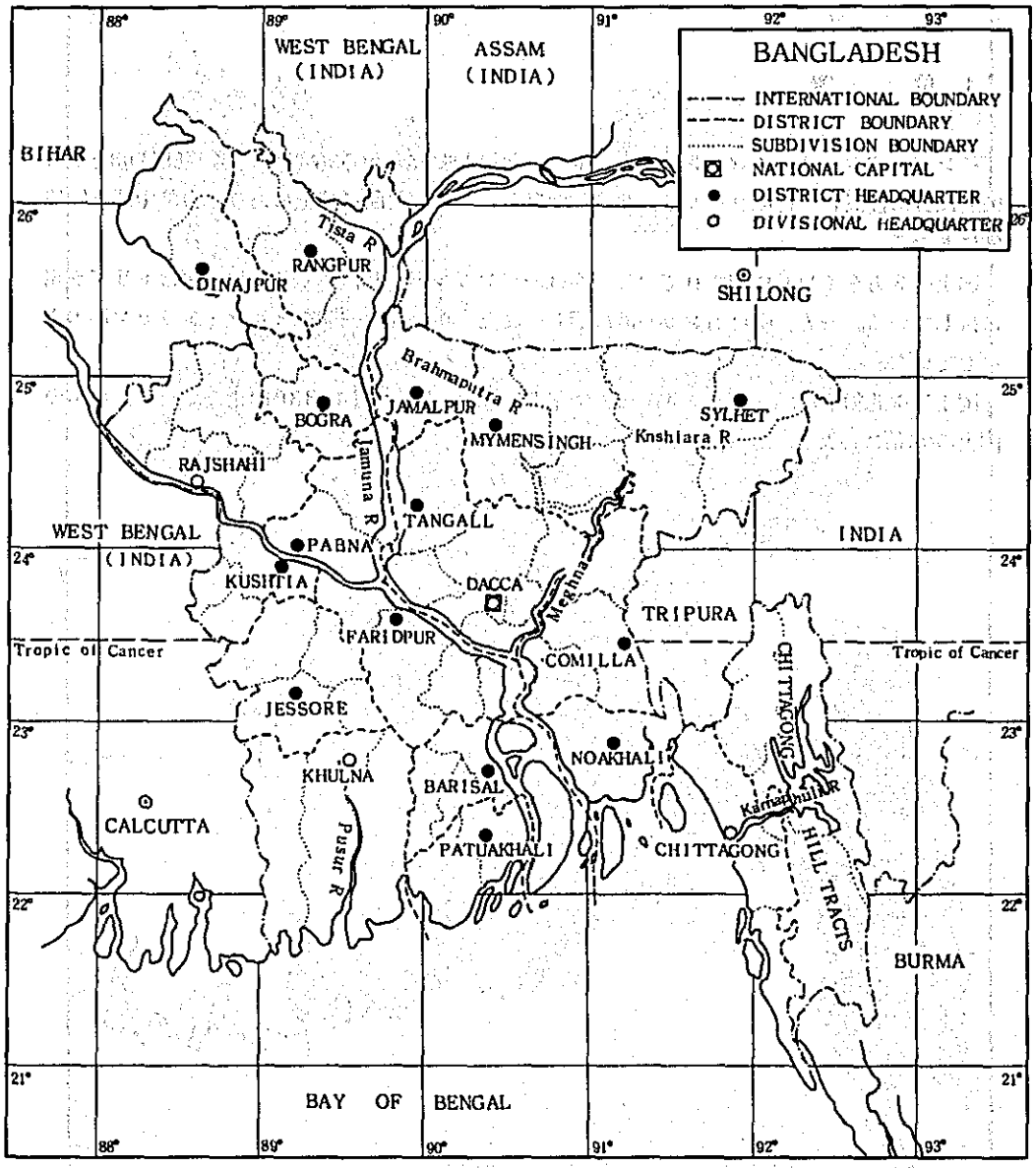
A.D.E(B.A.D.C) …… Agricultural Development Estate, (Bangladesh Agricultural Development Corporation)

B.A.R.D …… Bangladesh Academy for Rural Development

目　次

図　表　目　次

バングラデシュの地図


BANGLADESH
INTERNATIONAL BOUNDARY
DISTRICT BOUNDARY
SUBDIVISION BOUNDARY
NATIONAL CAPITAL
DISTRICT HEADQUARTER
DIVISIONAL HEADQUARTER
WEST BENGAL (INDIA)
ASSAM (INDIA)
BIHAR
WEST BENGAL (INDIA)
INDIA
TRIPURA
BURMA
BAY OF BENGAL
CALCUTTA
SHILONG
RANGPUR
DINAJPUR
BOGRA
RAJSHAHI
JAMALPUR
MYMENSINGH
SYLHET
TANGAIL
PABNA
KUSHTIA
DACCA
FARIDPUR
COMILLA
JESSORE
KHULNA
BARISAL
PATUAKHALI
NOAKHALI
CHITTAGONG
CHITTAGONG HILL TRACTS
Tista R
Brahmaputra R
Jamuna R
Meghna
Kushiara R
Karnaphuli R
Pusur R
Tropic of Cancer
88°
89°
90°
91°
92°
93°
26°
25°
24°
23°
22°
21°

第Ⅰ章　バングラデシュの自然条件

1. 位　　置

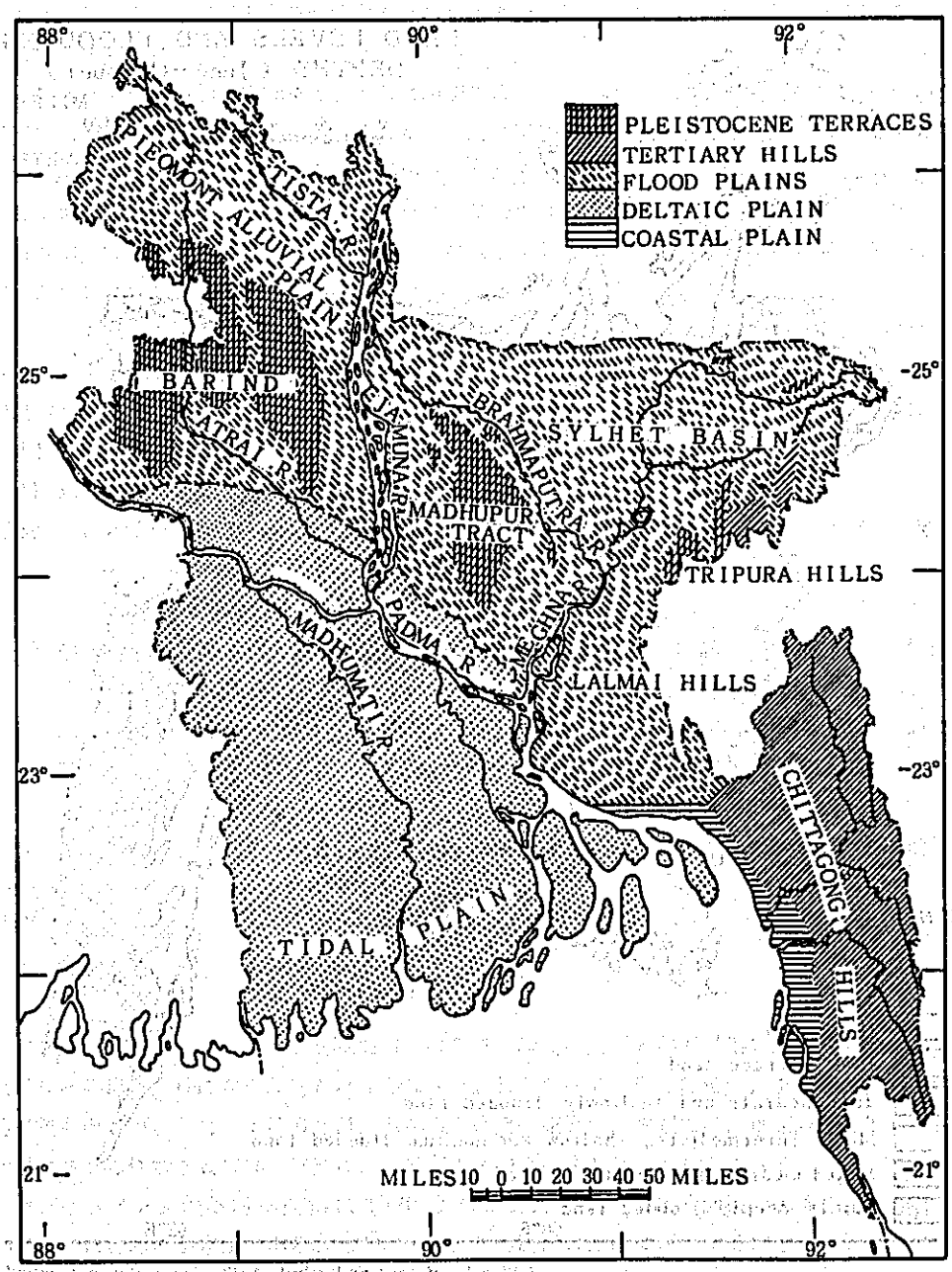
バングラデシュは，インド亜大陸の北東端，北緯20度35分から26度75分，東経88度03分から92度75分に位置し，首都ダッカは，北緯23度50分と，ほぼ北回帰線上にあり，台湾中部と同緯度にあたる。

国土の３方をインドに囲まれており，西は西ベンガル州，北はアッサム州，東はトリプラ州に接している。一方，南はベンガル湾に面し，また，東南部の一部をビルマ・アラカン地方と接している。

国土は南北約700㎞，東西約470㎞，面積55,598miles^2（142,330㎢）でこれは，日本の国土の0.4倍にあたる。

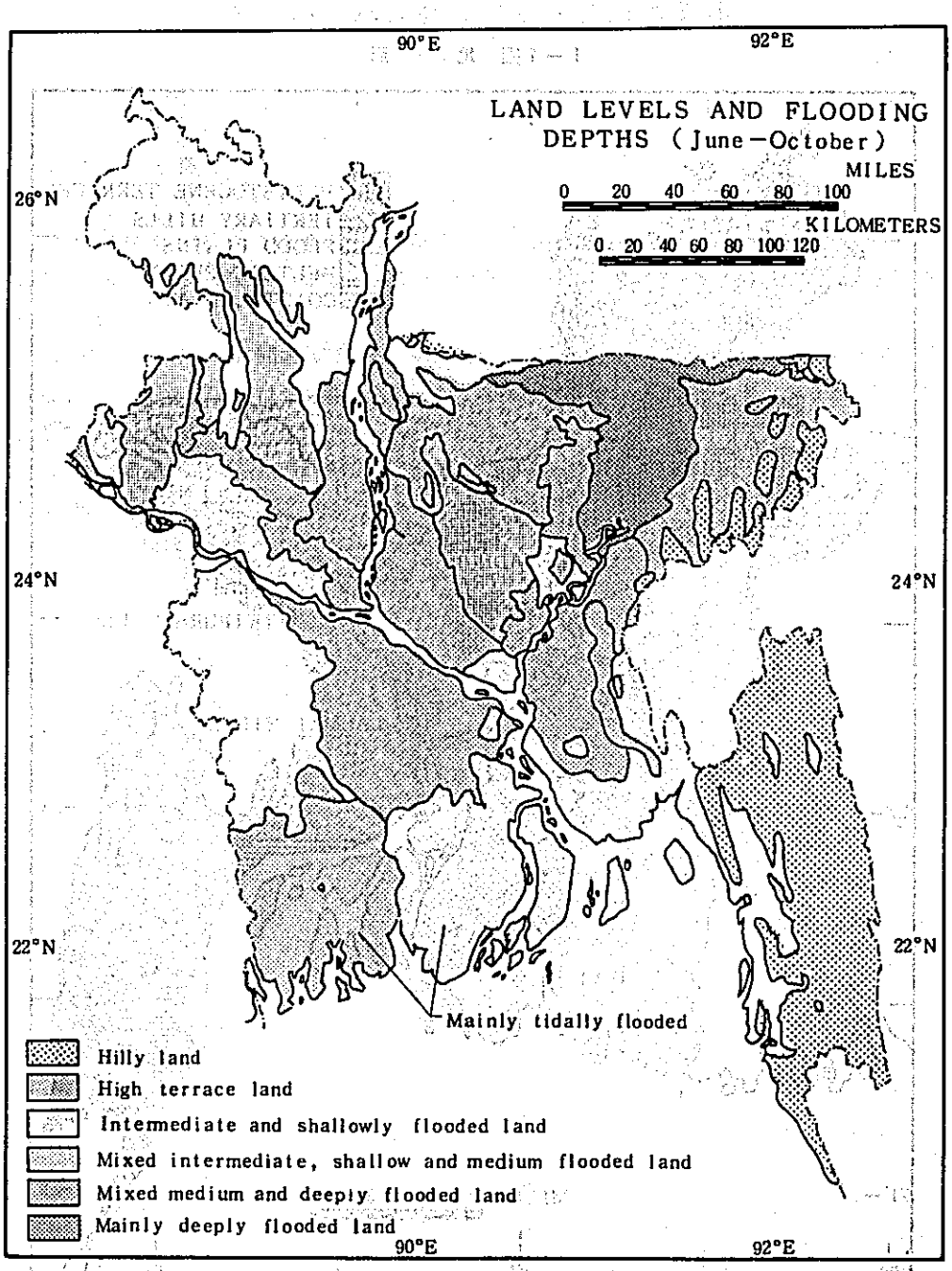
2. 地　　形

I－1図　地　　形



〔出所〕 長田満江他著，1980，バングラデシュの農業，(社)国際農林業協力協会，国別研究シリーズ No.6，p.42.

I－2図　土地の高低



〔出所〕 Haroun Er Rashid, 1977, Geography of Bangladesh, Univ. Press, Dacca, p.204

バングラデシュの国土は，ヒマラヤに源を発するガンジス河，チベットに源を発するブラマプトラ河，アッサム南方の山地に発するメグナ河の３大河川が国土の中央で合流して，ベンガル湾にそそいでいる世界最大のデルタ地帯である。

また，これら３大河川の支流が国内を網の目のように流れており，河川部分が国土に占める割合は７％に達する。

バングラデシュの国土の85％は，これら河川によって形成された沖積平原であり，ほとんど平坦である。その傾斜は8cm/kmより少なく，勾配は極めてゆるやかである。そして，その標高はほとんどが30ft(9m)以下で100ft(30m)をこえることはない。

毎年雨期には，河川水の氾濫によって莫大な量の土砂がはこばれ，新たなデルタを形成しつつあるが，同時に，これら，はこばれてくる肥沃な土砂によって，ベンガルの大地の豊かな生産力がたもたれているのである。

他方，これらの河川は，ベンガルの人々の生活にも重要な役割をはたしており，安価な交通手段，排水路そして豊富な魚を供給している。ただし，国土の一部には下記のような低い山地や高地も存在しており，中でもチッタゴン丘陵地帯は広大な山地で，その最高峰は標高3,454ft(1,036m)である。

1) 北　西　部（ロングプール，ディナジプール，ボグラ，ラジシャヒの各県にまたがる）	Barind Tracts	標高	65-130ft (20-39m)	前後
2) 中央・北部（マイメンシン県）	Madhupur Tracts	標高	100ft (30m)	前後
3) 北　東　部	Sylhet Hills	標高	100-300ft (30-90m)	前後
4) 東　部（コミラ県）	Lalmai Hills	標高	100-150ft (30-45m)	前後
5) 南　東　部	Chittagong Hill Tracts	標高	2,000ft (600m)	前後

3. 地域区分

バングラデシュはチッタゴン丘陵地域をのぞき，国土の大部分が平坦地であり，その地形・気候などの自然条件に大きな差異はみられない。したがって，自然の植生，生産される作物の地域差も小さい。ただ，土地の高低，川からの距離の遠近が，雨期には，水深の差を生じて，作付けされる作物も異なり，乾期には，灌漑方法の違いをもたらすことになる。

バングラデシュの総耕地面積は2,320万acre(928万ha)で国土面積の66％を占めているが，そのほとんどが水田である。したがって，この国には水田に対立する畑というものはほとんどなくて，いわゆる畑作物も全部稲作を中心とした作付体系のなかに組みこまれている。

モンスーンによる乾期と雨期の激しい気象上の相違，河川の氾濫などが，わずかな土地の

高低差に大きく影響して，土地利用が規制されてくる。

それはともかく，バングラデシュにおいては，ブラマプトラ河が国土を東西に，またガンジス河が南北に分割しているため，以下の4つの地域に大別することができる。

1）北　西　部

ガンジス河とブラマプトラ河にはさまれた地域で，比較的高地が多い。その中央部と西側にバリン・トラックス（Barind Tracts）をもつ。雨期の水深も浅く，洪水被害は少ない。

ただ，乾期は，地表水を利用できる場所が限られるため，深井戸灌漑によらなければならない。一般に，バングラデシュの乾燥地域ということができ，旱ばつの被害を受けやすい。

2）南　西　部

ガンジス河とベンガル湾にはさまれた地域である。比較的低地が多く，雨期の水深も深いため，洪水の被害を受けやすい。乾期には，川・池などの地表水の利用が容易で，揚水ポンプ灌漑が多い。

ベンガル湾一帯はシュンドルボン（Sundarban ）とよばれる沼沢性熱帯森林地帯で，虎，鹿などの生棲地として有名であるが，高潮による洪水の被害を受けやすい。

3）中　央　部

ブラマプトラ河とメグナ河にはさまれた地域で，モドゥプール（Madhupur ）森林地帯をのぞき低地が多い。低地で地表水を利用しやすく，揚水ポンプが普及し，土地利用率が高い。首都ダッカに近く，稲作改良技術の普及もはやい。

4）東　　部

メグナ河以東で，インド，ビルマとの国境の間に位置する地域である。北はシレット県で丘陵地域が点在し，茶園の経営が多い。コミラ，ノアカリ県は，人口密度が高く，農家の土地所有面積も小さいが，コミラ県はパキスタン時代から農業開発のモデル地域として位置づけられてきたこともあって，新しい農業技術の導入がはやく普及率も高い。

チッタゴン県は比較的高地が多く，洪水被害を受けることが少ない。チッタゴン丘陵地域が存在し，主として木材，果実（パイナップル）が植えられ，米，小麦の生産は少なく，生産性も低い。

なお，バングラデシュで唯一のカーナフリ水力発電所が建設され，カーナフリ河をせきとめて作ったカプタイ人造湖の水で発電を行なっている。

4　気　　候

バングラデシュの気候は，典型的な熱帯モンスーンに属し，高温，多湿，多雨で，季節の変わりめには，サイクロンに襲われることが多い。その特徴は，雨期と乾期がはっきりわかれていることで，雨期には，年間降雨量の大部分が集中して降り，乾期には降雨がほとんどない。

なお，ここではバングラデシュにおける一般的な気候の特徴をのべ，各地区のくわしい気象については，「調査地区の概略」の中でのべる。また別添の気象グラフも参照願いたい。

1) 乾　　期（11月～5月）

①冬（11月～2月）：雨はほとんど降らず，気温，湿度ともに中位である。また，昼夜の温度較差が大きく，涼しくしのぎやすい。

10月から11月にかけての冬に変わる前後にサイクロンの発生が多く，ベンガル湾から内陸部に向けて，降雨をともなった強風が吹きつける。

サイクロンの接近が高潮時とかさなるときには，高波によって海岸地帯に大きな被害を生ずる。

②夏（3月～5月）：年間を通じて最も暑く乾燥する時期で，北西部では湿度が50%を割ることがある。しかし4月から5月にかけて，雨期前のpre-monsoonがあり，時々，北西の強風と雷をともなった降雨がある。また，5月に入ると湿度が高くなりしのぎにくい。また，この時期には，ときどき，雹が降り，スイカなどの農作物に大きな被害をあたえる。ただし，これには地域性があり，川べりの地域に多く発生する。

2) 雨　　期（6月～10月）

気温は高く，湿度は常に80%をこえ，ピークの7月，8月には時に100%近くなることもある。昼夜の温度較差が少なくなり，夜もむし暑い。

年間降雨量の80%近くが，この時期に集中して降り，ときに強い風をともなうが，サイクロンはほとんどない。

毎年，洪水が発生するが，ピークの8月には，水のレベルが海抜20ft(6m)ぐらいとなる。洪水の激しい年には，30ft(9m)にまで高くなり，国土の3分の2が水面下になることもある。

ただバングラデシュの洪水の特色は，大雨ののち，水が河の堰堤を押しきってドウーッと耕地に流れこむような型ではなくて，雨期が進み，河川の水位が高くなると，耕地の低い所からジワジワと水没していく型であり，堰堤を築いても防ぎきれるものではない。

5. 気 象 区 分

Ⓐ 東南部：これはチッタゴン，ノアカリ，パトアカリ県を含む地域である。

チッタゴン山岳地帯をのぞく平坦地では，気温の較差が小さく，平均最高気温は90°F（32.2℃）を上まわることはほとんどなく，平均最低気温も55°F（12.7℃)を下まわることはまれである。

降雨量は多く，通常100inch(2,540mm）を上まわる。

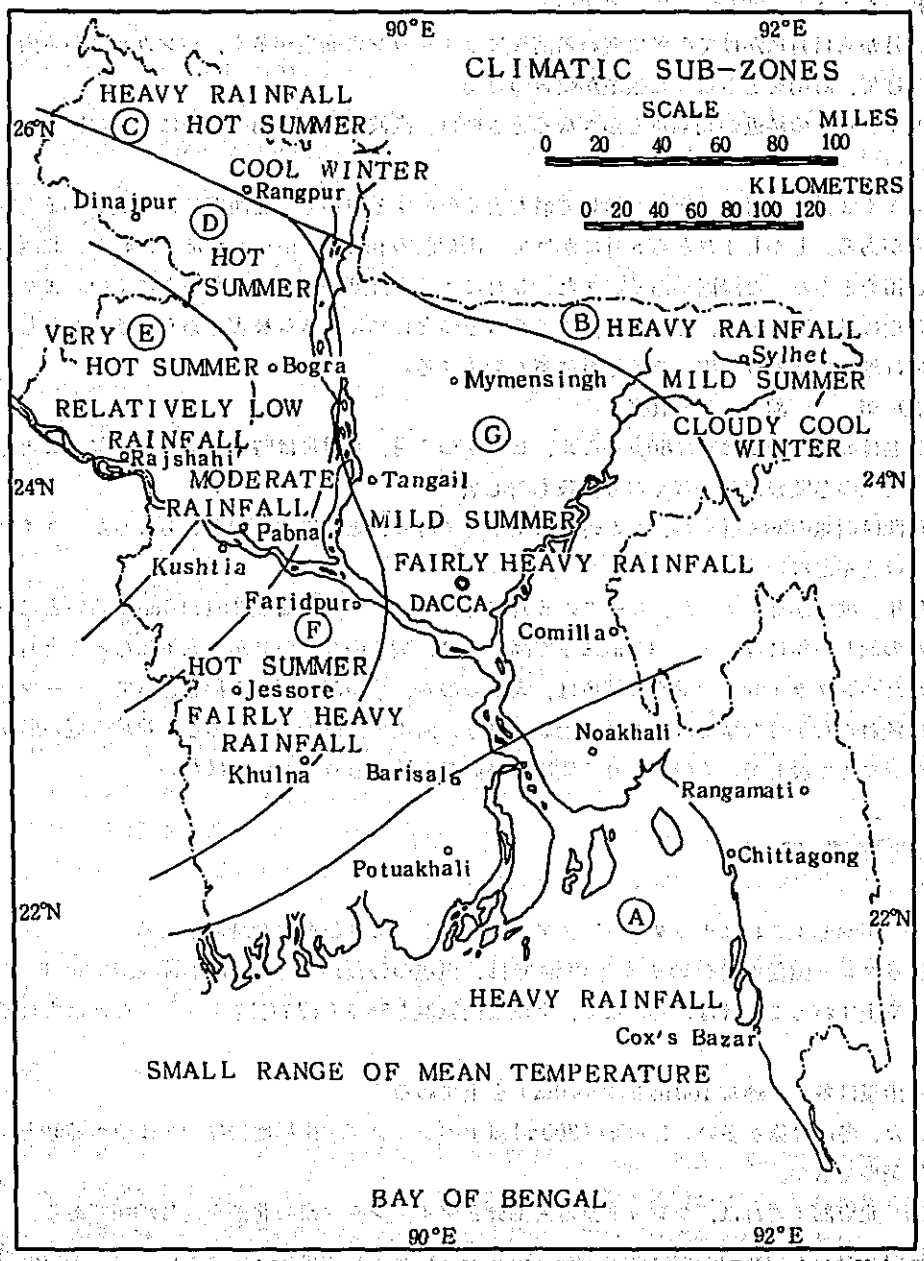
また，冬には露が多い。1,000ft(300m)以上のチッタゴン山岳地帯はつぎにのべるⒷと同じ気象条件をもつ。

Ⓑ 北東部：これは，シレット県の大部分とマイメンシン県の北部を含む地域である。

この地域も平均最高気温は90°F（32.2℃)を上まわることがほとんどなく，一方，平均最低気温も50°F（10℃）を下まわることはほとんどない。

平均湿度はⒶ地域よりも高い。また，この地域の特色は冬に入ってもときどき降雨のあることである。また，冬は常時，霧が発生する。この地域は，バングラデシュの中で最も曇天の多

I－3図 気象区分



〔出所〕 Haroun Er Rashid, 1977, Geography of Bangladesh, Univ. Press, Dacca, p.114

い地域である。

Ⓒ　北端部：これはロングプールおよびディナジプール県の北部を含む地域である。

この地域の気象は極端で，夏は平均最高気温が90°F（32.2℃）を上まわることがよくあり，他方冬は平均最低気温が50°F（10℃）を下まわる。

夏は焼けつくような西風が吹き，乾燥が激しい。しかし，雨期は80～120 inch(2,032～3,048㎜）の降雨があり，湿気が多い。

Ⓓ　北西部：この地域はⒸと似た気象条件下にあるが，それほど極端ではない。降雨量も比較的少ない。したがって乾期は大気・土壌ともにより乾燥する。

Ⓔ　西部乾燥地帯：ラジシャヒ県と隣接する各県の一部を含んでいる。

この地域はバングラデシュで最も乾燥した場所で降雨量は普通60 inch（1,524㎜）以下でまた夏の湿度は50％以下となる。

夏はバングラデシュで最も暑く，最も乾燥した地域である。夏の平均最高気温は95°F（35℃）以上になる。

Ⓕ　南西部：この地域ではⒸⒹⒺのような極端な気象はやわらげられる。

降雨量は60～70 inch（1,524㎜～1,778㎜）で，夏の平均最高気温は95°F（35℃）以下である。露はⒺ地域よりも降りやすい。

Ⓖ　中央部：降雨量は再び増加し，75 inch（1,905㎜）以上になる。

気温の較差は西部よりもはるかに小さく，ただ，Ⓐ地域よりもいくぶん大きい。

この地域はⒶ，Ⓓ，とⒻの中間にある過渡的地域といえる。

6. 農業気象

野菜栽培上，必要と思われる農業気象の説明については以下に示した。

I－4図　農業気象

Calendar Time	Month	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Remark
	Decade Days	B M E	B M E	B M E	B M E	B M E	B M E	B M E	B M E	B M E	B M E	B M E	B M E	
Weather Conditions	Four Season in Weather Type	FIRST CYCLONIC SEASON			DENSE RAINY SEASON		SECOND CYCLONIC SEASON		DRY SEASON					Some times seasons are divided into 6 in Bangladesh but these 4 seasons may be enough to consider vegetable cultivature.
	Precipitation Condition	Cyclonic showery rains, more frequently come towards the end			Predominated soft but long hour rains		Heavy but short hour showery rains, less towards end		Almost no rain but a few rains come sometimes at the end of season					a. 1st and 2nd cyclonic seasons are characterized by alternative happening of heavy rains and subsequent severe dryness by strong sunshine.
	Humidity Condition	Gradually higher towards the end			Highest		Gradually being lower towards the end		Low	Lowest		Lowest		b. Dense rainy season is characterized by frequent long soft rains and small difference of daily maximum and minimum temperatures.
	Temperature in general	Highest			High		High to Highest			Lowest		Low to Medium		Both a. and b. much disturb vegetable growth, that is, like hell especially for temperate zone vegetables.
	Temperature Condition in the Difference between Daily Maximum and Minimum Temperatures	Gradually smaller towards the end			Smallest (sometimes 2－3°C on individual days)		Gradually larger towards the end			Largest (Sometimes more than 15°C per day)				c. Dry season seems to be paradise for vegetation if irrigation facilities is available.
Daylength Condition (Astronomical Four Seasons)		12.00－13.40 hrs. Extending to long day			13.40－12.00 hrs. Long day to shortening			12.00－10.20 hrs. Shortening to short day			10.20－12.00 hrs. Short day to extending			September to March functions to be short-day period and April to August functions to be long-day period in general speaking. Sep. to Dec. functions also less vernalizing for tropical Crucifers.
			Summer solstice				Autumn equinox			Winter solstice			Spring equinox	

（出所） Dr. Suteki Shinohara, 1980, Guide-book for Development of Vegetable Horticulture with Capable Seed Production in the Monsoon Sub-tropics, 株養賢堂, p. 7,8

第Ⅱ章　バングラデシュの農業概況

1. 土地利用状況

Ⅱ－1表　土地利用状況

（単位：1,000 acre）

	単作地	二毛作地	三毛作地	耕地面積	作付延べ面積	耕地利用率 (%)
1965/66	—	—	—	21,601	29,541	136.8
1969/70	12,028	8,392	1,343	21,763	32,841	150.9
1973/74	12,530	7,192	1,255	20,977	30,675	146.3
1974/75	12,481	6,799	1,279	20,559	29,916	145.5
1975/76	12,250	7,269	1,449	20,968	31,135	148.5
1976/77	11,911	7,072	1,462	20,445	30,441	148.9

（出所）B.B.S：The Yearbook of Agricultural Statistics of Bangladesh, 1976/77, Dacca, 1978, pp. 771～790.

国土総面積3,528万acre（約1,411万ha）で，川の面積は250万acre（約100万ha，総面積の7％）。可耕地面積は2,320.8万acre（928.3万ha）で，これは総面積の66％におよび，日本の570万haより大きい。1976/77年度で，可耕地のうち2,044.5万acre（817.8万ha）が耕作されており，残り276万acre（110.4万ha）が休閑地である。

このように農用地の外延的拡大の余地はほとんどないので，農業生産の増大をはかるためには，単位面積あたり収量を増加すること，及び土地の利用度を高めることが決め手となる。

単位面積あたりの収量を増加するためには，高収量品種の導入，及び近代農法の普及につとめ，一方土地利用度を高めるためには，乾期における灌漑面積の拡大によって，2，3毛作地を増加せねばならない。

現在バングラデシュにおいて，灌漑設備さえ整えれば，雑穀，野菜をふくめた3毛作が可能な農地面積は約1,300万acre（526万ha，耕地面積の約50％）と推計されている。土地利用度を200％にまで高めることは不可能ではない。

問題は乾期における灌漑地面積の拡大である。乾期の降雨量はほとんどなく，灌漑設備なしには作物をつくれないが，他方，乾期は気候条件が最も安定しており，災害被災の可能性が最も低い。

2. 灌漑地面積

II－2表　方法別灌漑地面積

（単位：1,000 acre）

	1969/70	1973/74	1974/75	1975/76	1976/77
近代的方法					
揚水ポンプ	742.2	1,407.9	1,442.3	1,363.3	1,232.0
井戸ポンプ	80.5	131.2	233.8	263.0	233.7
キャナル	82.4	72.0	78.5	88.8	93.3
伝統的方法					
簡易水路（キャナル）	211.3	221.8	194.0	140.2	172.1
舟型揚水農具（Doons）（註1）	968.2	851.1	954.5	967.6	728.1
揚水カゴ（Swing Baskets）（註2）	104.4	101.1	116.4	143.0	161.9
その他	425.0	417.1	542.0	491.3	381.7
合計	2,614.0	3,202.2	3,561.5	3,457.3	3,003.0
耕地面積に対する割合(%)	12.0	15.3	17.3	16.5	14.7
作付面積に対する割合(%)	8.0	10.4	11.9	11.1	9.9

（出所）　B.B.S：Statistical Yearbook of Bangladesh, 1978, Dacca, 1979, pp. 163.
世銀資料。
（註1），（註2）は付属資料6の農具の写真集参照。

1976/77年度の灌漑地面積は約300万acre(121ha)，耕地面積の15%，作付のべ面積の約10%である。

灌漑方法としては，揚水ポンプによる小規模灌漑が主流で，1976/77年度の灌漑地面積の41%がこの方法によっている。深井戸，浅井戸灌漑はポンプ据付けに資金がかかるため，のびにくく，灌漑地面積も全体の8.8%しかない。

近代的方法による灌漑地面積は全体の53.8%を占めているにすぎず，残りの47.2%は伝統的方法によって灌漑されている。

これら灌漑地では米，とくに乾期におけるBoro稲が作付されており，近年では小麦，ジャガイモの作付が増大している。<註>

<註> バングラデシュの稲作

バングラデシュの稲作は，栽培時期によって，Aus,AmonそしてBoro稲の3つに区分される。Aus稲には直播栽培と移植栽培があり，直播栽培は3～4月播種の7～8月収穫，移植栽培は3～4月播種，4～5月移植の7～8月収穫である。Amon稲にも直播栽培（浮稲）と移植栽培があり，

直播の場合は3～4月播種の11～12月収穫，移植栽培では6～7月播種，7～8月移植の12～1月収穫となる。Boro稲は乾期に栽培される稲で移植栽培のみ。11～12月播種，12～1月移植，そして，4～5月に収穫するもので，水さえ得られれば単収は最も高い。

3. 土地の利用形態

II－3表　主要作物作付面積

（単位：100万acre）

	1949/50 (%)	1959/60 (%)	1969/70 (%)	1976/77 (%)	1977/78 (%)	1978/79[1] (%)
米	(76) 19.53	(80) 21.15	(78) 25.48	(78) 24.42	(79) 24.78	(78) 25.00
(Aus)	(4.67)	(5.95)	(8.46)	(7.95)	(7.82)	(8.00)
(Amon)	(14.01)	(14.29)	(14.84)	(14.36)	(14.26)	(14.35)
(Boro)	(0.85)	(0.91)	(2.18)	(2.11)	(2.70)	(2.65)
小麦[2]	－	－	0.30	0.40	0.47	0.65
その他穀物	0.45	0.34	0.28	0.22	0.22	0.19
豆類	0.99	0.79	0.91	0.82	0.83	0.84
油性種子	0.72	0.88	0.78	0.69	0.74	0.75
ジュート	(6) 1.56	(5) 1.38	(7) 2.46	(5) 1.60	(6) 1.81	(6) 2.05
砂糖キビ	0.23	0.28	0.40	0.36	0.38	0.38
薯類	－	0.12	0.39	0.36	0.40	0.42
その他	2.16	1.54	1.84	1.56	1.56	1.58
合計	(100) 25.66	(100) 26.48	(100) 32.84	(100) 31.27	(100) 31.19	(100) 31.86
耕地面積[3]	22.35	21.66	22.49	22.53	－	－
耕地利用率(%)	115	122	146	135	－	－

（出所）　Govt. of East Pakistan : Statistical Digest of East Pakistan, 1969, pp.40～57.
世銀資料。

（註）1）暫定数字
2）1949/50，1959/60はその他穀物に含む。
3）短期休閑地も含める。

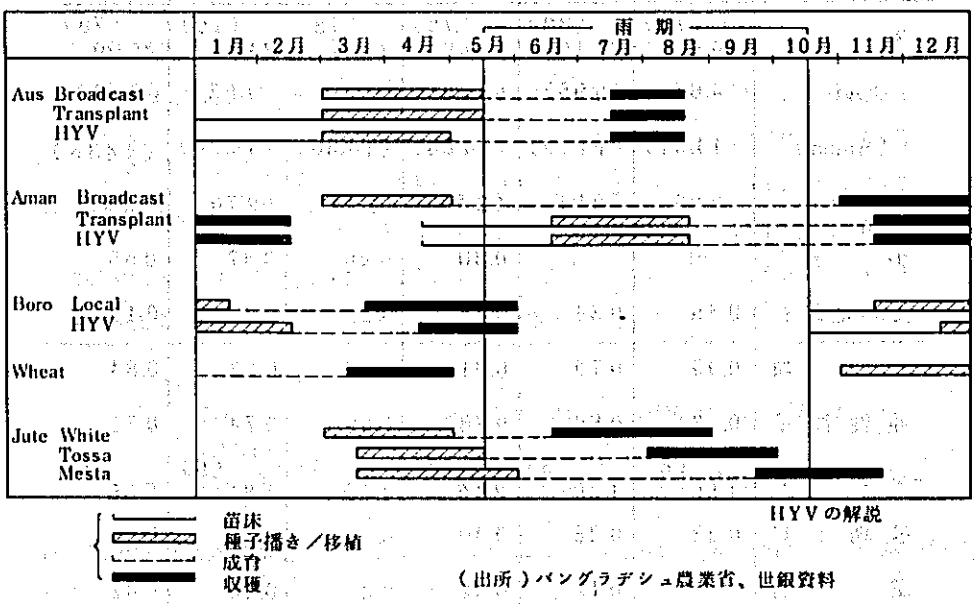
1977/78年度の総作付面積は3,119万acreであった。このうち米は，2,478万acre(1,002万ha)が作付されている。これは，作付総面積の79.4%にも達する。主要換金作物であるジュートは181万acre(73万ha)，5.8%にすぎない。

農業の稲作依存がひじょうに高いことがわかり，この状況は過去30年間にほとんど変化していない。

ちなみに，日本の場合，作付総面積のなかで稲作の占める割合は50%を下まわっている。

4. 主要食糧，ジュートの作付・収穫期

II－1図　主要食糧，ジュートの作付・収穫期



(出所)バングラデシュ農業省、世銀資料

この項を書くにあたり，長田満江他著「バングラデシュの農業」(社)国際農林業協力協会発行(1980)より多くの部分を引用させて戴いた。

第Ⅲ章　調査地区の概略

1. ガイバンダ地区

奥　田　実　行

1）自然的立地条件

a）位　　置

ガイバンダ市はバングラデシュ国北西のラジシャヒ行政区のなかにあるロングプール県の東南に位置しており，ロングプール市から南へ40mile(64 km)，主都ダッカより北北西200mile(320km)の距離にある。

b）地　　勢

ロングプール県は北をインド・西ベンガル州と国境を接し，西はディナジプール，南はボグラの各県と接している。一方，県の東側をバングラデシュの3大河川のひとつであるブラマプトラ河が南北に流れている。

c）気　　象

気温は3月から急激に上昇し，年間を通じて4月，5月が最も暑く，最高気温は36℃前後になる。

この地域で特徴的なことは，1年を通じて最高，最低気温の日較差がバングラデシュで最も大きいことである。日較差は特に乾期に大きく，最大となる4月で21℃前後となり，逆に，雨期には小さいが，それでも13℃前後になる。

雨は4月末から徐々に降りはじめ，6月には本格的な雨期の到来となる。年間降雨量は2,057㎜であるが，降雨は6月から8月に集中し，一面水だらけになる。この時期には気温はやや下がるが，湿度が90%近くなるため非常にむし暑い。

11月に入ると気温は下がり，降雨もなくなって乾期となる。11月から2月にかけてが1年中で最もしのぎやすい季節であり，最低気温は1月で10℃を下回ることもある（附表　気象グラフ参照）。

d）土　　壌

ロングプール県における土地レベルおよび土壌をみると，ブラマプトラ河に接する県の東部がLow landに属し，全面積の約3分の1を占めている。土壌は砂土および砂壌土であるが，河に近づくにつれ砂土が多くなる。<註> ロングプール市の西部および南部にMedium landをはさむHigh landが広がり，また残りがMedium landとなっている。全面積に占める割合はそれぞれ約3分の1ずつである。

High landの土壌は赤色をしたラテライトが多いが，Medium landはバングラデシュ特

有の粘土質土壌である。

ガイバンダ市はLow landにあるため雨期の中頃以降，家の敷地や道路および町の一部を除いて，耕地はすべて水面下になる。また，耕地の排水が悪く，一週間晴天が続いても，一日雨が降れば次の一週間は土に粘りが出てきて耕地に入れなくなる。そのため，本格的に野菜栽培ができるのは10月中旬以降である。

<註>

バングラデシュにおいて，High land，Medium land，Low landの区分は，明確に統一されておらず，雨期の水深の深さや，作付可能回数（たとえば，1作可能，3作可能）などで区分している。

ここでは，一例としてF.A.Oによる区分を示す。

High land ……	Above flood level	
Medium high land(1) ……	Intermittently flooded to Shallow depth	(0−2 feet)
Medium high land(2) ……	Seasonally flooded to Shallow depth	(1−3 feet)
Medium low land ……	Flooded moderate depth	(3−6 feet)
Low land ……	Deeply flooded	(6−12 feet)

（出所） F.A.O, 1965, Reconnaissance Soil Survey - Sadar North and South Sub-division, Comilla district.

2）社会経済的立地条件

ロングプール県農業事務所の調べによると，県の総面積は2,390,560acre（956,224ha），耕地面積は1,653,500acre（661,400ha）である。

一方，同県H.D.B（Horticultural Development Board）の調べによる1978～79年の野菜および果樹等の耕作面積についてみると，乾期野菜は42,687acre（17,075ha），雨期野菜は29,882acre（11,953ha），香辛料29,882acre（11,953ha），そして果樹35,874acre（14,350ha）である。

ガイバンダ地域における野菜の生産状況は，前述したとおり土地レベルが全体的に低いため，6月から9月までの雨期の間に降りたまった水がひくのが遅く，当然10月からの乾期に栽培される冬野菜の作付は遅れ，そのため，当地域におけるバザール（市場）では，まず雨期明けの早い他地域（ボグラ等）から入荷が始まり，約半月から1カ月遅れて地元の野菜が出荷される。

2. ボグラ地区

藤井一郎

1）自然的立地条件

a）位　置

ボグラ市は，ラジシャヒ行政区のなかにあるボグラ県の中心都市であり，首都ダッカより北西138mile（220 km）の距離にある。

b）地　勢

ボグラ県は，北はディナジプールおよびロングプール，西はラジシャヒ，南はパブナの各県と接している。また，県の東側をブラマプトラ河が南北に流れ，この大河をはさんでマイメン

シン県と接している。

c) 気　　象

ボグラ地域の気象は，ほぼガイバンダ地域と類似するが，最高，最低気温の日較差がガイバンダほど大きくなく，最大となる乾期の２月で 15.4℃，雨期には５℃前後である。年間の最高気温が最も高くなるのは４，５月で33°C前後，最低気温は１月の 11.3℃で，雨期の間は夜温が高くしのぎにくい。

また，バングラデシュの北西部に位置する関係上，東部地域と比べて雨期入りが遅く，雨期明けが早いのが特徴である。また，年間降雨量も 1,791 ㎜と比較的少なく，この地域はバングラデシュにおける乾燥地域といえる。湿度は，３月に最も低くなり６０％を下回るが，７月，８月には90％近くまで上がる（附表　気象グラフ参照）。

d) 土　　壌

ボグラ県の土壌は県の中心を北から南に流れるカラトヤ川によって，その土質が区分される。カラトヤ川より東側，ブラマプトラ河にいたる地帯が沖積土壌（ベンガル語でポッリ・マティと言う）であり，冬季畑作の中心地帯を形成している。一方，カラトヤ川の西側一帯は，バリン・トラックス（BARIND TRACTS）土壌であり，これはロングプール，ディナジプール，ラジシャヒの各県の一部にまで及んでいる。なお，土壌調査の結果を示すと以下のとおりである。

ボグラ農村開発アカデミー農場（バリン・トラックス土壌）

表土：灰白色ー黄色，心土：黄赤色

pH		窒素			リン酸	リン酸吸収力	加里	石灰	マグネシウム	マンガン	アルミナ	鉄	
H_2O	KCl	NH_4	NO_2	NO_3								Fe^2	Fe^3
5.2 ~5.5		1.0㎎ 以下	0.1 以下	8.0	8.0㎎	500 以下	1.5㎎	0.07％ 以下	10㎎	10 p.p.m	20㎎		
		極少	極少	僅含	富	弱	極少	極少	僅含	含	多	極少	極少

ギャプトリ郡（沖積土壌）

表土，心土とも灰白

pH		窒素			リン酸	リン酸吸収力	加里	石灰	マグネシウム	マンガン	アルミナ
H_2O	KCl	NH_4	NO_2	NO_3							
6.2		1.0 以下	0.1 以下	1.0 以下	20.0	500 以下	1.5	0.15 内外	5 ㎎ 以下	2.5 p.p.m	10㎎
		極少	極少	極少	頗富	弱	極少	富	極少	富	含

2) 社会経済的立地条件

ボグラは，バングラデシュにおいて軽工業の盛んな地帯であるといわれ，そのため市内は人口密度が高く，物価も比較的高い地域とされている。ボグラ東部地帯は，土壌が良いので土地利用率が高く，人口保持力も高い。その結果，一人当りの耕作面積は小さくなっている。また，Amon 稲の収穫，トウガラシ，ジャガイモの植え付時期にはロングプール県（特にガイバンダ地域）より多くの出かせぎ農民を吸収する。

しかし，西部バリン・トラックス地帯はこれとは全く反対の状況にある（地力が低くその結果，東部地帯に比べ土地利用率，人口保持力が低い）。

ボグラ・コトワリ郡にあるハット（農村地帯の特定の場所において週2回開かれる市のこと）数は13，バザール（毎日開かれている市場）の数は3である。工場についてみると綿の製糸工場1，タバコ工場1，マッチ工場1，グラス工場3，石けん工場8，精米搾油工場17，製薬化学工場5，印刷所29，ジュート加工工場2，製粉工場25，ビスケットおよびパン工場7，などがある。また，低温貯蔵庫は3である（Rural Development Academy Report による）。

ボグラ県における総耕地面積は690,350 acre（276,140 ha）であり，野菜の総作付面積は11,900 acre（4,760 ha），すなわち総耕地面積に対して，1.7%である（1977-78 年）。

1977-78 年の各野菜の作付面積および収量は以下のとおりである。

Ⅲ－Ⅰ表　ボグラ県における野菜の作付面積および収量（1977/78 年）

作物名	作付面積（acre）	収量（maund/acre）
ナス（冬季作）	3,100	72
トマト	450	68
トウガラシ	26,050	16
キュウリ	300	55
ユウガオ	450	76
ニガウリ	550	52
ヤサイカラスウリ	650	76
オクラ	140	26
ダイコン	800	85
ジャガイモ	13,940	160
サトイモ	730	65
タマネギ	5,200	35
キャベツ	540	100
カリフラワー	685	88

単位：1 acre　= 0.4 ha
1 maund = 37.3 kg

<備考> ボグラ地区における作付体系

カラトヤ川の東西で土質が異なっていることはすでにd)土壌の項で述べたが，この相違はボグラ地域における作付体系にも影響を及ぼしており，カラトヤ川の東側，沖積土壌地帯では，直播Aus稲（3月中旬播種）→Amon稲→野菜，豆類，また少し高い土地では，ジュート，Aus稲→トウガラシ，ジャガイモを中心とした野菜であり，Boro稲，小麦などの作付もこの地帯で増えている。一方，西側のバリン・トラックス土壌地帯では，直播Aus稲→Amon稲が主作型で，野菜に関しては，ジャガイモ，トウガラシ，ナスが池の周囲に小規模に栽培されている程度である。また，これらの野菜の品種はほとんど在来種で改良種は少ない。

筆者の配属先であるボグラ農村開発アカデミーの農場は，カラトヤ川の西側，ボグラ市より10mile（16km）南に位置するが，その土質はバリン・トラックス土壌である。筆者の着任当時（1976年）の降雨にたよった農場の作付体系をあげると，以下のとおりであった。

High land：直播Aus稲 → ナタネ → ×

Medium land：　× → 移植Amon稲 → ×

バリン・トラックス土壌地帯は肥料分，有機物の少ない赤土であり，一般に高地に位置しているため乾期には土壌水分不足によって作付が制限されている。

3. ナトール地区

高田　孝

1）自然的立地条件

a）位　置

ナトール市はバングラデシュ北西のラジシャヒ行政区のなかにあるラジシャヒ県の東南に位置し，ナトール郡の中心都市である。首都ダッカより137 mile（約219km）の距離にあり，また，ラジシャヒ市へは31 mile（約50km），ボグラ市へは44 mile（約70km）の距離にある。

b）地　勢

ラジシャヒ県の南側にそってガンジス河が西から東へ流れているが，ナトール市の付近には，大きな河川はない。

また，土地は平坦で高地や山地は存在しない。土地レベルはHigh land 37%，Medium land 36.2%，Low land 26.8%であり，雨期に河川の氾濫による影響を受ける土地面積は，浅く浸水する所も含めると全体の40.9%に及ぶ。

c）気　象

ラジシャヒ地区と同様である。

d）土　壌

土壌は弱酸性でpH 6.0~6.5，土色は褐色より黄色である。また窒素，カルシウムが不足ぎみで，場所によっては，非常に鉄分が多い所がみられる。

2) 社会経済的立地条件

1978年度ナトール郡レベルの調査によると，以下のとおりである。

面　積　99,840 acre（39,936 ha），耕作地面積 96,029 acre（38,411 ha）

人　口　183,311 人（男性　52.3%，女性　47.7%）

家族数　30,363 世帯（農業従事者の世帯数 83.9%）

人口構成

年齢(歳)	割合(%)
7 歳以下	30.1 %
8～17 歳	30.2 %
18～55歳	30.2 %
56 歳以上	9.4 %

土地の所有

面　積　（acre）	割合(%)
土地を持たない農民	19.0 %
1 acre（0.4 ha）以下	20.1 %
1～2 acre（0.4～0.8 ha）	26.5 %
2～5 acre（0.8～2.0 ha）	18.8 %
5～10 acre（2.0～4.0 ha）	10.4 %
10 acre（4.0 ha）以上	5.2 %

家　畜

家畜名	数　量	数量／家族
牛	66,616 頭	2.2 頭
水牛	1,426 頭	0.06 頭
山羊	26,579 頭	0.88 頭
羊	5,610 頭	0.28 頭
鶏	94,100 羽	3.10 羽

4. ラジシャヒ地区

松　尾　三　郎

1) 自然的立地条件

a) 位　置

ラジシャヒ県はバングラデシュ国の北西に位置するラジシャヒ行政区の中心県である。県の西及び南にインド国境沿いに流れるガンジス河（バングラデシュではポッダ河と呼ぶ）がその雄大な姿を横たえている。また，北はボグラ，東はパブナの各県と境を接している。

この県の中心都市であるラジシャヒ市は首都ダッカより西北西，陸路にして168 mile（208 km）にあり，当市に至る交通機関として，ダッカよりイショルディまで空路30分，イショルディよりバスにて2時間30分，または直接ダッカよりバスにて12時間余りである。

また，近隣の主要都市との距離はパブナ68mile（109km），ボグラ64mile（102km），クスティア85mile（136km），ナトール31mile（50km），そしてチャパイナバブゴンジ32 mile（51 km）である。

b）気　　象

冬季（12月－2月）の最低気温が10℃前後まで下がることもあり，長袖のセーターも必需品となる。夏季（3月～5月）に入ると気温も急激に上昇し，平均最高気温が35～36℃前後にも達する。この乾期には，国境沿いを流れるガンジス河の水位が下がり，その流れは河岸から500～600mも離れ，中洲の面積が広がり，大河ガンジスはあたかも砂漠のようになる。最も暑くなる3月～5月には，日中気温が上昇する9時から日の入りの夕刻の5時まで，この大河から，町や村に向って熱風が吹きつけてくる。また湿度が下がり，乾燥がひどくなる。

このころから夏季の終りにかけて時々北西の偏西風にのって強風・雷鳴そして雹をともなった夕立が農作物に被害を与える。

雨期の前後の降雨量は年によって異なる。1979年の4月，5月の降雨量は10mmにも達しなかった。年間降雨量は1,564 mmでバングラデシュのなかでは最も降雨量の少ない地域のひとつである。

雨期の降雨は6月～9月に集中し，この間の降雨量は，月間300～400 mmにも達する。またこの時期の気温は夏季に比べ多少下がる。平均気温は30℃前後，そして相対湿度は70％～80％になり，時には，日中と夜間の気温の日較差が数度にしかならず大変しのぎにくくなる。

また，ラジシャヒ地区の特徴は当国の北西部に位置する関係上，雨期入りが遅く，明けるのが早いことである。

c）土　　壌

土壌に関しては筆者が調査した中から簡単に記載すると，このラジシャヒ市を含む3万acreにおよぶボバ郡における土性は，大洪水によって運搬されてきたもの，河川であった貝殻を多く含むカルシウム含量の多い沖積土といえる。また，全体的に表土から深土まで大きな層（土質）の変化はみられない。

土性は一様ではないが，ガンジス河に近い地域では，一般的に砂壌土，また，河から離れたLow land では，壌土，埴壌土が多いため，乾期になって，土が乾燥すると，現地のランゴール（木製の犂）では耕起が大変困難となる。これらの土壌の各要素の分析結果によると，pH5.5～6.5（KCl）のほぼ中性を示すが，チッソ，リン酸，カリ，マグネシウムが不足状態となっている。また，リン酸吸収力は高い。しかしカルシウムは多量に含まれている。

現在，Low land地域は米作地帯で，雨期の間だけ稲が栽培される。High landは一般的に砂壌土でpH7.0～7.5（KCl）で微アルカリ性を示し，チッソ，カリは不足しているが，リン酸，カルシウム，マグネシウムに富み，リン酸吸収力も500以下と，理化学的には，野菜栽培に適した土壌といえる。なお，町に近いHigh landの砂壌土地域では野菜の産地となっている。

2) 社会経済的立地条件

現在，ポバ郡には，プライマリーソサェティー(註)が形成されている。またバングラデシュ農業開発公社（B.A.D.C）の直営農場（A.D.E）の直轄下に農業協同組合が組織されている。このプライマリーソサェティーのメンバーは農業協同組合から農業資金の融資が受けられ，また種苗・肥料等の購入，ならびに農業機械の利用もできる。

Ⅲ－2表　ラジシャヒ県ポバ郡の人口および耕作面積（1974年）

項目	数量
総面積	30,000 acre（12,000ha）
栽培可能面積	20,000 acre（ 8,000ha）
人口	149,433 人
農家数	24,888 戸
耕作面積	37,370 acre（14,948ha）
農民数	50,000 人
村落数	120 村
Union数	13 カ所

現在プライマリーソサェティーは81あり（将来この数は増加する可能性がある），また，これらのソサェティーの中に深井戸（Deep tube well）が64基据え付けられている。現在稼動しているのは1980年現在87.5%の56基である。

また，浅井戸（Shallow tube well）は21基あり，稼動している。なお，1979年よりアメリカの協力団体C.A.R.Eが，これら深井戸に灌漑用水路を設置するプロジェクトを行なっている。

<註> 農業協同組合支部（Primary Agriculture Cooperative Society）

B.A.D.Cの直営農場A.D.Eの事務所の一室に中央農業協同組合（Central Cooperative Society）が置れている。これを構成しているのがポバ郡内に点在している81カ所の農業協同組合支部である。この農業協同組合支部は村単位で組織されていて，各1名のChairman（副議長），Organizer（組織者），Model Farmer（篤農家），として3名のDirector（理事）と最低15名の組合員で構成される。組合員はこの支部に月額5タカ（70円）を納め，これをまとめてOrganizerは，中央農業協同組合の運営資金として，中央農業協同組合から農業資金を借り入れることができる。また種苗，肥料等の購入，ならびに農業機械の利用もできる。そして支部として深井戸ポンプの運営資金を共同で出資している。

またA.D.Eでは各支部のOrganizer，Model Farmerを週一回集め農業講習会を開催している。

現在，A.D.E所属のInspector（農業改良普及員）によって巡回農業指導が行われているが，Ⅲ－3表は彼らが持ち寄った報告の集計による。これらの数字の算出根拠は彼らが販売した種子量から栽培面積を割り出したもので，栽植密度，育苗状況，生育状況等は考慮されていないために正確さに欠ける。しかし，ポバ郡の正確な資料は入手困難であった。

上記の表から年々，各種野菜の作付面積に多少増加の傾向が見られる。乾期（10月～2月）には，キャベツ，カリフラワー，トマト，ダイコン，ジャガイモ，タマネギなどが多く栽培される。これらの中で，キャベツ，ダイコンなどは，日本品種に人気が集まる。

夏季（3月～5月）には，野菜栽培地域が限られてくる。夏季は高温・乾燥がひどくなるが，

Ⅲ－3表　ラジシャヒ県ポバ郡の作物別作付面積
（1978年7月－12月）

野菜名	作付面積	野菜名	作付面積
1. ナス	310(acre)	14. ニンジン	6(acre)
2. トマト	275	15. ジャガイモ	272
3. トウガラシ	350	16. タマネギ	250
4. キュウリ	65	17. キャベツ	276
5. スイカ	305	18. カリフラワー	130
6. ユウガオ	125	19. フダンソウ	225
7. ササゲ	5	20. ブロッコリー	2
8. フジマメ	35	21. レタス	2
9. エンドウ	45	22. コールラビ	16
10. オクラ	10	23. ヒユナ	178
11 ダイコン	260	24. ニンニク	75
12. カブ	12		
13. ビート	1	合計	3,230 acre

単位（1 acre＝0.4 ha）

灌漑設備のない農地では当然乾燥に極めて強い現地種の豆類およびナタネ，ウリ類に栽培が限定され，この時期には多くの休閑地が見られる。経済栽培としては，スイカ，キュウリ，オクラ，ササゲなどがあるが，この時期から端境期となり，野菜の高値がつづく。

その他の産業については，ジュート工場，精糖工場，絹織物工場，製糸工場が各々一箇所ある。ラジシャヒの絹織物は有名である。他に農産物では，マンゴーがその産地として非常に名高い。

次に経済を支える交通網であるが，あまり整備されていない。北にのびるチャパイナバブコンジ簡易舗装道路，南にナトール，イショルディに通ずる簡易舗装道路，東にノオガおよびボクラ未整備道路，これらがラジシャヒ市に通ずる主要道路であるが，これ以外の道路は雨期に入ると車，単車での通行は不可能となり，主に水牛の牛車が利用される。ラジシャヒ市へ農産物を出荷する場合には牛車が利用されているが，雨期の間は，舟が利用されることもある。まだ農村では，自給自足的な封鎖経済が支配的であり，農産物流通機構の未発達，輸送施設の不備など，この地域の発展の前には多くの問題が存在している。

5. ジェソール地区

岡　村　博　光

1) 自然的立地条件

a) 位　　置

ジェソール県はバングラデシュ国の南西部，クルナ行政区に属する。内陸部に位置し，西はインド・西ベンガル州と国境を接する。当県の中心都市ジェソール市は首都ダッカより西南西に，直線距離にして約85mile(135 km)にあり，ダッカからの所要時間は空路30分，陸路7時間余りである。また当都市は四方からの幹線道路のかなめとして重要な位置を占めている。

b) 地　　勢

全般的に平坦であり，当地域を横切る大河はなく，Bhairab，Chittra 等の中小河川が流れるのみである。土地レベル（コトワリ郡）はHigh land 67,520acre，Medium land 25,000 acre，Low land 15,000acre と雨期に滞水しないHigh land，Medium landが86%を占め，大規模な洪水は起こらない。ただし，当地域の東部地方は土地レベルが低く，雨期に冠水する所が多い。

だが，乾期には河川水位が低下し，これを灌漑用水として利用できる範囲は限られており，深井戸あるいは浅井戸による地下水の利用が一般的である。

c) 気　　象

当地域の気象は雨期は概して海洋からの，乾期にはインド大陸からの影響を強く受けていると思われる。気温は3月頃から急激に上昇し，4月から5月が最も暑い。しかし，4月に入るとサイクロンの襲来がみられ，強風・雷鳴をともなった夕立ちがある。この通過後は気温が下がり爽やかとなる。年間降雨量は1,678 mmで，降雨は6月から8月に集中しこの時期は気温もやや低下する。長雨となることはまれであるが，湿度が90%を越えることは少なくない。また一日の最高気温と最低気温の差が数度にしかならない。9月・10月は雨期から乾期への過渡期で気温はふたたび上昇に転じる。降雨量は減少するものの，強雨の可能性が残る。11月に入ると気温は急に下がり，降雨もなくなり乾期の到来となる。最低気温は1月から2月にかけて記録され，10℃をやや下まわることがある。1月以降しばしば雹が観察され，4月いっぱい降雹のおそれがある。

d) 土　　壌

土壌に関しては早川禎治前隊員のコトワリ郡における土壌調査報告書があるのでこれより引用させていただく。

土　性

土　性	埴　土	埴壌土	壌　土	砂壌土	砂　土
調査結果(%)	4.9	23.4	20.9	36.3	14.5
粘土含量(%)	50.0以上	37.5−50.0	25.0−37.5	12.5−25.0	12.5以下

各要素の分析結果（簡易土壌検定器による）

1. アンモニア態及び硝酸態窒素 ― 欠乏
2. リン酸 ― 含有
3. カリウム ― 不足
4. マグネシウム ― 不足
5. カルシウム ― 豊富
6. アルミナ ― 溶出のおそれほぼなし
7. 塩類濃度 ― 高い
8. リン酸吸収力 ― 著しく弱い

以上から土性は一様でないことがわかるが，80％以上の標本が埴壌土から砂壌土の範疇にふくまれ，土壌の物理性は野菜，その他の栽培に適しているといえる。なお，土壌中の砂は粒径の著しく小さい微砂であることが多い。土壌要素では3要素のうち窒素，カリウムの含有量が低く，リン酸含量は高い傾向にある。微量要素ではカルシウムの含量がきわめて高く，これと関連して土壌 pH は一般に中性から微アルカリ性である。

2）社会経済的立地条件

ジェソール県の総面積，耕地面積などは以下の通りである。

総面積	1,630,000	acre	(652,000 ha)
耕地面積	1,231,000	〃	(492,000 〃)
森林面積	10,000	〃	(4,000 〃)
休閑地面積	35,000	〃	(14,000 〃)
その他	36,000	〃	(14,400 〃)

人口は1974年の時点で330万人であった。

産業についてみると数カ所のジュート工場と精糖工場が一カ所あるのみで，当方面での遅れがめだつ。他に小規模であるが絹製品，カーペット等が生産され，なかでも櫛は良品を産することで名高い。農産物ではナツメヤシの樹液を煮つめて作ったグル（黒砂糖様のもの）が特産物として有名であり各地に出荷される。

当地における野菜の栽培の技術レベルはバングラデシュのなかでは高い水準にあり，農民の野菜づくりにたいする関心も高い。しかし，野菜栽培の主シーズンである乾期に水を得ることが容易でないため，灌漑設備のある地域，特に都市近郊に栽培が限定されている。その他，灌漑の便のない多くの耕地では従来どおりの慣行農業，すなわち要水量の少ないナタネやレンズマメの類が栽培されている。灌漑設備の増加とともに野菜の栽培面積は年々拡大の方向にあるが，近年は野菜と競合してBoro 稲，ムギ作，ワタ作等も盛んになりつつある。一方，雨期は，稲作とジュート作が大半をしめるが，排水のよい高台等ではこの時期にもナス，オクラ，ウリ類を中心に野菜栽培がみられる。

近年の特色のひとつは野菜の産地形成が徐々にすすみつつあることである。過去の栽培経験，土壌を主とした環境要因等を考慮したうえで，ある地域で特定の野菜の栽培がひろまっている。これにあたるものとして，キャベツの早出し地区，ナス，ジャガイモ，スイカの集団栽培地域

等があり，工芸作物であるタバコ産地は限定される。

さらに野菜の周年栽培への方向も近年の特色といえよう。以前は出荷期の限られていたキュウリ，オクラ等は一年中市場でみられるようになり，ほかの野菜もしだいに栽培時期の幅がひろがりつつある。これは主として，走りの時期あるいは端境期に野菜の価格が高いことに起因する。

当地域で栽培の盛んな野菜はダイコン，ナス，トマト，キャベツ，カボチャ，スイカ，タマネギ等であり，ハクサイ，レタス，ピーマン等は市場性がないため，栽培は皆無にひとしい。

なお，コトワリ郡ではA.D.Eの管轄下に農業協同組合が組織されている。当機関は資金の貸付け，種苗，農薬，肥料等の販売，農業機械の貸出し，ならびに農業改良普及員による巡回指導をとおして野菜栽培を中心とした農業の発展に寄与している。

6. シェルプール地区

永井憲和　前田良守

1) 自然的立地条件

a) 位　　置

シェルプール市は，ダッカ行政区のなかにあるジャマルプール県の中央に位置しており，首都ダッカより北へ約 130mile（208㎞）の距離にある。

b) 地　　勢

ジャマルプール県は北をインド・メガラヤ地方と，東をマイメンシン県とそして南をタンガイル県と接している。また，県の西側をバングラデシュ三大河川のひとつであるブラマプトラ河が北から南へ流れている。

一方，このブラマプトラ河の支流が県の北西から中央部を通って東に流れており，この河の影響で交通事情が悪くなっている。特に，7月～8月の雨期には交通手段が小舟だけに限られるため，輸送量は極端に減少する。

この地区は，比較的低地が多いのが特徴で，特に県の西側，ブラマプトラ河にそった地域と南側，東側の一部が低くなっている。

従って，雨期に洪水の被害を受けやすい。

c) 気　　象

気象は，バングラデシュ西部や北西部のように極端ではなく，中間地帯と言える。年間降雨量は 2,000~2,300㎜前後で，比較的雨が多い。また降雨は，6月が最も多く 400~500 ㎜前後にも達する。雨期は，4月下旬頃より始まり10月上旬頃まで続き，雨期の最高気温は，30℃～31℃，最低気温は24℃～25℃前後，昼夜の気温の日較差が6℃前後で，湿度の高いのとあいまって大変むし暑い。一方，乾期は10月の一カ月間に2～3日雨が降る程度で，雨量も10㎜前後である。もっとも気温の下がる12月，1月で最高気温24~25℃，最低気温12℃前後になって，気温の日較差が大きくなり湿度も低くなってしのぎやすくなる。

以上，雨期は洪水に悩まされ，乾期は水不足に悩まされるのが現状であるが，乾期は水不足

の関係で野菜栽培が始まるのは，まだ土壌に水分が豊富に存在する9月下旬～10月上旬である。

また，上記のとおり，この地域の交通事情が極めて悪いために，野菜栽培はもっぱらシェルプール市やジャマルプール市など域内の小さな市場向けに行なわれている。

7. コミラ地区

佐　藤　三　郎

1) 自然的立地条件

a) 位　　置

コミラ県は，バングラデシュ国東部のチッタゴン行政区のなかにあり，北はシレット，南はノアカリ，西はダッカの各県と接し，東側はインド（トリプラ州）と国境を接している。

県の中心であるコミラ市は，県のほぼ中央，東寄りにあり，北回帰線上に位置している。また，コミラの町からインド国境へは約5 mile（8 km）の距離にある。

b) 地　　勢

県のほとんどは，旧ブラマプトラ河の氾濫平原から成っているためほぼ平坦といえるが，県の東側に平均海抜40～50 ft（12～15 m）前後のHill Tractsが，南北に長くのびており，インド（トリプラ州）との国境となっている。またコミラの町の西側には平均海抜90ft（27m）前後〔最高海抜150ft（45 m）〕のLalmai Hillsが南北11 mile（17.6 km）にわたり横たわっている。

一方，主な河川は，県の西側をメグナ河が南北に流れ，ダッカ県との境となっている。また，県のほぼ中央をインド（トリプラ州）に源を発する小型河川グムティ河が東西に流れており，一部地域では灌漑用水として利用されている。

前述のHill TractsとLalmai Hills などのHigh landそして，県の東部，コミラの町を中心とする国境ぞいの地域は少々土地が高く，雨期の降雨又は河川の増水による洪水の影響はほとんど受けないが，これらを除く他の大部分の地域は雨期の降雨または河川の増水による洪水の影響を受けている。特に県の西部と北部のメグナ河にそった地域は雨期の水深が深く6～12ft（1.8~3.6m）前後に達する。

c) 気　　象

コミラは，ベンガル湾で発生したサイクロンの通り道にあたっており，年間降雨量は，2,156 mmとシレット，チッタゴンについで多く，バングラデシュ全土の中でも比較的雨の多い所といえる。

そして，年間降雨量の約60%が6月から8月の3カ月に集中し，その降雨日数をみてもこの期間は2日に一度の割合で降雨のあることがわかる。この期間は，気温，湿度とともに昼夜の較差が極めて小さく，非常にむし暑いので，野菜特に温帯野菜の生育にはまったく不適である。

他方，12月から2月にかけては降雨も少なく，気温，湿度ともに下がり，大変快適でほとんどすべての野菜が容易に生育する。

また4月，5月が一年中で気温が最も高く，また，9月，10月にも最高気温が上がり大変暑

いので，これらの時期には乾燥及び高温障害が出やすい。

d）土　壌

コラミ県全体の土壌に関する資料は入手できなかったが，コミラ県の4つのSub-division（North，South，Chandpur，Devidwar）のうち，実際に筆者が活動した地域のNorth及びSouthのSub-division の資料によると，全体の70%が旧ブラマプトラ河の沖積土壌に属し，灰色から暗灰色のSilty loamsからSilty clay loams であり，土壌反応的には中性～弱アルカリ性である。

以下，詳しい区分と土壌の特徴をⅢ－4表に示した。

Ⅲ－4表　コミラ県の土壌区分とその特性

	地形学的区分	土地レベル	色	反　応	土　性	全体に対する割合(%)
1.	Lalmai Hills	High land	黄～暗赤	強酸性	Sand, Silt	1.0
2.	Old Peidmont Apron	High land	黄茶～強茶	強酸性	Loams to clays	1.1
3.	Subrecent Peidmont Apron	Medium High land (1)	灰色	新層：強酸性 古層：中性 微アルカリ性	新層：Sandy loams to loams 古層：Clay	5.1
4.	Comilla Basin	Medium Low land	灰～暗灰	中性：微アルカリ性	Silty clays, clays	5.4
5.	Uplifted Old Brahmaputra	M. High land (2) ~M. low land Low land	灰～暗灰	〃　〃	Silty loams to silty clay loams Silty clay to clays	68.0
6.	Old Brahmaputra Meander Flood plain	Low land Low land	灰～暗灰	〃　〃	Silty loams to silty Clay loams Silty clays, clays	1.9
7.	Meghna Flood plain	Low land	灰～暗灰	〃　〃	Sandy silty clays, clays	11.0
8.	Active Flood plain	M.Low land	灰～暗オリーブ灰	〃　〃	Sandy	3.2
9.	Recent Piedmont Apron	M. High land (1)	灰色	〃　〃	clays	3.3

（出所）　F.A.O, 1965, Reconnaissance Soil Survey－Sadar North and South Sub-division, Comilla district.

2）社会経済的立地条件

コミラ県は面積2,594 mile^2（6,640㎢），人口580万であり，面積では他の県にくらべ，中程度の大きさであるが，人口が多く，その密度は2,239人／mile^2（874人／㎢）とバングラデシュ全土ではダッカに次いで2番目に高い。

一方，耕地面積は，総耕地面積1,229,890acre（491,956ha），耕地率74%であり，一家族当り平均耕地面積は1.48acre（0.6ha）とバングラデシュ全土平均2.3acre（0.92ha）にくらべ大変少ない。

次に，コミラ県における1973－1974年度の作物別作付面積および生産量をみると，Ⅲ－5

表のとおりである。

Ⅲ－5表　コミラ県の作物別作付面積および生産量

Crops	Area(acre)[1]	%	Production(ton)	%
Rice	1,665,840	86.90	988,670	60.08
Wheat	28,465	1.50	15,139	0.93
Other Foodgrain	3,210	0.20	866	0.05
Jute	110,940	5.80	389,070[2]	23.64
Sugar cane	1,030	0.05	15,360	0.94
Oil seed	25,245	1.30	7,430	0.45
Tabacco	3,315	0.20	687	0.04
Gram & Pulses	12,325	0.65	3,426	0.20
Potato	20,725	1.00	62,050	3.78
Vegetables	46,290	2.40	162,810	9.89
Total	1,917,385	100.00	1,645,508	100.00

Source：1974 Census
1）1 acre = 0.4 ha
2）ジュートの単位はBales

この表によると稲が栽培面積，生産量ともに圧倒的に多く，野菜の作付面積割合はジャガイモをふくめても3.4％にしかすぎない。

野菜の作付面積の割合が稲とくらべ極めて少ない理由としては，つぎのことが考えられる。

1）土地レベルが低く，雨期の洪水の影響を受けるため，野菜の作付が困難である。

2）気象的にみてSummer season（4月，5月）とMonsoon season（6月～8月）およびMonsoonの終りの9月，10月は高温ならびに多湿のため温帯野菜の生育が困難であり，一部の在来品種のみ作付されている。

3）野菜生産のほとんどは乾期（11月～2月）に行なわれているが，乾期といえども灌漑施設が不備なため，大面積に栽培することができず，住宅周辺の極めて限られた小面積に栽培されているのが現状である。

4）住民一人当りの野菜消費量が極めて少なく，したがってマーケットが小さい。食習慣の問題がある。

しかし，コミラ県におけるジャガイモを含めた野菜の1971～1973年度の作付面積および生産量の状況をみると，チッタゴン行政区に属する他の4つの県にくらべ，コミラは作付面積，

生産量ともに最も多く，またバングラデシュ全体からみてもダッカについで2番目に多い（Base Statistics of Bangladesh Agriculture，B.A.D.C.，Nov.1975)。したがってコミラは，バングラデシュにおける野菜の主要生産地のひとつということができる。

コミラ県における野菜の主要生産地としては，

1）コトワリ郡
2）ボルラ郡南部
3）ブリチョン郡北部
4）チャンディナ郡南部
5）デビドゥワール郡北部
6）ダウドゥカンジ郡西部
7）ブロモンバリア郡

などであり，これらの地域では，自給用のみならず販売を目的として生産が行なわれており，ダッカ，チッタゴン，シレットなど近隣の主要都市にむけて出荷されている。

ちなみに，コミラの町からこれら主要都市への距離はダッカ60mile（96km），チッタゴン100mile（160km），シレット160mile（256km）であり，これら3都市をむすぶ幹線道路が町のなかで交差しており，交通の便はきわめてよい。だが，県の西側をメグナ河が流れているため，首都ダッカへは2回フェリーボートをのりつがねばならず，新鮮な野菜の輸送に不便なため，新鮮な野菜のほとんどはチッタゴンにむけて出荷されているのが現状である。

8. ポティヤ地区

横井健二

1）自然的立地条件

a）位　　置

チッタゴン県は，チッタゴン行政区のなかの中心県で，チッタゴン市はバングラデシュ第2の都市として，また世界の貿易港として名高い。ポティヤ市はそのチッタゴン市の南約10mile（16km）の距離に位置する。

b）地　　勢

チッタゴン県は，西のベンガル湾と東のチッタゴン丘陵地帯とにはさまれた弓状の県であり，ガンジス河の沖積デルタ平野である当国において，丘陵地帯を有する特色をもっている。

丘陵地帯は県の約20%の面積を占め，レモン，パイナップルなどの果樹をはじめ，チーク材を代表とする政府レベルでの林業などが行なわれている。また象，鹿，熊など，野生動物の宝庫でもある。

ポティヤ郡は，ベンガル湾にそそぎ，干満の影響をうけているカルナプリー川とシャンカ川にはさまれたチッタゴン県のほぼ中央に位置し，ポティヤSubdivisionの地区本部がある。ポティヤ郡にはB.A.D.Cの直営農場A.D.Eが存在し，チッタゴン市を近くにひかえ野菜栽培が発展しつつある。

c) 気　　象

他の地域同様に6月から9月をサイクロンではじまりサイクロンで終る雨期とするが，チッタゴン地域では10月に入っても平均7～8日は雨の日があり，乾期の訪れはおそい。また11月に入っても4分の3は雨か曇天日がつづく。乾期の3月から5月が最も暑い時期であるが，海に近いためか，ボグラ，ラジシャヒなどの北部，北西部よりは過ごしやすいように思われる。12月から2月が気温も低く日本野菜の栽培最適期である。

当地区は，前述のように，雨期が長く年間降雨量約3,000 mmとシレット，ノアカリにつぐ雨の多い地域である。

風は10月に北から吹き，11月から2月にかけて次第に西に傾いていき，3月には日中南から，夜は北からというパターンになる。9月までのモンスーン期は主に東南から湿気を多くふくんだ風が吹く。

サイクロンは台風と同じ熱帯性低気圧であるが，5月から10月の間ベンガル湾上，北緯20度付近で発生する。一日に250mile（400km）ぐらいのスピードで，風速15～150 mの風を持ってほとんどまっすぐに進む。

持続時間は，数時間から2週間である。

最高気温は4月，5月に，最低気温は12月，1月に記録されている。1870年からの記録では最高気温は1888年の101°F（38.3℃），最低気温は1878年の45°F（7.2℃）が記録されている。

Ⅲ－6表　チッタゴン県・ボティヤ地区の年度別気象

項目＼年度	1972年	1973年	1974年	1975年
平均気温	21.1℃	18.0℃	22.8℃	23.1℃
最高気温	32.2℃	36.7℃	35.0℃	35.0℃
最低気温	10.0℃	11.7℃	10.6℃	11.1℃
平均湿度	79%	80%	82%	80%
年間降雨量（inch）	58.01	116.44	173.88	113.47
年間降雨量（mm）	1,473.5	2,957.6	4,416.5〔註〕	2,882.1

（出所）B.B.S and Meteorogical Department
〔註〕1974は，大洪水の年で各地で大きな被害を出した。

d) 土　　壌

チッタゴン県には海岸平坦地から丘陵地まで様々な地形が存在している。丘陵地といっても最高峰で1,152ft(345m)である。内陸部では地下水位が低く，池が多くつくられている。土壌・土性は土地の高低の差から，つぎの4つにわけることができる。

1) THE HIGHER HILL RANGE (高丘陵地域)

SAPAR NORTH Subdivisionの海岸線から数マイルの丘陵地を起点として，コックス・バザールSubdivisionの東の端までがこれに属する。

2～3ftの頁岩の中を類別すると，濃い茶色のくだけやすい沈泥によってつくられた粘土壌が多くみられる。丘陵の上部は，鉄硬盤，ラテライトをふくむ粘土壌であり，地すべりや降雨によって低い耕地に入りこんでいる。

産物はチークなどの植樹木のみである。

Ⅲ－7表　チッタゴン県・ボティヤ地区の月別平均降雨量

月＼降雨量	inch	mm
1	0.00	0.0
2	0.04	1.0
3	1.51	38.4
4	4.15	105.4
5	10.61	269.5
6	20.94	531.9
7	22.06	560.3
8	11.65	295.9
9	7.88	200.1
10	6.61	167.9
11	4.66	118.4
12	0.18	4.6
合　計	90.29	2,293.4

(出所)　A.D.E. Patiya (1973－78)

2) THE LOWER HILL RANGE (低丘陵地域)

丘陵地帯でも250ft(75m)以下の地域でチッタゴン市内にも点在している。

主に濃い赤色でくだけやすい粘壌土か粘土で，そのなかに鉄の凝固物やラテライトをふくんでいることもある。強酸性で，南部の一部には茶黄色の砂壌土もみられる。

作物としてはこの地域でゴム，茶のプランテーションがみられるほか，レモン，パイナップル，ジャックフルーツ，グワバなどの果樹が栽培されている。

3) THE COASTAL PLAINS (平坦地域)

海岸から丘陵地にいたるまでの平坦地で，川によって運ばれ，堆積された砂質土と洪水時に流れてくる粘質土で構成されている。海岸にちかいところでは乾期に塩田のようになるところもあるが，雨期には塩分が雨によって流され作物も育っている。

土色はほとんどが灰色から暗灰色であり，表土は強酸性であっても，土層が深くなるにしたがい適度なアルカリ性になる。

作物はAus,Amonの稲作であるが，河岸や丘陵地の近くには灰黄色から茶色の砂壌土がみられ，野菜，サトウキビ，タバコなどが栽培されている。

4) THE TIDAL MANGROVE SWAMPS (干満影響地域)

潮の干満の影響をうける湿地でMATAMUHARIとKUCHUBDIAのChannel(瀬戸)地域に

みられる。灰色の粘土が日に2回流され返されしている。その地域の一部ではAmon稲が栽培されている。

2) 社会経済的立地条件

宗　教

Ⅲ－8表　チッタゴン県における各宗徒数

総人口(人)	イスラム教徒	ヒンズー教徒	キリスト教徒	仏教徒
2,982,931	2,407,368 (80.6%)	398,054 (16.7%)	3,036 (0.1%)	78,401 (2.6%)

(出所)　1961年センサス：District Gazetters Chittagong

キリスト教徒は，チッタゴン市内に多くヒンズー教徒，仏教徒はポティヤ，RAOZANIに多い。仏教徒については，ビルマに近いコックス・バザール Subdivision に多くみられる。

Ⅲ－9表　チッタゴン県およびポティヤ郡における
耕地面積ならびに土地利用状況

項　目	CHITTAGONG District	PATIYA Subdivision
人口	4,315,400人	1,275,543人
総面積	1,731,000 (acre)[1]	430,720 (acre)
森林	591,000 〃	108,005 〃
電気存在地面積	160,000 〃	31,164 〃
耕作不可能地面積	320,000 〃	6,800 〃
耕作可能荒地面積	39,000 〃	90,455 〃
単毛作地面積	413,000 〃	31,057 〃
2毛作地面積	265,000 〃	156,915 〃
3毛作地面積	40,000 〃	41,254 〃
作付総面積	736,000 〃	285,338 〃
総耕地面積	1,031,000 〃	469,649 〃
河川面積	98,000 〃	— 〃
池数	50,572 (1923~33)	—
深井戸数		46基
浅井戸数		18 〃
Low Liftpump		1,472 〃

(出所)：Chittagong District　1974－76センサス
Patiya Subdivision　1978－79センサス
1)　1 acre ＝ 0.4 ha

言　語

チッタゴン県の90%の人々は宗教とは関係なくこの地方特有の方言を使用している。この方言はBengaliが主であるが，Arabic,Portuguese，Persian，Arakanese に加え多くの土着語が混合されている。

主な特徴は，切れ目のない不明瞭な発音とS，Z などの歯擦音をhの気音に代用していることなどで，ほかの地域の人々にも理解は容易でない。この方言は書かれることはなく，文字にするのはベンガル文字で会話にのみ使われている。

また，チャクマを代表とする山岳民族はそれぞれの部族により特有の言語を有し，彼等はそれらを使っている。

Ⅲ－10表　チッタゴン県・ボティヤ郡における冬野菜作付面積および生産量

年度	1972-73		1973-74		1974-75		1975-76		1976-77	
作物名	面積 1)(acre)	生産量 (ton)	面積 (acre)	生産量 (ton)	面積 (acre)	生産量 (ton)	面積 (acre)	生産量 (ton)	面積 (acre)	生産量 (ton)
ナス	350	1,500	400	1,200	474	1,630	500	1,700	600	1,600
トマト	400	1,600	455	1,600	420	1,580	440	1,600	450	1,500
トウガラシ	260	1,040	260	1,040	250	1,000	265	100	290	125
カボチャ	224	896	250	900	190	960	200	800	242	850
ユウガオ	150	600	160	600	175	600	200	780	175	800
ニガウリ	15	60	30	60	40	160	60	150	55	160
ササゲ	100	400	95	400	90	400	100	400	125	450
フジマメ	200	800	180	700	194	760	200	800	246	875
エンドウ	3	8	—	—	5	20	5	10	5	12
ダイコン	500	2,109	600	2,100	670	2,517	770	2,600	500	2,500
カブ	30	120	35	125	35	100	35	100	40	70
ニンジン	—	—	10	20	8	32	10	30	12	25
サツマイモ	150	600	75	300	50	225	40	30	40	35
ジャガイモ	200	1,600	400	2,000	474	3,392	310	2,470	500	2,000
タマネギ	13	52	30	100	20	80	20	50	25	50
ニンニク	15	60	30	100	40	80	60	50	55	45
キャベツ	350	1,500	375	1,528	400	1,600	438	1,700	250	1,675
カリフラワー	150	600	190	650	200	700	221	750	200	760
コールラビ	30	120	35	125	30	110	40	100	35	75
フダンソウ	40	160	20	80	25	80	34	146	40	150
レタス	—	—	—	—	3	12	4	16	5	15
ヒユナ	—	—	—	—	10	40	25	50	30	55
カラシナ	2	8	30	90	35	150	40	160	50	150
ラッカセイ	—	—	—	—	8	32	10	40	12	50
計	3,151	13,833	3,660	13,718	3,804	16,260	4,027	14,627	3,982	12,047

Ⅲ－11表 チッタゴン県・ボティヤ郡における夏野菜作付面積および生産量

年度	1972-73		1973-74		1974-75		1975-76		1976-77	
作物名	面積 1)(acre)	生産量 (ton)	面積 (acre)	生産量 (ton)	面積 (acre)	生産量 (ton)	面積 (acre)	生産量 (ton)	面積 (acre)	生産量 (ton)
ナス	200	960	250	1,000	225	900	200	905	205	850
トウガラシ	—	—	—	—	5	5	20	5	18	6
キュウリ	190	760	200	800	235	940	240	970	235	800
カボチャ	180	720	127	748	115	460	107	600	106	411
ユウガオ	35	140	40	160	30	120	25	130	30	150
トウガン	53	212	46	184	105	420	80	450	82	350
トカドヘチマ	200	800	230	840	240	960	230	980	132	950
ニガウリ	195	780	200	800	235	860	200	950	205	800
ヘビウリ	202	808	200	800	230	840	210	850	232	800
ヤサイカラスウリ	12	48	13	52	15	60	20	70	22	50
モクベツシ	110	440	100	400	195	600	150	620	148	500
ササゲ	105	420	100	400	125	500	100	407	105	400
オクラ	140	560	150	600	143	744	170	800	165	700
サトイモ	430	1,720	425	1,700	475	1,900	450	2,000	435	1,600
ミズイモ	95	380	100	400	95	340	80	360	85	300
ゾウコンニャク	35	140	30	120	15	60	15	70	17	50
ヒユナ	—	—	—	—	—	—	5	3	6	4
ハゲイトウ	43	180	50	200	35	105	30	150	32	100
ツルムラサキ	8	32	7	28	7	21	10	30	12	20
ショウガ	215	1,740	205	918	100	565	429	570	430	500
計	2,288	10,840	2,473	10,150	2,625	10,400	2,618	10,920	2,702	9,291

1) 1 acre = 0.4 ha

第Ⅳ章　バングラデシュの慣行野菜栽培法

▶果　菜　類

1. ナ　　ス

Solanum Melongena. L.

〔英名〕 Egg plant　〔ベンガル名〕 বেগুন (Begum)

(1) 品　　種

ガイバンダ地区：バロマシ，コッコティア，イスランプリ，シンガハール，ジュプシー，シュンドリ

ナトール地区：ジュムカ，ショラなど10数品種

ラジシャヒ地区：ベール，ポウラ，グリットカンチョン

ジェソール地区：ゴウリシャダ

シェルプール地区：イスランプリ他

カシンプール地区：シングナット，ジュムカ，コッコティア，ムルリー

コミラ地区：シングナット，ボラーナット，タール

ポティヤ地区：ドハザリ，ケリショール，ポタ，イスラムプリ，シングナット，ジュムカ，ジュリ

品種特性はⅥ「品種の項」を参照

(2) 栽　　培

1. 播種・育苗

イ) 播　種　期

冬季栽培：8月上旬～9月下旬

夏季栽培：11月中旬～12月下旬，ただしポティヤ地区（チッタゴン）では，1月～3月播きも行なわれる。

雨期栽培：4月～5月播きが主力だが，早い所では3月中旬から，遅い所では6月中旬まで播く。

周年栽培：季節に関係なく播く。

ロ) 播　種　量　（acre当り）

各地区によって多少の差があるが，ほぼ11～13 tola（128～150g）である。少ない所では6～7 tola，多い所で20 tola以上播く例もある。

ハ) 育　苗　床

通常，畑の一画に高さ10cm程の平床をつくり，無施肥あるいは牛糞5～10 seer（4.6～9.3kg）

/㎡と草木灰1～2 seer （0.9～1.8kg）／㎡のみを施して育苗することが多い。

ただ，カシンプール地区では，Urea，T.S.P，M.Pなどの化学肥料を少量づつ施す例もある。

ニ）播　　種

散播。覆土後，アリの被害を防ぐため草木灰を，床の上に播く例もある。

ナトール，カシンプール地区などでは，播種前に種子を水に浸漬して催芽処理を行なう。ガイバンダ地区では育苗せずに，いきなり本圃に散播する例もある。

ホ）苗床管理

播種後，発芽まで床面をバナナやココナッツの葉等で覆う。日覆い，雨よけのため割竹で編んだミス（チャタイ，ベラなどと呼ぶ）を使用している所もある。

中耕除草は1回程度，灌水も必要に応じて行なう程度である。

ヘ）移　　植　　なし

ト）育苗日数

通常30～45日で本葉3～4枚が一般的である。長い所では50～60日に及ぶ。

2. 本　　圃

イ）耕起・整地

Langol（写真参照p. 213）で通常5～6回，多い所で15～20回耕起し，Moi（写真参照P. 213）で砕土，整地する。

コミラでは，耕起前に池の腐植土を客土し，乾いたころ，それを木の棒などで砕き，耕起，均平する方法もある。

ロ）施　　肥

一般に次のような施肥慣行が行なわれている。

牛糞はほぼすべての地域で使用されている。牛糞のかわりに池や川の腐植土を客土して代替する所もある。

Urea，T.S.Pは使用するが，M.Pは用いない所が多い。

Urea は一般に，追肥として使用する。

T.S.Pは基肥に使う場合が多いが，場所によっては追肥にも用いる。

施　肥　例（acre当り）

ジェソール地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
川底の腐植土	8,000			
Urea	30		30	
T.S.P	120	120		
M.P				

ボティヤ地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛　糞	4,000	4,000		
Urea	40~60	20~30	10~15	10~15
T.S.P	60~80	60~80		
M.P				

単位：seer（0.93 kg）

ハ) 定　　植

苗の取扱いは極めて乱暴で苗を取る時，竹ベラなどは使わず，そのままひき抜くので根を切ってしまう。しかし，ナトール地区では側枝の生育が促進されるといって定植の際，苗の根を3分の1切落して植えるのが一般的である。

畦立てする地区と，しない地区がある。

定植する場所を除草鎌や手で膨軟にし定植する。定植後，バナナの茎や木の葉で日覆をし，2～3日株元へ灌水して活着させる。

ニ) 栽植様式　単条植え

ホ) 栽植距離

栽培品種，地区によって一様ではないが，以下のとおりである。

冬季栽培：2.5 ft (75cm) × 2.0～2.5 ft (60～75cm)

夏季栽培：2.0 ft (60cm) × 1.5 ft (45cm)

雨期および周年栽培：3.0～4.0 ft (90～120cm) × 3.0～4.0 ft (90～120cm)

これ以外に，コミラでは 1.5 ft (45cm) × 1.5 ft (45cm)，ジェソールでは 4.0 ft (120cm) × 4.0 ft (120cm) などの例もある。

ヘ) 栽培管理

a) 灌　　水 … 乾期は15～20日ごとに行なう。通常2～3回。

雨期はむしろ排水につとめ，排水溝を切り，株元へ土寄せして倒伏を防止する。

b) 中耕除草 … 2～3回。

c) 病害虫防除 … Brinjal Shoot and Fruit Borer の被害が著しく，特に雨期に被害が大きい。

農薬の散布は2～3回行なうが，ほとんど効果なし。農民は虫の入った部分を折り取っている。また，多くの地区では植物体に大量の木灰をかけて防虫効果をだすようにしている。

d) そ の 他 … 整枝，支柱なしの放任栽培がほとんどである。ただ，コミラの一部では，2月～3月にシングナット，ボラーナット種の整枝，更新を行なっている。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

冬季栽培：11月中旬～4月中旬

夏季栽培：3月上旬～6月下旬

雨期栽培：8月上旬～3月下旬（収穫期間が7～8カ月におよぶ）

2. 収　　量（acre 当り）

冬季栽培：150～250 maund (5,595～9,325kg)，ドハザリ種は 300 maund 以上。

夏季栽培：100～200 maund (3,730～7,460kg)

雨期，周年栽培：200～300 maund (7,460～11,190kg)，ベール，ポウラなどの品種は 350 maund に達する。

〔4〕 採　　種

1. 採種方法

優良株を選び，果皮が黄色になった頃収果して，家に持ち帰りつるしておく。何日かして腐ったら，水中で種子をもみだし，水洗して，天日乾燥する。

2. 採　種　量

1果当り 0.2～0.4 tola（2.3～4.5 g）前後。

〔5〕 種子について

通常，自家採種して，ビン，ブリキ缶，ビニール袋などに入れて貯蔵する。一部ではB.A.D.C直営農場，バザールなどから入手することもあるが，バザールで販売されている種子は，発芽率が悪かったり，交雑していたりして品質が悪い。また，バザールで苗や種子果を買うなどの例もある。

2. トマト

Lycopersicum esculentum Mill.

〔英名〕Tomato　〔ベンガル名〕 টেমাটো （Tomato）

〔1〕 品　　種

ガイバンダ地区　：デシ，ジュプシーなど
ナトール地区　　：輸入種と在来種の交雑種
ラジシャヒ地区　：オックスハート，ワールドチャンピオン，マニーメーカー，ポパアーリージャイアント
ジェソール地区　：バトルクシ
シェルプール地区：デシ
カシンプール地区：オックスハート，ワールドチャンピオン，ポパアーリージャイアント，ローマＶＦ，サンマルジ，
コミラ地区　　：デシ，オックスハート，ワールドチャンピオン，ローマＶＦ
ポティヤ地区　　：サンマルガノ，ワールドチャンピオン，オックスハート，ローマＶＦ

品種特性はⅥ「品種の項」参照

〔2〕 栽　　培

1. 播種・育苗

イ）播　種　期

比較的雨量の少ないラジシャヒ，ジェソール地区では，8月下旬～9月上旬播きの早期栽培が行なわれるが，主力は9月中旬～11月播きである。

ポティヤ（チッタゴン）地区では，12月，1月播きも行なわれている。一般的に8月，9月播きは高温多湿のため，バイラス病の被害が著しい。

ロ) 播　種　量　（acre当り）

各地区によってかなり差がある。少ない地区では，5～6 tola(58~70g)，多い地区で16～20tola(186～232g)，中間的な地区で10～12 tola(116～140g)前後である。

ハ) 播　種　床

ほぼナスに準ずるが，排水のよい，少し高い場所に苗床をつくり，牛糞・木灰などを施すのみで化学肥料は用いない。

ニ) 播　　種

散播。ポティヤ地区では，カリフラワー，キャベツ，ナスなどと混播することもある。

ホ) 苗床管理

ナスに準ずる。

ヘ) 移　　植

ほとんどなし。（ナトール地区では，厚播きした場合移植するか，徒長したら，倒伏腐敗を防ぐため，上から細土を振りかけ，苗の地際に土を寄せる）。

ト) 育苗日数

25日～30日(本葉2～3枚)と40日前後(本葉4～5枚)の例がある。一般的に小苗で，徒長したものが多い。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

定植1週間前から牛糞，草木灰を畑一面に散布し，Langol で6～7回耕起し，Moi で砕土，整地する。

ロ) 施　　肥

ナスと比べやや施肥量は少ないが，どの地区も牛糞，油粕など有機質肥料と化学肥料を併用する。

特に，M.Pまたはそれに代わる木灰の施用が多い。

施　肥　例　（acre当り）

ジェソール地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	3,000	3,000		
木　灰				
油　粕	75	60		15
Urea	45		15	30
T.S.P	45	30		15
M.P.	45	15		30

ポティヤ地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	2,800	2,800		
木　灰	80	40	20	20
油　粕				
Urea	60	30	15	15
T.S.P	40	40		
M.P				

単位：seer (0.93kg)

追肥は定植後15～20日目と30日目頃の２回施用する場合が多い。

ハ) 栽植様式

平畦，単条植え，まれに複条植えもある。定植時，畦立てしないで平地に植えた後，中耕時に畦立て土寄せすることもある。ラジシャヒ地区では，１株２本植えとする。

ニ) 栽植距離

畦　幅：多くの地区が，1.5～2.5 ft（45～75cm），まれに 3.0 ft.（90cm）の例がある。

株　間：ほとんど 1.5～2.0 ft（45～60cm），まれに 3.0 ft（90cm），またはそれ以上の例もある。

ホ) 栽培管理

a) 灌　　水 … 定植後株元へ３～４日灌水し，活着後，10～15日ごとに２～３回行なう。

b) 中耕除草 … ２～３回行なう。

c) 病害虫防除 … 青枯病，バイラス病の被害が著しい。

土壌施用殺虫剤ヘプタクロールや，殺虫剤メラチオン，殺菌剤としてコパーオキシクロライド，ボルドー液など１～２回散布されているが，農民は病害か虫害かの区別がつかず，また薬剤に関する知識がないので，殺虫剤，殺菌剤の誤用される場合が多い。

d) そ　の　他 … 通常，支柱をたてず，芽かきも行なわない全くの放任栽培。

ただし，ガイバンダ地区では敷ワラを行ない，シェルプール地区では，支柱又は高さ90cm，幅90～120cmの棚に這わせる栽培例がある。

(3) 収　　穫

1. 収　穫　期

12月上旬～４月中旬，ただし，晩期栽培は，５月いっぱい収穫する。一般に定植後２～2.5カ月から収穫をはじめる。

2. 収　　量

200～300 maund（7,460～11,190kg）/ acre。

3. 収穫方法

通常，完熟までおくと鳥害などにあうので，果尻が少し赤味をおびた未熟果を収穫している。ナトール地区は，２～３日貯蔵し色付けして出荷する。

在来種は，ホウズキ大で，青味のまま出荷する。

また特殊な例としてチッタゴン市の北方地区（Shitakonro, Hatazali）では，サンマルガノ種を，２月～３月の収穫後期に，青い果実をつけたまま根株ごと引抜いて，１カ月～1.5カ月間家屋のなかにつるし，市場の端境期をねらって遅出しする場合もある。

(4) 採　　種

1. 採種方法

優良株を残し，完熟した果実を水中でつぶし，種子を採取して水中で選別した種子に木灰を

まぶし乾燥させる例があるが防虫効果があるとされている。

外国の品種を毎年自家採種している農家が多いが交雑，品種退化をおこし，すでに在来化したもののなかには，ホウズキ大のものまである。

〔5〕 種子について

ほとんどが自家採種であるが，B.A.D.Cやバザールから購入する場合もある。しかしバザールの種子は不発芽や不純種子が多い。種子は缶やビンなどに入れ貯蔵される。

3. トウガラシ

Capsicum annuum L.

〔英名〕Chilli Plant　〔ベンガル名〕 মরিচ (Morich)

〔1〕 品　　種

ガイバンダ地区　：シュルジョムキ，ダンニアなど
ナトール地区　：ビンドウ，サチ
ラジシャヒ地区　：シカールプリー
ジェソール地区　：ボグラ（ボナ）
シェルプール地区：デシ，ラリジョリ
カシンプール地区：デシ，バロマシ
コミラ地区　：デシ，シレット，ダンニア，カムランガ，バイラ，ニールなど
ボティヤ地区　：チャムドリ，ボグラ，シュルジョムキ，チャクマ，ポバグリーン，コミラ，ボンベイ，ダンニア，バタシャ

品種特性はVI「品種の項」参照。

〔2〕 栽　　培

直播栽培と移植栽培とがあるが，直播栽培が多い。

1. 播種・育苗

イ）播 種 期

品種によって9月上旬～11月中旬播き（冬季，夏季栽培）と3月～5月播き（雨期栽培）とがある。

ロ）播 種 量（acre当り）

直播栽培：3～5 seer（2.8~4.6kg）
移植栽培：9～12 tola（104~140g）

ハ）播 種 方 法

直播栽培 … 全面散播。シェルプール地区では浸種，催芽処理してから播く場合もある。

移植栽培 … 育苗床に牛糞と木灰を施し，散播して育苗。発芽まで10～12日要するので，床面が乾かぬように，バナナなどの葉で覆い，発芽後，毎日夕方灌水

する。移植なし。育苗日数は20～30日。本葉4～5枚で定植する。

2. 本　圃

イ) 耕起・整地

Langol で5～6回耕起し，Moi で砕土，整地する。

ロ) 施　肥（acre 当り）

油粕や化学肥料を施用する外，牛糞のみで栽培する例もある。各地区によって施肥法はちがう。

ガイバンダ地区

肥料名	全量	基肥	追肥			
			1	2	3	4
牛　糞	6,000	6,000				
木　灰	30	30				
油　粕	300 ~360	300 ~360				
Urea	90		30	30	30	
T.S.P	60	60				
M.P	45	45				

コミラ地区

肥料名	全量	基肥	追肥			
			1	2	3	4
牛　糞	8,000 ~10,000	8,000 ~10,000				
木　灰						
油　粕	85	85				
Urea	100		25	35	40	
T.S.P	85	85				
M.P						

単位：seer（0.93kg）

ハ) 播　種（定植）

直播栽培 … 耕起・整地後，圃場一面に種子を散播し，Asra を2回，牛にひかせ，種子と土をよくまぜる。その後，Moi で覆土，均平化を行ない，最後に4.5ft（135cm）位の間隔に Langol で排水溝を切る（コミラ地区）。

移植栽培 … 平畦に定植（カシンプール地区）。耕起，整地後，足で一定間隔にラインを引き，鎌でライン上に植穴をあけ定植する（コミラ地区）。

ニ) 栽植距離

直播栽培 … 混みあったところを2～3回間引し，株間8～9 inch（約20～23cm）とする。

移植栽培 … 畦　幅：1.5～2ft　（約45～60cm）

株　間：9 inch～1.5ft　（約23～45cm）

ホ) 栽培管理

灌水2～4回必要に応じて行ない，中耕除草も追肥時に2～3回行なう。病害虫防除は通常1～2回行なうがまったく行なわない地区もある。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

播種又は定植後，60日前後から収穫が開始され，ほぼ周年収穫が継続する。

2. 収穫方法

市場の値段をみて，青果として出荷したり，乾燥トウガラシとして出荷したりする（ラジシャヒ地区）。冬季栽培品種は赤く完熟してから収穫し，乾燥トウガラシとするがその他の品種は青果として出荷する（ガイバンダ地区）。

3. 収　　量

生　　果	… 90~100maund	(3,357~3,730kg) / acre	
乾燥トウガラシ	… 25~ 30maund	(933~1,119kg) / acre	（ガイバンダ地区）

4. 調整・貯蔵

完熟果をそのまま4日ほど天日乾燥し，充分乾燥したら麻袋に入れ天井につるすとかブリキ缶に入れて貯蔵する。

(4) 採　　種

完熟して赤くなったものを収穫し，よく乾燥させ，皮つきのまま保存し，次期の播種前に皮をはぎ種子を取出して使用する。

(5) 種子について

イ) 入手経路

ほとんど自家採種である。市場で販売されている熟果のなかから大きなものをえらび種子用にしたり，また市場で苗を買う場合もある。

ロ) 保管状況

皮つきのまま，石油缶，肥料袋などに入れて保存し，2～3カ月に1回，天日乾燥する。

4. キュウリ

Cucumis sativus L.

〔英名〕Cucumber　〔ベンガル名〕শসা (Shosha)

(1) 品　　種

ナトール地区：2品種あるが品種名不明。ただし，地道種なし。

ラジシャヒ地区：デシ，ロンバ，バロマシ

ジェソール地区：ロンバ，バロマシ，チョイタリ，ボルシャティ

シェルプール地区：デシ

コミラ地区：ロンバ

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 播種・育苗

イ) 播　種　期

キュウリは年中栽培可能なため，播種期に幅があるが，多くの地区では12月～1月の冬季播種（夏季収穫型）と3月～5月の夏季播種（雨期収穫型）が多い。周年栽培用品種は上記以外の季節にも播種する。

ロ) 播　種　量　（acre当り）

ナトール　地区：混作の場合（ヒユナ，ハゲイトウ，トウモロコシ）……9～12 tola (104~140g)

単作の場合 …… 20~25 tola（232~290g）

ラジシャヒ地区：9～10 tola（104~116g）

コ ミ ラ 地 区：30 tola（348g）

ハ) 播種方法

直　播（育苗ほとんどなし），1点3～4粒播き。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で牛耕6～7回行ない，Moiで粘土・整地する。

ロ) 施　　肥　（acre当り）

全層施肥する場合と，たて・よこ1 ft，深さ1 ftの植穴に施肥し，鞍づくりする場合がある。

全層施肥例（コミラ地区）

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	6,700 ~8,000	6,700 ~8,000		
木　灰				
油　粕	167		167	
Urea	35			35
T.S.P	167	167		
M.P				

単位：seer（0.93kg）/acre

鞍づくり施肥例（ラジシャヒ地区）

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	465	465		
木　灰				
油　粕				
Urea	58	58		
T.S.P	58	58		
M.P	29	29		

単位：g／鞍当り

これら以外にも糞のみ施肥する地区がある。また，通常Urea は栄養生長が旺盛になりすぎるという理由で，多量に用いない。

ハ）播　　種

畦立てしないで，播種する場所を除草鎌（ニリ，カチと呼ばれる）で軽く耕して，1株3～4粒ずつ播種する。

また，前記のように鞍づくりをやり，その上に点播する方法もある。

ニ）栽植様式および栽植距離

単条植え，畦幅，株間とも3.5～4.5ft（105～135cm）。1株2本～3本立てにする地区もある。

ナトール地区では，ヒユナ，ハゲイトウ，トウモロコシなどとの混作が一般的で単作する例は少ない。

シェルプール地区では，一戸の農家で自家用として1～2鞍程度栽培するのが，普通である。

ホ）栽培管理

a）中耕除草 … 追肥時または灌水後，土壌が適度に乾いたころに2～3回行なう。かるく土寄せして，低い畦を立てる。

b）灌　　水 … 乾期栽培の場合10日目ごとに行なう。初期には株元へリング状に灌水し，その後は時間灌漑とする。

c）支　　柱 … 蔓が伸びはじめたら長さ120cmぐらいのジュートの茎または細い割竹を3本，株のまわりにたて，上部をヒモで結束する（コミラ地区）。

d）棚づくり … 草丈90cm位に伸びたら，長さ120cm前後の太い竹または木の枝を3m間隔ぐらいにたて，棚の上部にはふとめのジュート茎または，細竹を縦横にわたす。キュウリの棚は他のウリ科のものより丈夫につくる（コミラ地区）。

屋根の上や，2m以上の高い棚上に這わせる（シェルプール地区）。

ナトール地区ではトウモロコシなどと混作するためトウモロコシの株や木の枝をたてて支柱とする。

e）病害虫防除 … バイラス病のほか，ダニによる被害が出る。農薬散布1～2回。

〔3〕収　　穫

1. 収 穫 期

a）冬季播種・夏季収穫型：3月中旬～6月中旬

b）夏季播種・雨期収穫型：6月中旬～9月下旬

2. 収　　量（acre当り）

大型品種：200~300 maund（7,460~11,190kg）以上

中・小型品種：100~150 maund（3,730~ 5,595kg）前後

〔4〕採　　種

1. 採種方法

採種用としてあらかじめ選抜した優良果実が充分成熟したら収獲し，種子を取出し，水洗後，3～4日天日乾燥して保存する。果肉は食用とする（コミラ地区）。

2. 採 種 量

200～300粒／1果

〔5〕 種子について

1. 入手経路

自家採種又は，市場や近隣の農家から取得する。

2. 保管方法

乾燥後，ビン，缶に入れ保管する。

5. 小型キュウリ（キーラ）

Cucumis sativus L.

〔英名〕Cucumber（Gherkins）　〔ベンガル名〕 খিরা （khira）

〔1〕 品　　種

楕円形と球形の2種あり，いずれもデシ。品種特性はVI「品種の項」参照。

〔2〕 栽　　培

1. 播　　種

イ）播種期 … 9月中旬～12月中旬
　　3月（ガイバンダ地区）

ロ）播種量 … 24～60tola（約278～696g）/acre

ハ）播種方法 … 直播，1株2～3粒播き，間引せず。

2. 本　　圃

イ）耕起・整地 … Langol を用い牛耕し，Moiで砕土・整地。

ロ）施　　肥 … 牛糞，Urea，T.S.P，M.P を基肥として整地のさい，土と混和し，畦立ての時，Urea，T.S.P.，M.Pを追肥として用いる（ナトール地区）。

ハ）栽植距離 … 畦幅　120cm　（ナトール地区）
　　〃　150～180cm（ガイバンダ地区）
　　株間　60～80cm（ナトール地区）
　　〃　150～180cm（ガイバンダ地区）

ニ）栽培管理 … 開花はじめに中耕・土寄せを行ない，本葉5～6枚のとき1回灌水する。虫害がひどいので，農薬を随時散布する。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

11月下旬～5月中旬

2. 収　　量 （acre 当り）

150～200 maund（約5,595～7,460kg）

6. ス イ カ

Citrullus vulgaris SCHRAD

〔英名〕Water Melon　　〔ベンガル名〕 তরমুজ (Tormuj)

(1) 品　　種

ガイバンダ地区：ラジャビラットなど

ナトール地区：トップイールド，在来種

ラジシャヒ地区：トップイールド，ヒカリNo.3，大和クリーム

ジェソール地区：トップイールド

カシンプール地区：トップイールド，シュガーベビー，ヒカリNo.3

コミラ地区：トップイールド，ポテンガ

ポティヤ地区：トップイールド，ポテンガ

品種特性は，VI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

地域差があるが全体的にみて直播が多い。育苗するのは日本種のみ。

1. 播種・育苗

イ）播 種 期

12月上旬～2月中旬（シェルプール地区では，9月中旬から播種が開始される）。

ロ）播 種 量 （acre 当り）

各地区における1株あたりの播種粒数や，栽植距離によって播種量は異なるが，以下のとおりである。

ナトール地区：6～9 tola（69～104g），2粒播き／株

カシンプール地区：12～15 tola（139～174g），3～4粒播き／株

シェルプール地区：18～24 tola（208～278g），5～7粒播き／株

ハ）育苗方法 （移植栽培の場合）

a）催芽処理法 （在来種は行なわず，日本種のみ）

ナトール地区 … 種子を水に24時間浸漬し，布でつつみ，牛糞またはワラのなかに入れて催芽する。

カシンプール地区 … 土製のポットに砂をつめ，適湿条件下で催芽する。

ポティヤ地区 … 水に2～3時間，浸漬し，コンクリート上で砂と水を加え，手で揉み擦り，外皮をうすくする。その後，バナナの皮でつつみ，堆肥，籾のなか，または，地中1ft（30㎝）の深さに伏せ込み催芽する。地中に伏せ込む場合，あらかじめ，火を燃やし土の温度を上げることもある。

b）ビニール・ポット … 市販されている小型の薄いビニール袋をポットとして利用する。これに，土70%，牛糞25～30%の割にまぜたものをつめ，催芽された種子を1～2粒播く。

c）管　　理 … 苗が小さいうちは，低温から保護し，適湿保持のためビニールで被覆する。

d）育苗日数 … 約20～30日，本葉5枚時に定植。

2. 本　　圃

イ）耕起・整地

Langol で牛耕5～6回行ない，Moi で砕土・整地する。

ロ）施　　肥

ガイバンダの例

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	4,464	4,464		
木灰	22	22		
油粕	90~120	90~120		
Urea	44	22	22	
T.S.P	30	30		
M.P	30~45	30~45		

ナトールの例

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	2,790	2,790		
木灰				
油粕				
Urea	36	18	7	11
T.S.P	69	44		25
M.P	55	33		22

ジェソールの例

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2	追肥 3
牛糞	3,000	3,000			
木灰					
油粕	125	94		16	15
Urea	135	65	34	23	13
T.S.P	97	76		16	5
M.P	88	68		16	4

単位 g／畝当り

<施肥方法>

基　肥：耕起・整地後，直径1.0~1.5 ft（30～45cm），深さ1 ft（30 cm）前後の植穴を掘り，そのなかに基肥を施す。

追肥(1)：蔓の長さ4 inch（10cm）のころ施用。

追肥(2)：蔓の長さ約1 ft（30cm）のころ，植え条より約1 ft（30cm）外側に溝を切り，そのなかに施用。

追肥(3)：植条から外側へ約3 ft（90cm）の通路へ施用。

ハ）播　種（直播栽培の場合）

畦立てする場合は少なく，ほとんどの場合鞍づくりをして播種する。定植する場合は，2本立てとするのが一般的である。

ニ）栽植距離

畦幅：180～210 cm　　株間：180～210 cm

ホ）栽培管理

a）灌　水 … 通常3回ぐらいの灌水を行なう。また，バケツや小型水さし（ボドゥナと呼ぶ）で，2～3日おきに少量ずつ株元へ灌水する地区もあるがほとんどやらない地区もある。

b）中耕除草 … 追肥時に行なう地区が多く，追常2～3回。同時に土寄せ，畦作りを行なう。

c）病害虫防除 … 各地区様々であり下記のとおりである。

ガイバンダ地区 … ほとんどしない。

ナトール地区 … 必要に応じて随時行なう。

ラジシャヒ地区 … 定植後1カ月以内にコパー・オキシクロライド（殺菌剤・粉）を散布し，その後，病虫の発生状況をみて散布する。

ジェソール地区 … 耕起時，ダイエルドリン（土壌施用散虫剤・液）を施用し，苗には7日毎にメラチオン（殺虫剤），コパー・オキシクロライド（殺菌剤）を散布する。

シェルプール地区 … 5～6回行なう。

カシンプール地区 … 耕起時へプタクロール（土壌施用殺虫剤・粉）3 lbs/acre 施用し，苗には10日毎にノゴス，ダイアジノン（いずれも殺虫剤），コパー・オキシクロライド（殺菌剤）を散布する。

ポティヤ地区 … Fusarium Wiltの被害が著しく，コパー・オキシクロライドを少量の水でとき，株元へ塗付する。

ヘ）敷　ワ　ラ

ガイバンダ，シェルプール，カシンプール，コミラ地区などでは，敷ワラを行なっているが，その他の地区では行なわない。

ト）そ　の　他

整枝，摘果などまったく行なわない放任栽培。ただし，ポティヤ地区では，収穫前果実の

下に2本短く切った木の枝をおいて玉直しをする。

収穫前後に雹の降る危険性があり，大きな被害をだす。

〔3〕 収　　穫

1. 収 穫 期

3月上旬～6月中旬（播種後3～4カ月で収穫開始）

2. 収穫方法

ポティヤ，カシンプール地区の一部農民のように，着果から日数を数える方法をとっている例もあるが，大部分の農民は，手でたたいて濁音を発するもの，巻ヒゲが黄変したもの，また果実の地面に接している白色部分が黄変したものなどを熟期の判別としている。

3. 収　　量　（acre 当り）

ガイバンダ地区	120～150	maund	（4,476～ 5,595kg）
ナトール地区	300～400	〃	（11,190～14,920kg）
ラジシャヒ地区	300～400	〃	（11,190～14,920kg）
ジェソール地区	250～300	〃	（9,325～11,190kg）
カシンプール地区	450～600	〃	（16,785～22,380kg）

〔4〕 採　　種

種子果は収穫後，室内に2～3カ月つるしておく（ポティヤ地区）。

〔5〕 種子について

1. 入手経路

自家採種，または，B.A.D.Cから輸入種子を購入する例が多く，バザールからの購入は少ない。日本種などは，ブラックマーケットで政府レートの2～3倍高い値段で取引されている。

2. 品　　質

輸入種子は品質がよく，市場のものは不純なものが多い。

7. メ ロ ン

Cucumis Melo L.

〔英名〕Melon　〔ベンガル名〕　বাংগি　（Bangi）

〔1〕 品　　種

ガイバンダ地区：パルワ（在来種）

ナトール地区：4～5品種あるが，品種名不明。乾期用品種と雨期用品種がはっきりわかれている。ホルムージュというマスクメロンがある。

シェルプール地区：カホ，キラ

ジェソール地区：ジェソーリー

コミラ・ボグラ地区：デシ

品種特性は，Ⅵ「品種の項」参照。

〔2〕 栽　　培

1. 播種・育苗

イ）播　種　期

乾期栽培：11月上旬～2月中旬

雨期栽培：3月中旬～4月下旬

ロ）播　種　量（acre当り）

ガイバンダ地区：80～100 tola（928～1,160g）

ナトール地区：24 ～ 30 tola（278～ 348g）

ハ）播種方法

直播，1鞍当り4～5粒播き，間引なし。

ナトール地区では催芽処理をする。方法は，種子を2日間水に浸漬し，それを15～20分間天日乾燥させ，砂と一緒にまぜ，サトイモの葉でつつんで，その上より稲ワラで覆い，おもしをのせてあたたかい部屋，台所におく。

ナトール地区では，トカドヘチマとの混作が多い。

2. 本　　圃

イ）耕起・整地

Langol で5～6回耕起し，Moi で砕土・整地する。シェルプール地区では，播種予定地を1回耕起して鞍をつくる。

ロ）施　　肥

基肥として，1鞍当り牛糞2～3 seer（約1.8～2.8kg）施用し，追肥に1鞍当り Urea 20～25g 施用する。

ハ）栽植距離

ガイバンダ，シェルプール地区：畦幅，株間ともに4 ft ～5 ft（120～150cm）

ナトール地区：畦幅6～7 ft（180～210cm），株間5～6 ft（150～180cm）

ニ）栽培管理

ガイバンダ地区のように植えっぱなしで放任する例もあるが，通常は中耕除草1～2回，病害虫防除2～3回行なう。

なお，敷ワラをする地区もある。

整枝，摘果はまったく行なわない放任栽培が多い。

〔3〕 収　　穫

1. 収　穫　期

乾期栽培：2月中旬～6月中旬

雨期栽培：5月中旬～9月中旬

2. 収穫方法

開花後20～25日で収穫（ナトール地区），果実の色または香りをみて収穫（ガイバンダ地区）する。

バングラデシュのメロンは過熟すると裂果する性質があるため通常収穫は過熟しないうちに行なう。裂果したものは，麻ひもでしばり，又はバナナの葉で包み出荷する。

3. 品　質

一般にカボチャのように大型で，香りはよいが，甘みがまったくないため砂糖をふりかけて食べる。

4. 収　量

約 100 ～ 200 maund（3,730 ～ 7,460 kg）/acre

8. カボチャ

Cucurbita moschata DUCHESNE

〔英名〕Squash　〔ベンガル名〕 মিষ্টি কুমড়া (Misti Kumra)

(1) 品　種

ガイバンダ地区：冬季と夏季栽培品種とがある

ラジシャヒ地区：ボロ，チョト

ジェソール地区：ボイシャキー，チョイタリ（チョウリ），バドゥイ

コミラ地区：シュディンナ，バイラ

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　培

1. 播　種

イ）播種期

カボチャはほぼ周年播種され栽培が行なわれているが，多くの地区で年２作，乾期作と雨期作とが行なわれる。

a）乾期作：９月～12月　地這栽培

b）雨期作：３月～５月　屋根上に柵作りとし，家の周囲に５～10株位しか植えない。

ロ）播種量（acre当り）

20～30 tola（232～348 g）

ハ）播種方法

一鞍当り３～４粒直播する。

ナトール地区では，キャベツ，カリフラワーと，コミラ地区ではジャガイモと混作するのが一般的である。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で5～6回耕起し，Moi で砕土・整地する。混作の場合，畦の片側などを利用して作付する。

ロ) 施　　肥

耕起・整地後，直径1ft（30cm），深さ1ft（30cm）程度の植穴を掘り，そこに基肥を施す。ほとんどの地区は，基肥のみで追肥はしない。

<施　肥　例> 鞍当り

ナトール地区：牛糞のみ2～3 seer （約1.8~2.8kg）

ラジシャヒ地区：牛糞　0.5seer（465g）　T.S.P　1.0chatach（58g）

Urea　1.0chatach（58g）　M.P　0.5chatach（29g）

混作する場合は特別に施肥しない。

ハ) 栽植距離

畦　幅：6～7 ft（180～210cm）

株　間：4～6 ft（120～180cm）

ニ) 栽培管理

a) 灌　　水 … 通常2～3回行なう。乾燥が激しいとバイラス病が発生しやすくなる。

b) 中耕除草 … 雑草の発生をみて随時行なうが，普通2～3回。

c) 病害虫防除 … 一般にはしない。

d) そ の 他 … 通常敷ワラはしない。
草勢が強く，着果不良のときは，葉や蔓を切ったり，牛を放って食べさせ，草勢をおとす。一部農家では，M.Pをまくこともある。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

a) 乾 期 作 … 7月中旬～5月下旬

b) 雨 期 作 … 6月～10月

2. 収穫方法

開花後30～45日して，ヘタの部分が枯れかかるなどを熟期の判別として収穫する。しかし，市場価格をみて，未熟果でも収穫，出荷する地区もあり，また熟果でも2～3カ月貯蔵して，市場価格の高い時期に出荷することもある。

3. 貯　　蔵

果実を完熟させてから収穫したものであれば1年間貯蔵可能である。

4. 収　　量 （acre 当り）

ナトール，ラジシャヒ地区：250～350 maund（9,325～15,055 kg）

カシンプール地区：90～100 maund（3,357～3,730 kg）

コミラ地区：400～600 maund（14,920～22,380 kg）

(4) 採　　種

1. 採種方法

熟した果実を収穫し，種子を取出し，水洗いしないで，そのまま天日乾燥させる。また，水洗いして調整する地区もある。

2. 採　種　量

300～400粒／個

(5) 種子について

1. 入種経路

自家採種が多く，缶，ビンに入れて保管する。

9. ユウガオ

Lagenaria siceraria STANDLEY

〔英名〕Bottle Gourd　〔ベンガル名〕নাউ　(Lau)

(1) 品　　種

ガイバンダ地区：シャダ

ナトール地区：3～4品種　品種名不明

ラジシャヒ地区：ロンバ，ケット

ジェソール地区：ロンバ，ケット，ゴール

コミラ地区：トゥンバ，デイグ

品種特性はVI「品種の項」参照

(2) 栽　　培

1. 播　　種

イ) 播種期

周年栽培されるため，播種期は一定でないが，通常乾期栽培（7月～10月播種）と，雨期栽培（3月～5月播種）が多い。

ロ) 播種量

通常，25～30tola（290～348g）であるが，ガイバンダ地区は，6～9 tola，ナトール地区は40～60 tola と地区によってちがう。

ハ) 播種方法

直播，1鞍当り3～4粒播き，間引せず。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

通常，牛耕を5～6回行ない，砕土・整地した後，播種する場所に直径30～50cm，深さ30cm

前後の植穴を掘り，基肥入れや，高目に鞍づくりをする。家の周囲に，数株植える場合は，その箇所のみをコダール（在来の鍬）で耕し，播種する。

ロ）施　　肥　（単位：g／鞍当り）

通常は，植穴を掘って基肥を入れ，土とよく混和するがコミラ地区では，牛糞を全面施肥して，すき込み，残りの肥料を鞍の土と混和する。

追肥は株のまわりにリング状に施す。

家の周辺に数株植えるものは，基肥として牛糞のみ利用し，追肥なしの場合が多い。

ジェソール地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	930	930		
Urea	22	11	11	
T.S.P	90	56	34	
M.P	33	22	11	

コミラ地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	6,000	6,000		
Urea	86	26	30	30
T.S.P	64	64		
M.P				

シェルプール地区

肥料名	全　量	基　肥
牛　糞	1,860 ~2,790	1,860 ~2,790

＜註＞ 生牛糞なら播種２～３カ月前，完熟牛糞なら播種２～３日前に施す。また牛糞のかわりに池の泥を使用することもある。

ハ）栽植距離

畦幅6 ft（180cm）×株間6 ft（180cm）… ラジシャヒ，コミラ地区

畦幅7～9 ft（210～270cm）×株間6～8 ft（180～240cm）… ラジシャヒ，ジェソール，カシンプール地区

畦幅10 ft（300cm）×株間　10～12 ft（300～360cm）… ガイバンダ，カシンプール地区

ニ）栽培管理

a）灌　　水 … 初期は株元へリング状に灌水し，畦立て後は，時間灌漑とする。通常，乾期作は10～15日おきに灌水し，雨期作は灌水の必要がない。

b）中耕除草 … 草丈60cm位のときに１回，前後２～３回行なう。

c）支　　柱 … 蔓がのびはじめたら120cm前後のジュートの茎を株のまわりに立て，上部を結束する。

d）棚づくり … 畑に栽培する場合は，草丈90cmの頃，120～150cmの太竹又は木の枝を３m間隔に立て，棚の上部には丈夫なジュート茎または細竹をわたして棚づくりを行なう。また，家

の周囲に2m以上の高さに棚をつくり，這わせたり，屋根に這わせることもあるが，池のふちに栽培し池にせりだすように棚をつくり，その上を，池の中にむかって蔓をのばす栽培例も多い。

e）病害虫防除 … ほとんど行なわない。

〔3〕収　　穫

1. 収 穫 期

a）乾期栽培（7月～10月播種）：10月上旬～4月中旬

b）雨期栽培（3月～5月播種）：6月中旬～11月中旬

2. 収穫方法

収穫が遅れるとすぐ固くなるので早目に収穫する。若い芽や蔓も食用とし，市場で販売される。

3. 収　　量（acre当り）

コミラ，ジェソール地区：400～500 maund（14,920～18,650kg）

ラジシャヒ地区：250～300 maund（9,325～11,190kg）

その他の地区：125～200 maund（4,663～7,460kg）

〔4〕採　　種

1. 採種方法

良果を選んで残しておき，完熟後，採種し，果梗のついた部分を3～5cm切りとり，その表面に牛糞を塗る。それを池の中に4～5日間つけておくと，なかが腐るので種子を取出し，水洗後，4～5日天日乾燥して貯蔵する。

2. 採 種 量

300～400粒/果

〔5〕種子について

ほとんど自家採種である。よく乾燥させたものを缶またはビンに入れ保管する。発芽率80%程度。

10. トウガン

Benincasa cerifera SAVI

〔英名〕Wax Gourd　〔ベンガル名〕চাল কুমড়া　(Chal Kumra)

〔1〕品　　種

ナトール地区：品種名は不明だが，地這用（円形）と棚栽培用（楕円形）品種がある。

ジェソール地区：ジェソーリー，ロンバ

ラジシャヒ地区：デシ

コ ミ ラ 地 区：デイミ，デシ

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 播　　種

イ) 播 種 期

2月中旬～5月中旬

ロ) 播 種 量 （acre当り）

15～25 tola（170～290 g）

ハ) 播 種 方 法

直播，3～4粒播き，間引せず。ただしナトール地区の地道（円形）品種は，播種床をつくり，20～25日間育苗し，本葉6～7枚で定植する。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

牛耕を5～6回行ない，砕土・整地する。家の周辺に数株植える場合は，コダール（在来鍬）で植える箇所を耕す。

ロ) 施　　肥

直径30cm，深さ30cmの植穴へ基肥施用する地区と全面散布して鋤込み，全層施肥する地区とがある。

施肥量，施肥方法はほぼユウガオに準ずるが，ユウガオよりもUreaを少なく，T.S.Pを多く施す傾向がある。

Urea を多く施すとツルボケしやすいので現地農民は，使用をひかえる。

ハ) 栽 植 距 離

カシンプール地区：畦幅8 ft（240cm）×株間8 ft（240cm）

コ ミ ラ 地 区：畦幅4.5 ft（135cm）×株間4.5 ft（135cm）

ニ) 栽 培 管 理

ユウガオに準ずる。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

5月中旬～10月中旬

2. 収 穫 方 法

市場価格をみて，未熟果でも出荷することがある。完熟したものは1年間貯蔵可能。

3. 収　　量 （acre当り）

200～250 maund（7,460～9,325 kg）

(4) 採　　種

1. 採種方法

熟すると果実表面が白粉で覆われるが，完熟果から種子を取出し，水洗いせず，3～4日天日乾燥して，保存する。

2. 採種量

1,000粒/果。

(5) 種子について

自家採種。

11. ニガウリ

(大) *Momordica charantia L. var chinensis*

〔英名〕Balsam Pear　〔ベンガル名〕 করলা (Korla)

(小) *Momordica charantia L. var muricata*

〔英名〕Balsam Pear　〔ベンガル名〕 উচ্ছে (Uchhe)

(1) 品　　種

2品種あって，ベンガル語名 ウッチェ（またはウスタ）と呼ばれる小型品種とコロラと呼ばれる大型品種とがある。

ニガウリのベンガル語名は一般にコロラである。

(2) 栽　　培

1. 播　　種

イ) 播種期

早期栽培：1月上旬
普通栽培：3月上旬～5月中旬 }…… コロラ種
普通栽培：9月～11月 …… ウッチェ種

ロ) 播種量（acre当り）

栽植距離，播種粒数によって異なるが，以下のとおりである。

地区名	栽植距離	播種粒数	播種量
ナトール，ラジシャヒ，カシンプールなど	120×120cm	2～3粒	80－120 tola (928－1,392g)
コミラ	90×70cm	2～3粒	200－280 tola (2,320－3,248g)

ハ) 播種方法

直播。ただし，コミラ地区は通常育苗する。一般に，ニガウリの種子は発芽しにくいため，播種前に催芽処理をほどこす地区が多い。

催芽方法は以下のとおりである。

2日間水に浸漬した後，15～20分間天日乾燥させ，砂といっしょにまぜて，サトイモの葉でつつみ，上から稲ワラで覆い，重しを乗せて暖い部屋又は台所におく（ナトール地区）。

半日水にひたし，発芽させる（ラジシャヒ地区）。

ポットに砂や灰をつめ催芽させる（カシンプール地区）。

苗床に3㎝間隔に播種し，覆土後，床の上に木灰を厚くまき，床面をバナナの葉，稲ワラなどで厚く覆い，さらにその上に土を薄くかぶせ，寒気から保護する。発芽日数は10～15日前後（コミラ地区）。

発芽したものは，そのまま残すため，1株2～3本仕立てとする。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で5～6回耕起し，Moi で砕土，整地を行なう。ウッチェは植穴を掘り，そのなかに基肥を入れ，鞍づくりをするが，コロラは，同様に鞍づくりをする地区とカシンプール地区のように，全層施肥して畦立てする地区がある。

ロ) 施　　肥

牛糞のみで栽培する地区と牛糞に化学肥料・油粕なども入れて栽培する地区とがあり，各地区さまざまである。

ナトール地区の施肥は牛糞のみでエーカー当り2,000 seer（1,860 kg）である。

ハ) 定　　植（コミラ地区のように育苗する場合）

耕起・整地後，畦立てをしないで，苗を定植する箇所をかるく耕して膨軟にし，定植する。定植後，苗をすっぽり覆うように，両側からバナナの茎で日覆いをしてやり，7～8日間，1日に1回株元へ灌水して活着をうながす。活着後は日覆いを取りのぞき，1日おきに株元へ3～4回灌水を行なう。

ニ) 栽植様式

コロラ…棚栽培がほとんどであるが，まれに地這栽培も行なう。ただし，カシンプール地区では，抱合せ型支柱を立てる例がある。

コミラ地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	10,000	10,000		
木灰				
油粕	170		170	
Urea	35			35
T.S.P	85	85		
M.P				

単位：seer（0.93kg）/acre

ウッチェ … 地道栽培

ホ) 栽植距離

品種	畦　幅	株　間	地区名
コ	5~6 ft (150-180cm)	3~4 ft (90-120cm)	カシンプール
ロ	4~5 ft (120-150cm)	4~5 ft (120-150cm)	ガイバンダ，ナトール
ラ	3 ft (90cm)	2.5 ft (75cm)	コ ミ ラ

	畦　幅	株　間	地区名
ウッチェ	2.5~3 ft (75-90cm)	2.5~3 ft (75-90cm)	ナ ト ー ル
	3~4 ft (90-120cm)	3~4 ft (90-120cm)	カシンプール
	4.5 ft (135cm)	4.5 ft (135cm)	ラ ジ シ ャ ヒ

ヘ) 栽培管理

a) 灌　水 … 早期栽培の場合，生育期間中乾燥が激しいので，10日に1度位の割で灌水する。

b) 中耕除草 … 追肥時に2～3回

c) 支柱・棚づくり … トカドヘチマに準ずる

d) 敷わら … 地道栽培には（ウッチェ）中耕除草後，敷わらをする。

e) 病害虫防除 … ウリバエの被害が甚大だが，ほとんど防除しない。

(3) 収　穫

1. 収穫期

早期栽培：3月中旬～5月中旬 } …… コロラ
普通栽培：5月 ～ 8月

普通栽培：1月中旬～5月下旬 …… ウッチェ

2. 収　量（acre 当り）

コ ロ ラ：150～200maund（5,595～7,460kg）

ウッチェ：100～150maund（3,730～5,595kg）

(4) 採　種

1. 採種方法

熟して赤くなった果を切って，種子を取出して木灰に混ぜて種子の表面にある物質を取除き，3～4日天日乾燥する。

2. 採種量

100～125粒/果。

(5) 種子について

自家採種，または，近隣の農家から入手。ビンまたは缶に入れて保存。1カ月に2回程度，天日乾燥する。

12. トカドヘチマ

Luffa actangula (*L.*) *Boxb.*

〔英名〕Angled Loofah 〔ベンガル名〕 ঝিঙা (Jhinga)

(1) 品　　種

ナトール地区：乾期作用（地這）と雨期作用（地這・棚栽培）とがある。

ラジシャヒ，ジェソール地区：バロ・パタ

ジェソール，ポティヤ地区：ブイ

その他の地区：デシ

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 播　　種

イ) 播 種 期

乾期（夏季）栽培：12月～1月

雨期栽培：2月～4月

ロ) 播 種 量 （acre当り）

栽植距離，1株当り播種粒数によって相違する。

<地区名>	<栽植距離>	<播種粒数>	<播種量>
コ ミ ラ	90×70 cm	2～3粒	130~150 tola (1,508~1,740g)
ナ ト ー ル	120~150×90~120cm	4～6粒	120 tola (1,392g)
ラジシャヒ	180×180cm	3～4粒	40~50 tola (464~580g)

ハ) 播種方法

通常，畝をつくりその上に直播する。ナトール地区では，ニガウリのように催芽処理してから，Langol で作条を切り，そこに播種する方法もある。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で6～7回耕起し，Moiで砕土，整地した後，植穴を掘り，畝づくりをするのがふ

つうである。ただし，ポティヤ地区のように，稲作の跡地では，播種する場所のみ耕し，穴を掘って，鞍づくりする例もある。

コミラ地区は鞍づくりをしない。

ロ) 施　　肥

ナトール地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	465~744	465~744		
木　灰				
油　粕				
Urea				
T.S.P				
M.P				

カシンプール地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	930	980		
木　灰				
油　粕				
Urea	18	6	6	6
T.S.P	17	17		
M.P	8	8		

単位：g／鞍当り

ポティヤ地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	9,300 ~18,600	9,300 ~18,600		
木　灰				
油　粕				
Urea	116	58	58	
T.S.P	232	232		
M.P	58	58		

単位：seer (0.93kg)/acre

ハ) 栽植距離

ほとんどの地区が畦幅，株間ともに4～5 ft (120～150cm)である。

狭い例：コミラ地区　畦幅3 ft (90cm) ×株間2.5 ft (75cm)

広い例：ラジシャヒ地区　畦幅6 ft (180cm) ×株間6 ft (180cm)

ニ) 栽培管理

トカドヘチマは通常，棚栽培される例が多く，中耕除草1～2回，灌水，農薬散布は必要に応じて随時行なうが，一般的に放任栽培が多い。地道品種の場合でも敷わらはしない。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

乾期 (夏季) 栽培：3月～5月

雨期栽培：5月～8月

2. 収穫方法

播種後2.5～3ケ月してから収穫に入るが，収穫が遅れると皮が固くなるので毎日，あるいは

2～3日おきに収穫する。

3. 収　　量（acre当り）

通常100～200 maund（3,730～7,460kg）とされるが，ラジシャヒ地区では200～250 maundである。

(4) 採　　種

熟果を，そのまま乾燥させ，天井からつりさげるなどして次のシーズンまで貯蔵保管する。1カ月2回程度天日乾燥する。採種量は約100～150粒/果である。

(5) 種子について

自家採種。

13. ヘビウリ

Trichosanthes anguina L.

〔英名〕Snake Gourd　〔ベンガル名〕চিচিঙ্গা　(Chichinga)

ヘビウリの栽培方法はトカドヘチマ，ニガウリなどとよく似ており以下異なる点のみ記す。

(1) 品　　種

ガイバンダ，ボグラ，ナトール，ジェソール，

コミラ，ポティヤ地区　：デシ，カト，ドッドクシイ

ジェソール，ポティヤ地区　：ロンバ，フオニ

ポティヤ地区　：ドゥドゥ・シャゴン

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 播　種　期

早期栽培：12月中旬

普通栽培：2月中旬～4月中旬

2. 播　種　量（acre当り）

60～75 tola（696～870g）

(3) 収　　穫

1. 収　穫　期

早期栽培：3月中旬～5月中旬

普通栽培：5月中旬～8月中旬

2. 収　　量（acre当り）

地区により差がある。

a）　80～150 maund（2,984～5,595 kg）

b）230～250maund（8,579～9,325 kg）

〔4〕採　　種

1. 採種方法

優良果を採種用として残しておき，完熟後，種子を取りだし，天日乾燥する。

2. 採種量

50～60粒／果。

14. ヤサイカラスウリ

Coccinia indica W. et A.

〔英名〕Ivy Gourd　〔ベンガル名〕পটল（Potol）

〔1〕品　　種

ボグラ，ナトール，ラジシャヒ，ジェソール，コミラ地区：デシ（大型種）

ジェソール地区　　：デシ（小型種）

ラジシャヒ地区　　：ボンベイ

品種特性はVI「品種の項」参照。

〔2〕栽　　培

1. 蔓植付（栄養繁殖）

イ）植付時期

a）夏季雨期収穫型 …… 10月上旬～11月上旬

b）雨期収穫型 …… 1月中旬～3月中旬

ロ）植付本数

30～32 maund（1,119～1,194 kg）（約53,000本）／acre

ハ）植付方法

a）古株から蔓を切りとり，1m前後の長さに切りそろえ，2～3本，蚊取り線香のようにぐるぐる巻きにする。または，1m前後の蔓を2～3本いっしょにしてのばしたまま植え付る（ナトール地区）。

b）古株から蔓を切りとり，それをサツマイモの苗のように8～10 inch（20～25cm）の長さに切り，蔓が地上にでないように植え付る。雄株と雌株とがあり，雄株は除かれる。

（ラジシャヒ地区）

ニ) 栽培の継続

毎年10月，11月ごろ収穫が終ると，株の地際より10cm程を残して蔓を切取ると，節より新しい蔓がでてくる。切取った蔓は苗として利用することができる。

こうして2～3年栽培が継続でき，1年目より2～3年目の方が収量多い（ナトール地区）。

農民達は，整髪用に菜種油をつけて畑に行くと，落花が多くなり，果実も腐敗するといって，水浴してから畑に行く（ナトール地区）。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で耕起し，Moiで砕土・整地する。

ロ) 施　　肥

ラジシャヒ地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥		
			1	2	3
牛　糞	1,200	1,200			
木　灰					
油　粕					
Urea	45		15	15	15
T.S.P	30	30			
M.P	20	20			

ガイバンダ地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥		
			1	2	3
牛　糞	4,800 ~6,000	4,800 ~6,000			
木　灰	30~45	30~45			

単位：seer（0.93kg）/acre

基肥は全面散布し，鋤込む。ラジシャヒ地区ではUrea を基肥にいれると株が枯死するといってもっぱら追肥用にする。

ハ) 栽植様式及び栽植距離

a) 複条植え … 150cm幅の床に条間45cm×株間15cm，苗の下にワラを敷く（ガイバンダ地区）。

b) 単条植え

畦　幅　240～300cm，株間210～240cm　（ナトール地区）

畦　幅　30cm，株間20～25cm　（ラジシャヒ地区）

ニ) 栽培管理

a) 灌　　水 …数回行なう（ガイバンダ地区）。ポンプのある農家のみ行なう（ナトール地区）。灌水すると根腐れをおこすといってしない（ラジシャヒ地区）。

b) 中耕除草 …数回。花にふれると落下するか，結実後，腐敗するといわれる（ナトール地区）。

c) 病害虫防除 … ほとんどしない。

〔3〕 収　　穫

1. 収 穫 期

a) 夏季，雨期収穫型：3月上旬～10月中旬

b) 雨期収穫型：7月中旬～12月

2. 収穫方法

2～3日おきに行なうが，果の表面の縦縞模様が消えるころを収穫の目安とする。

3. 収　　量

150～300 maund（5,595～11,190 kg）

15. モクベツシ

Momordica Cochine Chinnsis SPRENG

〔英名〕Spiny Bitter Cucumber　〔ベンガル名〕কাকরল　(Kakrol)

〔1〕 品　　種

デシ

〔2〕 栽　　培

1. 播　　種

イ) 播種期（または挿木）：4月中旬～6月中旬

ロ) 播種方法：直播または挿木

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

牛耕し，砕土・整地した後，畝づくりを行なう。

ロ) 施　　肥

1畝当り1～2 seer（0.93～1.86 kg）の牛糞を基肥として施用し，追肥しない。無肥料の場合もある。

ハ) 栽植様式および栽植距離

高さ90～120 cmの棚栽培または竹支柱栽培。

畦幅4～4 ft（120～150 cm）×株間4～5 ft（120～150 cm）（ガイバンダ地区の場合）。

ニ) 栽培管理

ほとんどなし。

〔3〕 収　　穫

1. 収 穫 期

7月中旬～9月中旬

16. サ サ ゲ

Vigna sesquipedalis KOERN

〔英名〕Yard Long Bean (Asparagus Bean)〔ベンガル名〕বরবটি (Borboti)

(1) 品　　種

全　地　区：デシ

ラジシャヒ，ジェソール地区：チャイニーズ・スティング・ビーン

ジェソール地区：ムルリー

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 本　圃

イ) 耕起・整地

Langol で5～6回耕起し，Moi で砕土・整地する。

ロ) 施　　肥

耕起・整地後，直径30cm，深さ30cmほどの植穴を掘りそのなかに施肥する方法と，基肥を耕起時に全面散布して鋤込み，全層施肥する方法とがある。

また，カシンプール地区のように両者の折衷方式，基肥の半量を全層施肥し，残りの半量を植穴へ施肥する方法もある。

ラジシャヒ地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	465	465		
木　灰				
油　粕				
Urea	58	58		
T.S.P	58	58		
M.P	29	29		

単位：g / 鞍当り

コミラ地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	7,000 ~8,000	7,000 ~8,000		
木　灰				
油　粕				
Urea	70	35	35	
T.S.P	85	85		
M.P				

単位：seer (0.93kg)/acre

家の周囲に数株植える場合は，通常，1鞍当り牛糞2～3 seer（1.86～2.79kg）入れるのみで追肥はない。

ハ）播　　種

直播する。

1）播　種　期　a）3月～4月　b）6月～7月

2）播　種　量　（acre当り）

60～80 tola（696～928g）

3)播種方法

a）鞍づくり：点播，3～5粒／株。

b）畦立て：点播，1～2粒／株。

通常，家の周囲の木や棚を利用して，数株しか栽培しない（ナトール，シェルプール地区）。

ニ）栽植様式及び栽植距離

栽植様式	栽植距離	
	畦幅	株間
畦立て，竹支柱栽培	3~4ft（90~120cm）	1~2ft（30~60cm）
鞍づくり，（棚栽培 木支柱栽培）	3~3.5ft（90~105cm）	3~3.5ft（90~105cm）
鞍づくり，棚栽培，地這	6~8ft（180~240cm）	6~8ft（180~240cm）

ホ）栽培管理

a）灌　　水 … 生育初期は乾燥するので灌水するが，中期～後期は雨期にはいるのでしない。

b）中耕除草 … 1～2回。まったくしないところもある。

c）支柱立て … 草丈30cm位の頃長さ180～210cm前後の細竹や木を支柱としてたてる。90cm間隔に土中深く直立にさしこむ。

倒伏防止のため畦間に横竹をわたし結束する。カシンプール地区では合掌式にする。

d）棚仕立て … 草丈30cmぐらいになったら，高さ120～150cm，幅90～100cmの棚をつくり，蔓を這わせる。

e）病害虫防除 … 通常行なわないが1～2回農薬を散布する地区もある。

〔3〕収　　穫

1. 収　穫　期

a）3・4月播き：5月中旬～8月下旬

b）6・7月播き：7月中旬～11月中旬

2. 収穫方法

1週1度位の割で収穫する。棚栽培は，棚の下にはいって収穫する。

3. 収　　量（acre当り）

コミラ，カシンプール地区：30～45 maund（1,119～1,679kg）

ナトール地区：60～100maund（2,238～3,730kg）

ラジシャヒ地区：150～200maund（5,595～7,460kg）

〔4〕種子について

1. 入手経路

自家採種，バザール，又はB.A.D.C の斡旋による。

2. 品　　質

バザールのものは，虫が食っていたりして，発芽率が悪い。

3. 保　　管

収穫したものをそのままの状態で天日乾燥させ，ビニール袋にいれ保管（ラジシャヒ地区）。又は，莢から豆を取出して，ビンなどに入れ保管する。

17. フジマメ

Dolichos lablab L.

〔英名〕Hyacinth Bean〔ベンガル名〕 শীম (Sheem)

〔1〕品　　種

ガイバンダ地区：数品種（在来種）あるが品種名不明。

ボグラ地区：バグニ，ボウカニ，クラ

ナトール地区：3～4品種あるが，品種名不明。

ラジシャヒ地区：グリットカンチョン，バクロカ，クスリー，デシ・シャダ

ジェソール地区：カルティカ，オグロハヨニー，コンテンダル，コイア，グリットカンチョン

シェルプール地区：プチ，カルティカ，サイチ

カシンプール地区：カルティカ，デシ

コミラ地区：バターソイ，ノルドゥビー，ガイタ

品種特性はVI「品種の項」参照。

〔2〕栽　　培

1. 本　　圃

イ）耕起・整地

Langol で牛耕3～4回行ない，Moi で砕石・整地する。耕起・整地後，直径30～60cm，深さ30～45cm程度の植穴を掘り中に基肥を入れる。

ロ）栽植距離

畦　幅　15 ft（450cm）

株　間　10～15 ft（300～450 cm）

ハ）施　　肥

通常基肥として1鞍当り牛糞又は堆肥を3～10 seer（2.8～9.3kg）入れ追肥はしない。

ニ）播　　種

a）播　種　期 … 早期栽培　4月

普通栽培　5月～7月

晩期栽培　8月～10月

晩期栽培する所では，ニガウリなどの後作の場合が多い。

b）播　種　量（acre当り）… 60～80 tola（696～928g）

c）播種方法 … 植穴を掘り基肥を入れ，鞍づくりをして3～4粒を播種する。発芽後間引して2本仕立てにする地区と，間引をせずに4～5本仕立てにする地区とがある。

ホ）栽植様式

一般には，棚栽培するか，家の横に植え，屋根に這わせる方法もある。

ヘ）栽培管理

発芽後2週間程したら，側に竹の支枝を立てて蔓を棚に誘引する。棚の高さは150 cm～210 cmで木や竹を利用して作る。

ラジシャヒ地区では播種直後，稲わらでマルチをし，灌水して発芽を促す方法をとっている。灌水，中耕除草，農薬散布は必要に応じて数回行なうが，一般的には，粗放栽培が多い。

病害虫防除として植物体に木灰をふりかける場合が多い。

(3) 収　　穫

1. 収　種　期

10月～3月（播種後約4～5カ月して収穫開始）

2. 収　　量（acre当り）

100～150 maund（3,730～5,595kg）

18. エンドウ

Pisum sativum L.

〔英名〕Pea（Garden Pea）〔ベンガル名〕মটর শুঁটী（Motor Shunti）

(1) 品　　種

ガイバンダ地区：デシ

ナトール地区：デシ，大型，小型の2品種。外国種はカブリモトルと呼ばれ，在来種より大型で子実のみ食用とする。葉も食用とされる。

ジェソール地区：グリーン・フィスト，デシ

(2) 栽　　培

1. 播　　種

イ) 播 種 期

10月～12月。（シェルプール地区では8月中旬から播種を開始する）

ロ) 播 種 量 （acre当り）

30～40 seer（約28～37kg）

ハ) 播種方法

散播。ナトール地区ではナタネとの混作。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で牛耕し，Moiで砕土・整地。

ロ) 施　　肥

牛糞80～200 maund（2,984～7,460 kg），木灰60maund（2,238kg）を播種2週間前に全層施肥し，追肥はしない。

ハ) 栽植様式

放任栽培，乱植。

ニ) 栽培管理

中耕除草を1～2回，農薬散布を1回。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

1月～3月

2. 収穫方法

草丈20cm前後の頃若葉を収穫し食用とする（ナトール地区）。

3. 収　　量 （acre当り）

ナトール地区：24～30maund（895～1,119kg）。

4. 貯　　蔵

充分乾燥して貯蔵する。2～3年間貯蔵可能であるダール・スープ（豆スープ）用として市場に販売したり，種子用として貯蔵したりする。

19. オ ク ラ

Hibiscus esculentus L.

〔英名〕Lady's Finger 〔ベンガル名〕 ঢেঁড়শ (Dhenrosh)

〔1〕品　　種

ガイバンダ地区：デシ
ボグラ地区：デシ
ナトール地区：デシ
ジェソール地区：ジュム・アーリー
シェルプール地区：アウシ
カシンプール地区：デシ
コミラ地区：デシ
ポティヤ地区：インディアン・タタ，ポバ・グリーン，カズリ，アウシ

品種特性はVI「品種の項」参照

〔2〕栽　　培

1. 播　　種

イ）播種期

冬季栽培：10月　　普通栽培：2月～4月　（最も一般的な播種期）。
夏季栽培：12月　　その他：6月

ロ）播種量

栽植距離および播種粒数によって相違するが，通常栽植距離60×45cm，1株当り3～4粒まきで1 acre当り2～3 seer（約1.8～2.8kg）の種子を使用する。

ハ）播種方法

点播を普通とするが，土壌湿度が充分にあれば散播も行なう。また，ナトールやポティヤ地区では催芽処理を行なう。

通常1株当り3～4粒播き。

2. 本　　圃

イ）耕起・整地

Langol で5～6回牛耕し，Moi で砕土・整地する。

ロ）施　　肥

ガイバンダ地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	6,000	6,000		
木灰	30	30		
油粕				
Urea	60	60		
T.S.P	60～80	60～80		
M.P	40	40		

ポティヤ地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	4,000 ~6,000	4,000 ~6,000		
木灰				
油粕				
Urea	60~80	30~40	15 ~20	15 ~20
T.S.P	40~60	40~60		
M.P				

単位：seer（0.93kg）/acre

この外，牛糞のみ施用して栽培する地区もある。

ハ) 栽植様式

畦立てをする場合としない場合がある。シェルプール地区では散播する所がある。ナトール地区では，単作はほとんどなくニガウリ，トカドヘチマ，ヒユナ，ハゲイトウなどとの混作をする。

ニ) 栽植距離

カシンプール，ガイバンダ地区 ：畦幅 2 ft （60cm），株間1～1.5ft（30～45cm）

ポティヤ，シェルプール地区 ：畦幅 2.5～3 ft（75～90cm），株間1.5～2ft（45～60cm）

ナトール地区 ：畦幅 4～5 ft（120～150cm），株間2～3 ft（60～90cm）

ナトール地区のみ栽植距離が広いのは，混作するためと思われる。

ホ) 栽培管理

中耕除草，農薬散布，灌水は随時行なう。バイラス病の被害が甚大である。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

冬季栽培：11月中旬～3月中旬

夏季栽培：2月中旬～4月中旬

普通栽培：4月上旬～8月中旬

2. 収穫方法

開花後5～6日で収穫し，2～3日おきに収穫する。

3. 収　　量 （acre当り）

60～100 maund （2,238～3,730kg）。

(4) 種子について

自家採種が多く，果実をそのまま天日乾燥させ，莢付のままで貯蔵保管する。バイラス汚染がひどい。

▶根 菜 類

20. ダイコン

Raphanus sativus L.

〔英名〕Radish 〔ベンガル名〕মূলা (Mula)

(1) 品　　種

ナトール，ラジシャヒ，ジェソール，コミラ地区：みの早生

ナトール，ラジシャヒ，ジェソール，コミラ地区：宮重青首

ボグラ，ガイバンダ，ナトール，ラジシャヒ，ジェソール，コミラ地区 ：ラール・ボンベイ

コミラ地区：シャダ・ボンベイ

コミラ地区：デシ

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 播　　種

イ) 播　種　期

品種によってほぼ播種時期が決まっている。

a) 在　来　種 … 7月下旬

b) ラール・ボンベイ，シャダ・ボンベイ … 8月上旬～9月下旬

c) みの早生，宮重 … 9月中旬～11月中旬

ロ) 播　種　量 （acre当り）

厚播きする地区で4～5 seer（3.7～4.6kg），薄播きする地区で，1～2 seer（0.9～1.8kg）である。

通常，在来種，ラール・ボンベイ種などは散播するため，条播，点播する日本種と比べ，播種量が多い。

ハ) 播種方法

在来種，ラール・ボンベイ種 … 散播

みの早生，宮重　　… 条播又は点播。但し条播がほとんど。

但し，ジェソール地区では宮重（日本種）を散播する。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で牛耕を8～10回行ない，他の作物よりも深耕する。耕起後，Moi で砕土・整地する。

ロ) 施　　肥

ジェソール地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛　糞	4,000	4,000		
木　灰				
油　粕	40	40		
Urea	100	60	40	
T.S.P	80	80		
M.P	40	40		

ボティヤ地区

肥料名	全　量	基　肥	追肥 1	追肥 2
牛　糞	4,000	4,000		
木　灰				
油　粕				
Urea	40-60	20-30	10 ~15	10 ~15
T.S.P	20-40	20-40		
M.P				

単位：seer（0.93kg）/acre

基肥・追肥とも全面散布して，土壌に鋤込み，全層施肥する。

日本種は他の品種と比べ若干施肥量を多くする。

ハ) 播　　種

デシ，ラール・ボンベイ種のように散播するものは，耕起，施肥した後，整地する前に全面散播し，Moiをかけて覆土，整地を一度に実施する。

日本種は，耕起，施肥，整地がすんだ後，平らなまま，あるいは，畦立て後条播きする。

コミラ地区では通常，畦立て後，点播を行ない，多くの農民は1株1粒播きとし，後に欠株が出たら追播する。

ニ) 栽植様式

単条植え

ホ) 栽植距離

散　播 … 数回，間引した後最終株間6～8 inch（約15～20cm）にする。

条　播 … 畦幅1 ft（30 cm）に条播きし，数回間引した後，最終株間6inch（15cm）前後にする。

点　播 … 畦立て，点播する場合，畦幅15～16 inch（38～40cm），株間6 inch（15cm）にする。

ヘ) 栽培管理

a) 灌水は10日に1度位の割合で1～2回。日本種の場合は，時間灌漑を2～3回行なう。

b) 中耕除草は間引をかねて2～3回。間引したものは市場へ出荷する。

c) 病害虫防除はほとんどやらないが，軟腐病が時々出るので，ダイセンなどを散布する所もある。

d) 日本種ダイコンは生育後半になると，下葉をかきとる習慣がある。

農民は，ダイコンが早く太くなるからだというが，一般に密植しすぎるため，下葉が混み合い，管理しにくくなったり病気の発生がみられることが理由と考えられる。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

a) 在　来　種 … 9月上旬～9月下旬

b) ラール・ボンベイ，シャダ・ボンベイ … 9月中旬～1月中旬

c) みの早生，宮重 … 11月中旬～2月中旬

2. 収穫方法

間引きしたものも出荷するが，収穫適期に達したものは，畑から引きぬいて，池や川で根部を洗い，そのままあるいは4本1束に束ねて出荷する。ポティヤ地区では出荷の際，葉を2 inch（5 cm）程残して切り落す。

3. 収　　量（acre当り）

a) 在　来　種 … 130 maund（4,849 kg）

b) ボンベイ種 … 150～250 maund（5,595～9,325 kg）

c）日　本　種 … 250～300 maund （9,325～11,190 kg）

ダイコンは重量ではなく，個数単位で取引されている所が多い。通常，4本1束で1ハリと呼ばれる。

〔4〕採　　種

日本種は行なわれないが，在来種とボンベイ種は自家採種される。

1. 採種方法

優良株を選び，根部先端3～5cm位を切り落し，葉も半分切り落して，別の場所へ植えかえる。この植えかえをしないで，そのまま畑に残しておくと，花が早くあがり，翌年の収量が低くなるといわれている（コミラ地区）。

2. 採　種　量

2～2.5 tola（約23～29g）/株。

〔5〕種子について

1. 入手経路

在来種，ボンベイ種は自家採種。日本種は，バザール，ブラックマーケット，B.A.D.Cから入手。

B.A.D.Cの政府レートで売られる種子量は極めて少なく，とても需要をみたせないので，多くの農民はバザール，ブラックマーケットで政府レートの2倍以上の値段で買っている。

2. 品　　質

自家採種の種子は，交雑が激しい。バザールの種子も，不純種子が混入するため信用がおけない。

3. 保　　管

ビンやビニールの袋に入れて貯蔵する。雨期には時々天日に当て乾燥する。

21. カブ（ナトール地区の栽培例）

Brassica Rapa L.

〔英名〕Turnip　〔ベンガル名〕শালগম（Shalgom）

〔1〕品　　種

ホワイト・グローブ，ホワイト・ビエナ，チャンテナ・コードなど外国種が導入されているが，栽培する農家は非常に少ない。

〔2〕栽　　培

1. 播種・育苗

イ）播　種　期

9月～11月

ロ) 播 種 量 (acre当り)

15～18 tola (174g～208g)。

ハ) 播種方法

本圃へ直播，又は苗床に牛糞を施用して散播する。

ニ) 育苗日数

本葉5枚時に定植。

2. 本 圃

イ) 耕起・整地

Langol で耕起し，Moi で砕土，整地。

ロ) 施肥 (acre当り) 基肥のみ

牛 糞	2,400 seer	(2,232kg)	T.S.P	25 seer	(23kg)
Urea	15 〃	(14kg)	M.P	25 〃	(23kg)

ハ) 栽植距離

畦 幅：30cm

株 間：15～20cm

ニ) 栽培管理

灌水は播種後20～25日目に1回。中耕除草，農薬散布は随時行なう。

(3) 収 穫

1. 収 穫 期

10月～1月

2. 収 量 (acre当り)

150～200 mound (5,595～7,460kg)

22. ニンジン

Daucus carota L. var: sativa D C.

〔英名〕Carrot 〔ベンガル名〕গাজর (Gajor)

(1) 品 種

ジェソール地区：クロダ・チャンテナイ

カシンプール地区：キング・クロス

ニンジンは大都市で需要があるのみで，農村地帯では消費されていない。従って，近郊農家が小面積栽培する程度である。

(2) 栽　　培

1. 播　　種

イ) 播 種 期

9月～12月

ロ) 播 種 量 （acre当り）

45 tola（522g）

ハ) 播種方法

条播き（ベッド）。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で牛耕5～6回，基肥を入れながら耕した後，ベッドを作り，すぐに播種する。

ロ) 施　　肥

肥料名	全　　量	基　　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	3,200 seer （2,976kg）	3,200 seer		
Urea	45 〃 （ 42〃）		25	20
T.S.P	40 〃 （ 37〃）	40 〃		
M.P	20 〃 （ 18.5〃）	20 〃		

単位：seer(0.93kg)/acre

追肥，Urea 2回施用。

ハ) 栽植様式及び栽植距離

1 ft（30cm）間隔に条播し，2～3回間引して，最終3～4 inch （7.6～10cm）の株間にする。

ニ) 栽培管理

10～15日置きに灌水し，病害虫防除は行なわない。中耕除草は間引と同時に2～3回行なう。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

12月～4月

2. 収　　量 （acre当り）

150～200 maund （5,595～7,460kg）

23. サツマイモ

Ipomoea batatas (*L.*) *LAM*

〔英名〕Sweet Potato 〔ベンガル名〕 মিষ্টি আলু (Misti alu)

(1) 品　　種

全 地 区：デシ

品種特性は，Ⅵ「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 育　　苗

イ) 藷の伏せ込み

1月～2月に収穫した藷を家の土間に置き，4月～5月発芽したら，家の側の空地などに伏せ込む（コミラ地区）。

4月～6月になって，排水のよい少し高い場所に3～4ft（90～120cm）間隔に藷を伏せ込む（シェルプール地区）。

藷を収穫後，high land に苗用として蔓を植付けておき，挿苗期になるとそこから苗をとる（カシンプール地区）。

ロ) 採　　苗

蔓がのびたら，3～4枚の葉を付け，20～30cmの長さに切り取って苗とする。

ハ) 定植（挿苗）期

9月～11月

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で牛耕5～6回行ない，Moi で砕土・整地を行なう。

ロ) 施　　肥

コミラ地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	6,700 ~8,000	6,700 ~8,000		
木灰				
油粕				
Urea	20		20	
T.S.P				
M.P				

ボティヤ地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	1,600	1,600		
木灰				
油粕				
Urea	20		20	
T.S.P	40	40		
M.P				

単位：seer（0.93kg）/acre

これら以外に無肥料栽培もある。

ハ) 定植（挿苗）方法

耕起・整地後，畦立てを行ない，苗を定植。苗の半分～3分の2を土の中に斜めに挿込む斜挿が一般的である。シェルプール地区では水平植えも行われている。

ポティヤ地区では畦立てをしない所も多い。

ニ) 栽植距離

単条植え … 畦幅 1.6~2.0 ft（50~60cm）×株間 0.6~1.5 ft（20~45cm）

複条植え … 2～3 ft（60~90cm）幅の平畦に10～12inch（25～30cm）間隔に植付ける。

ホ) 栽培管理

定植後，2～3日株元へ灌水するのみで，あとは灌水しない。灌水すると蔓ボケするといわれる。中耕除草1～2回でその他の管理はしない。

ポティヤ地区では，蔓の勢いが強すぎると牛を放ち，葉を食べさせる。

〔3〕 収　　穫

1. 収 穫 期

1月～4月中旬

2. 収穫方法

定植後3～4カ月で蔓をすべて切り除き鋤で掘りおこす。

3. 収　　量（acre 当り）

ガイバンダ，カシンプール地区 … 120～150 maund（4,476～5,595 kg）

コミラ，ポティヤ地区 … 200～250 maund（7,460～9,325 kg）

無肥料栽培は90～100 maund 前後である。

4. 調　　整

出荷する時は，藷を水で洗い泥を落す（ポティヤ地区）。

5. 貯　　蔵

天日乾燥させ，竹製のゴザの上に広げておく。2～4カ月貯蔵は可能。

24. ジャガイモ

Solanum tuberosum L.

〔英名〕Potato　〔ベンガル名〕 আলু （Alu）

〔1〕 品　　種

ボグラ地区：ハクライ，バクリ，マツダイ，シュンドリ・グティ

ガイバンダ地区：シュンドリ・グティ，ノニタル，ジュプシー

ジェソール地区：ジャルラ，カーディナル，クリフ・シュンドリ，クリフ・チォンドロムキ

コミラ地区：マルタ，カーディナル

品種特性はVI「品種の項」参照。

〔2〕栽　　培

1. 定　　植

イ）定　植　期

定植期は品種によって異なり，早期栽培には前年，自家採種された種薯が使用され，輸入種（オランダ）は，毎年種薯の到着が遅れるため，作付も遅くなる。

a）在来種（早期栽培）：9月初旬～10月下旬

b）オランダ産　在来種：11月初旬～12月下旬

9月に定植する場合，降雨によって土壌が過湿の状態にあり，薯が腐敗しやすいので，小薯をまるごと植える。早期栽培は，収量は低いが，高値がつくので有利である。

10月に定植する場合，種薯は前年自家採種して低温倉庫に貯蔵しておいたものを切断して使用する。

11月から12月に定植する場合，種薯は主としてオランダ種を使用する（コミラ地区）。

ロ）播　種　量（acre当り）

栽植密度，種薯の大きさによって各地区で異なるが，通常12～15maund（448～560kg）である。

少ない地区で6～7 maund，多い地区で18～25maundである。

ハ）種薯の切断

在来種で小さなものは切断しないがやや大きめの在来種，オランダ種は通常2～3個に切断する（ポティヤ地区）。

1個15g前後に切断する（ジェソール地区）。

中型，大型の在来種は，2～3個の芽をつけて，切断するが，オランダ種は1芽ごとに細かく切断する農民が多い（コミラ地区）。

切断後，切り口に木灰を塗布する（コミラ，ポティヤ地区）。

2. 本　　圃

イ）耕起・整地

Langol で牛耕6～7回行ない，Moi で砕土，整地する。

ロ）施　　肥

a）施　肥　量

ガイバンダ地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	4,800 ~6,000	4,800 ~6,000		
木　灰	30~45	30~45		
油　粕	240~360	240~360		
Urea	60~80	60~80		
T.S.P	40~60	40~60		
M.P	40~60	40~60		

ジェソール地区

肥料名	全量	基肥	追肥	
			1	2
牛糞				
木灰	400	400		
油粕	300	300		
Urea	80	10	30	40
T.S.P	90	60	30	
M.P	110	70	40	

ポティヤ地区

肥料名	全量	基肥	追肥		
			1	2	3
牛糞	6,000				
木灰					
油粕					
Urea	80	20	20	20	20
T.S P	120	120			
M.P	40	20		10	11

単位: seer (0.93kg)/acre

施肥量は各地区様々でありこれら以外にも，牛糞のみ，あるいは，牛糞と油粕，M.Pのみなど，地区によってちがう。

b) 施肥方法

基肥は全面散布して，鋤込み，全層施肥とする。

追肥(1)は草丈3～4 inch (7.5～10cm) の頃条間に施し，中耕・土寄せする。追肥(2)は草丈8～10 inch (20～25cm) の頃，条間に施し，中耕・土寄せする (ジェソール地区)。

整地後Langol で植付溝を切り，基肥は種薯の片側になるように施す (カシンプール地区)。

ハ) 植付方法

整地後，作条を切ってその中に植付けし，上から覆土，畦立てをする (ジェソール，ナトール地区)。

耕起，施肥，整地後6～7 inch (17～18cm) 位の高さの畦を立て，3 inch (7.5cm) の深さに切断面を下にして植える。

播種後，畦の上を，ウォーターヒヤシンスや稲わらを広げ，覆う地区も多い。

ニ) 栽植様式

単条植えが多いがガイバンダ，ポティヤ地区では，複条植えも行なわれている。

ホ) 栽植距離

在来種 … 畦幅1～1.5 ft (30×45cm) ×株間4～8 inch (10～20cm)

オランダ種 … 畦幅1.5～2 ft (45×60cm) ×株間8～12 inch (20～30cm)

ヘ) 栽培管理

a) 灌　水 … 通常10～12日おきに，3～4回行なう。

b) 中耕除草，土寄せ … 追肥時に2～3回行なう。

追肥→中耕除草→土寄せ→灌水という手順である。

c) 除けつ … 普通は放任

d) 病害虫防除 … バイラス病，エキ病，バレイショガなどの被害が出る。

必要に応じて，ダイセン，コパー・オキシクロライドなどの殺菌剤，メラチオン，ノゴスなど

の殺虫剤を散布する。

また，入手出来る地区では土壌施用殺虫剤：ヘプタクロール，ダイエルドリンなどを散布する。また，防除を目的として植物体に木灰をふりかける例も多い。

〔3〕 収　　穫

1. 収 穫 期

a）在来種，早期栽培：11月中旬～2月下旬

b）輸入種，在来種　：2月中旬～4月中旬

2. 収 穫 方 法

早出し栽培では定植後，60～75日の生育途中で収穫してしまう例が多い。その他の栽培では定植後90～100日前後で収穫する。コダール（在来鍬）で株を掘り起こし，収穫する。

3. 収　　量（acre当り）

在来種は輸入種よりも収量が低い。

ナトール地区 … 在来種：35～40 maund（1,306～1,492kg）

輸入種：150～210 maund（5,595～7,833kg）

コミラ地区 … 在来種：100～130 maund（3,730～4,849kg）

輸入種：200～250 maund（7,460～9,325kg）

これら以外にも，300～400 maund という収量を上げている地区もある（ガイバンダ，ジェソール地区など）。

4. 貯　　蔵

風通しのよい場所に広げて貯蔵し，種薯用は低温倉庫へ保管し，2～3カ月部屋に貯蔵し，1カ月に1回天日で乾燥する。

〔4〕 採　　種

輸入種を使用して栽培し，収穫した後，一部は販売し，残りを翌年用の種薯として低温倉庫へ貯蔵する。

2年目，低温倉庫からこの種薯を出して，植付けるが，収穫したものはすべて販売してしまう。何故なら，3年目からは病気の発生がひどく，収量が著しく低下するからである。

2年目に併行して輸入種薯で栽培し，翌年用の種子を確保するというやり方を繰返している。

但し，9月に作付する小薯は，低温貯蔵してあった種薯を使用して栽培したものの中から選び出し，3年目もそれを使用する（コミラ地区）。

〔5〕 種子について

1. 入 手 経 路

自家採種またはB.A.D.Cから輸入種薯を購入。

輸入種薯はB.A.D.Cを通じてオランダから直輸入され50kgの箱づめになっている。

2. 品　　質

輸入種は問題ないが，自家採種したものは初年度収量多いが，年次を重ねるごとに病気の発生が多くなり収量は減少する。

3. 保　　管

種薯用はジュート袋につめて，低温倉庫に保管する。

保管料は25～35 taka （ 375 ～ 525円 ） / 1 maund (37.3kg)，（ 1979 年当時 ）で20maund 以上預けなければならない。

4. 輸入種薯の価格

400 taka (6000 円) / 50 kg （ 1979 年当時 ）

25. サトイモ

Colocasia esculenta SCHOTT

〔英名〕Taro 〔ベンガル名〕 মুখি কচু (Mukhi Kochu)

サトイモ属のベンガル語名は総称してKochuと呼ばれているが，品種名は様々であり，代表的なものをあげると以下の通りである。

1. ムキ・コチュ（または，チョラ・コチュ）… いわゆる，日本で言うサトイモで小芋を利用。
2. ポンチョムキ …… ヤツガシラ。
3. パニ・コチュ …… パニとはベンガル語で水の意味で，水の中で生育するサトイモであるが，小芋はつかず，長さ30cm，太さ15cm前後の円筒形をした球茎を食用とする。また，球茎は詰った節からなり，そこから，吸芽（Sucker）が発生し，これも食用として好まれている。
4. マン・コチュ …… 家の側に植えられ，茎葉，芋を食用とする。草丈 2 m前後にもなり，円筒形の球茎は長さ75～90cm，太さ20～25cmの大型になる。

サトイモ(A) 〔ムキ・コチュ〕

〔1〕品　　種

デシ

(2) 栽　　培

1. 定　　植

イ) 定 植 期

ほとんどの地区が4月～5月であるが，ポティヤ地区は11月，コミラ地区では2月に定植する。

ロ) 種芋の量（acre当り）

12～15maund（448～560kg）

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で4～5回耕起し，Moi で耕起・整地する。

コミラ地区ではLalmai Hillsの傾斜地（砂地，排水良）を利用して作付され一大産地化している。

ロ) 施　　肥（acre当り）

ナトール地区は無肥料栽培。他の地区でも牛糞と木灰のみで栽培している例が多い。

ラジシャヒ地区：牛　糞　1,600～2,400 seer（1,488～2,232kg）
　　木　灰　160～240 seer（148～223kg）
　　すでに基肥として施用し，追肥しない。

カシンプール地区：牛　糞　3,600 seer（3,348kg）
　　Urea　30 〃（1,125kg）
　　T.S.P　20 〃（750kg）
　　M.P　60 〃（2,250kg）
　　基肥として施し，必要に応じてUrea，M.Pを追肥する。

ハ) 定植方法

長さ4～5cm，太さ2～3cmの小芋をジャガイモ同様植付る。耕起，施肥，整地後，Langolで植付溝を切って，種芋を植付け約10cm程覆土する。その後，土寄せして畦立てする。

ニ) 栽植様式及び栽植距離

単条植え

畦幅　1.5～2ft（45～60cm），株間　0.5～0.8ft（15～25cm）

ホ) 栽培管理

中耕除草を早いうちから行ない，草丈2ft（60cm）前後になったら株元へ土寄せして倒伏を防ぐ。

灌水，防除はしない。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

a) 11月定植 … 6月中旬～7月中旬

b) 2月定植 … 8月上旬～9月下旬

c) 4月～5月定植 … 8月上旬～12月中旬

2. 収穫方法

定植後4～5カ月したら葉が枯れるので，鍬で掘起こす。

3. 収　　量 （acre当り）

120～200 maund（4,476～7,460kg）

4. 貯　　蔵

土間に砂や灰をひき，その上に貯蔵。2～3カ月貯蔵可能。

(4) 採　　種

種芋として残しておくには，1月中旬～3月上旬に収穫し，涼しい場所に保管しておく（ラジシャヒ地区）。

11月～12月に必要な株数を収穫しないで，そのまま畑に残しておくと，2月～3月に再び発芽するので，それを種芋として利用する（ナトール地区）。

サトイモ(B)　〔バニ・コチュ〕

(1) 品　　種

ラジシャヒ，ジェソール地区 … ショラ

ラジシャヒ地区 … ナリケリー

品種特性は，VI「品種の項」参照

(2) 栽　　培

1. 育　　苗

特別，育苗はせずに株分けした小苗を定植する。

イ) 定植期

11月～1月

ロ) 必要苗数

30,000～40,000本 / acre

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

コダール（在来鍬）にて耕起

ロ) 施　　肥

無肥料で栽培する地区もある（ラジシャヒ地区）。

ハ) 栽植距離

各地区様々であり以下の通りである。

シェルプール地区 … 1~1.5 ft (30~45cm) × 1~1.5 ft (30~45cm)

ガイバンダ地区 … 2 ft (60cm) × 4~6 inch (10~15cm)

ラジシャヒ地区 … 3 ft (90cm) × 3 ft (90cm)

ガイバンダ地区

肥料名	全量	基肥	追肥	
			1	2
牛糞	4,800 ~6,000	4,800 ~6,000		
木灰				
油粕				
Urea	30~45	30~45		
T.S.P	30~45	30~45		
M.P				

単位: seer (0.93kg)/acre

ニ) 栽培管理

シェルプール地区では，側芽を3~4回除去する。これをやらないと肥大しないといわれている。

〔3〕 収　　穫

1. 収 穫 期

6月中旬~10月中旬 (定植後5~6カ月で収穫)

2. 収穫方法

水の中から芋を収穫する。出荷する時は葉を切り落す。8月~10月頃に出た側芽は来季栽培用の苗として残しておく (シェルプール地区)。

3. 収　　量 (acre当り)

ガイバンダ地区 … 90~120 maund (3,357~4,476kg)

ラジシャヒ地区 … 500~600 maund (18,650~22,380kg)

サトイモ(C) 〔マン・コチュ〕

〔1〕 品　　種

デシ

〔2〕 栽　　培

1 育　　苗

畑で周年栽培し，特別育苗はしないが，牛糞，木灰などを施して時々，中耕除草する程度。古い株の株元から側芽が出るので，必要な時に取ってきて苗として使用する。

イ) 定 植 期

5月中旬~6月下旬

ロ) 必要苗数

2,600本 / acre

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で牛耕し，Moi で砕土，整地。

ロ) 施　　肥 （ acre当り ）

基肥として牛糞20～30maund （746～1,119kg），木灰10～15maund（375～562kg）を全層施肥し，化学肥料は施さない。追肥はしない。

ハ) 定植方法

耕起，施肥，整地した後，定植する。

ニ) 栽植距離

畦幅 1.5 ft(45cm) × 株間 1.5ft(45cm)

ホ) 栽培管理

中耕除草 2 ～ 3 回，農薬散布なし。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

1 年中収穫可能だが，特に乾期の11月～ 2 月に食べられる。定植後 8 ～ 9 カ月で収穫期に達する。

2. 収　　量

小さなもので 3 ～ 5 seer（2.8～4.6kg），大きなもので10～12 seer（9.3～11kg）になる。

3. 貯　　蔵

1 週間程，室内に貯蔵可能。

26. ゾウコンニャク

Amorphophallus campanulatus BL.

〔英名〕Elephant Foot Yam 〔ベンガル名〕 ওলকচু （Ool Kochu）

(1) 品　　種

在来種

(2) 栽　　培

1. 植 付

イ) 植 付 期

a) 10月中旬～1 月中旬

b) 3月～5月

ロ) 種芋の量 (acre当り)

40maund (1,492kg)。

ガイバンダ地区では，苗を1acre当り9,000本前後植付る。

ハ) 植付方法

種芋を点播，又は苗の定植

2. 本圃

イ) 耕起・整地

Langol で牛耕し，Moi で砕土，整地。

ロ) 施肥

ガイバンダ地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	4,800 ~6,000	4,800 ~6,000		
木灰				
油粕				
Urea	20~40	20~40		
T.S.P	40~60	40~60		
M.P				

シェルプール地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	12,000 ~16,000	12,000 ~16,000		
木灰	30~40	30~40		
油粕				
Urea	20		20	
T.S.P	40	40		
M.P				

単位：seer(0.93kg)/acre

ハ) 栽植距離

畦幅 1.5~2ft (45~60cm)×株間1.5ft (45cm)

ニ) 栽培管理

中耕除草1回，その他なし。

(3) 収穫

1. 収穫期

a) 10月～1月植付 … 6月～8月

b) 3月～5月植付 … 7月中旬～10月中旬

シェルプール地区では，収穫と同時に種芋を植付る。

2. 収量 (acre当り)

ガイバンダ地区 … 90～120maund (3,357kg～4,476kg)

27. ダイジョ（ヤム）

Diosocorea alata L.

〔英名〕White Yam　〔ベンガル名〕 চুপরি আলু (Chupuri alu)

〔1〕品　種

ラジシャヒ地区：ロンバ，ゴール，ハトゥパ

ジェソール地区：ロンバ，ジェソーリー

品種特性はVI「品種の項」参照。

〔2〕栽　培

一戸の農家で池のまわりなどに数株栽培する程度である。

1. 育　苗

イ）播種（定期）期

5月～6月

ロ）定植方法

芋の首の部分，または芋を切断し，時にはムカゴを植える。苗にして定植する所もある。

2. 耕起・鞍づくり

植える場所をコダールで耕し，植穴を掘る。中に木灰5 seer（4.6kg）程を入れ，鞍づくりをして，植付る。

3. 栽培管理

特にしないが，時々，木灰を施したり，支柱用の木をたててやる程度。全くの放任栽培。

〔3〕収　穫

定植から収穫まで6～7カ月を用し，通常，11月中旬から2月にかけて収穫する。または，3～4年後に収穫することもある。

28. タマネギ

Allium cepa L.

〔英名〕Onion　〔ベンガル名〕 পেঁয়াজ (Peyaj)

〔1〕品　種

ガイバンダ地区：ボンベイ・デシ

ボグラ地区：デシ

ラジシャヒ地区：デムナ

ジェソール地区：コルション・ゴール，フォリドプーリー，デシ

コミラ地区：デシ

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

	普　通　栽　培	オニオン・セット
1. 播種・育苗		
イ) 播　種　期	11月～12月	10月～11月
ロ) 播　種　量 (acre当り)	80~120 tola (928~1392g)	360~600 seer (334~558kg)
ハ) 育苗床及び苗床播種	育苗用の床を作る地区と，畑一枚そのまま育苗用に利用する地区とがある。 育苗床には通常牛糞と木灰のみを施用するが，地区によってはUrea, T.S.Pなども少量入れる。 散播し，覆土するが，地区によっては，砂をかけたり，乾燥牛糞を細かくして上からかける。	
ニ) 苗床管理	除草1回程度，灌水を時々やる。	
ホ) 育苗日数	30日～60日	
2. 本　　圃		
イ) 耕起・整地	Langol で牛耕5～6回，Moi で整地	同　左
ロ) 施　　肥		

普　通　栽　培

ラジシャヒ地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛　糞	1,200	1,200		
木　灰				
油　粕				
Urea	20	20		
T.S.P	20	20		
M.P	10	10		

オニオン・セット

ラジシャヒ地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛　糞	800 ~1,000	800 ~1,000		
木　灰				
油　粕				
Urea	15	15		
T.S.P	20	20		
M.P	10	10		

普通栽培					オニオン・セット				
シェルプール地区					ジェソール地区				
肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2	肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	4,800	4,800			牛糞	6,000	6,000		
木灰					木灰				
油粕					油粕	120	120		
Urea	20		20		Urea	38	18	20	
T.S.P	20	20			T.S.P	60	60		
M.P					M.P	30	30		
ガイバンダ地区					コミラ地区				
肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2	肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	4,800 ~6,000	4,800 ~6,000			牛糞	6,700 ~8,000	6,700 ~8,000		
木灰	45~60	45~60			木灰				
油粕	120	120			油粕				
Urea	45~60	45~60			Urea	70		35	35
T.S.P	45~60	45~60			T.S.P	125	125		
M.P	45~60	45~60			M.P				
単位：seer（0.93kg）/acre					単位：seer（0.93kg）/acre				

	普通栽培	オニオン・セット
ハ）播種（定植）方法	基肥は耕起時に全面散布して全層施肥。追肥は条間に施す。 耕起・施肥整地後，畦は立てず平床に，先端カギ状の木の棒などで，線を引き，溝をつくる。その溝に苗を定植する。 ガイバンダ地区では，定植苗の根を1cm程に切りそろえ，また葉も3分の1を切り落す。	同左 左と同様に，溝をつけ小球を植付る。 コミラ地区では，小球の頂部を少し切り落す。

	普通栽培	オニオン・セット
ニ) 栽培管理		
灌水	定植後7～8日目に第1回を行ない，その後10～15日に1回行なう。	同左。但し，ラジシャヒ地区では球が腐るということで灌水しない。
中耕除草	1～2回	同左
病害虫防除	しない	同左
3. 収穫		
イ) 収穫期	3月中旬～5月中旬	1月～4月
ロ) 収穫方法	収穫時期になると，葉を折り倒し，葉を枯らせて収穫する。市場の価格をみて，出荷しまた乾燥させて貯蔵する。 通常3～4カ月貯蔵可能だが，よく乾燥させれば1年間貯蔵出来る。	同左
ハ) 収量 maund (37.3 kg)/acre	カシンプール，コミラ地区 … 100～150 ラジシャヒ地区 … 250～300	コミラ地区 …66～83 ジェソール，ラジシャヒ地区 … 250～300

〔3〕 採種

2月下旬～3月中旬にかけて花が咲き，種子を採種する。天日乾燥して，缶などに入れ保管。

オニオン・セット用のタマネギは葉を完全に枯らせてから収穫し，小さめのものを選んで天井から吊り下げておく。分球したものは除く。

〔4〕 種子について

1 入手経路

自家採種，バザール，産地（フォリドプール市）より苗や種子を購入する。

29. ニンニク

Allium sativum L.

〔英名〕Garlic 〔ベンガル名〕 রসুন (Roshun)

(1) 品　　種

在来種

(2) 栽　　培

1. 播　　種

イ) 播 種 期

10月～11月

ロ) 播 種 量 (acre当り)

40～45 seer (37～42kg)

ハ) 播種方法

ニンニクの小鱗茎をていねいにはがし，1片づつ植付る。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で5～6回耕し，Moi で砕土，整地。

ロ) 施　　肥

肥料名	全量	基肥	追肥	
			1	2
牛糞	800~1,000 (744~930)	800~1,000 (744~930)		
Urea	15(13.8)	3(2.8)	12(11)	
M.P	7 (6.5)	7(6.5)		

追肥は1ケ月後施す。地区によっては無肥料栽培をする所もある。

単位：seer (0.93kg)/acre

ハ) 植 付

耕起・施肥・整地後，平床に Langol などで条をつけ，その溝に小鱗茎を1片ずつ植付る。

ニ) 栽培距離

畦幅 8～12 inch (20～30cm) × 株間 4～5 inch (10～12cm)

ホ) 栽培管理

中耕除草1～2回。週に1～2度，朝露のあるうちに木灰を葉にふりかける地区もある。

〔3〕 収　　穫

1. 収 穫 期

3月～4月

2. 収穫方法

葉を折り倒し，葉が枯れた頃に収穫する。手で引抜いたり，ニリ・カチ（在来，除草鎌）で掘りおこす。

3. 収　　量　（acre当り）

100～125 maund（3,730－4,663 kg）

4. 貯　　蔵

枯れかかった葉を結び合わせ，3～4日天日乾燥し，完全に乾いた所で家の中に拡げて保存する。1～3年間貯蔵可能。

〔4〕 種子について

自家採種又はバザールより購入。

30. ウ コ ン

Curcuma longa L.

〔英名〕Turmeric　〔ベンガル名〕 হলুদ　（Holud）

〔1〕 品　　種

ラジシャヒ地区：バトナイ，デシ・ガムディ

そ の 他 地 区：デシ（在来種）

品種特性はVI「品種の項」参照。

〔2〕 栽　　培

1. 植　　付

イ）植 付 期

4月～6月

ロ）植 付 量（acre当り）

シェルプール地区 … 120～140 seer（112～130 kg）

ラジシャヒ地区 … 480～600 〃（446～558 kg）

ハ）植付方法

直播。根茎又は側根茎を分割して植付る。1株1個植え。

2. 本　　圃

イ）耕起・整地

Langol で耕起し，Moi で砕土，整地。

ロ) 施　　肥

肥料名	全　量	基　肥	追　肥
牛　糞	1,200～1,600	1,200～1,600	
木　灰	120	120	
Urea	80	80	
T.S.P	80	80	
M.P	40	40	

全層施肥し，追肥はしない。　単位：seer（0.93 kg）／acre
シェルプール地区では，木灰 400 seer（375 kg）を入れるのみでほとんど無肥料栽培する。

ハ) 栽植距離

畦幅　1.5 ft（45cm）×株間 4 ～ 8 inch（10～20cm）

ニ) 栽培管理

生育時期が雨期のため灌水しない。中耕除草は時間をみて 1 ～ 2 回行なう。
農薬散布は行なわず，防除を目的として，幼苗期に木灰を 3 ～ 4 回葉上にふりかける。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

12月中旬～ 2 月中旬

2. 収 穫 方 法

茎葉が枯れたら収穫する。

3. 収　　量

ラジシャヒ地区：400 ～ 500 maund（14,920 ～ 18,650 kg）/ acre

4. 貯　　蔵

涼しい場所を選び，土を掘り起こし，収穫したままの状態で，葉だけ切り落し，その穴の中に貯蔵する。4 ～ 5 年貯蔵可能（ラジシャヒ地区）。
泥を落し，水洗いして出荷する。

(4) 種子について

自家採種，又は，バザール，近隣の農家から購入。

▶葉菜類

31. キャベツ

Brassica oleracea L. var capitata L.

〔英名〕Cabbage 〔ベンガル名〕বাঁধাকপি (Bandhakopi)

(1) 品　種

ガイバンダ地区：デシオ，ドラムヘッド，KYクロス

ボグラ地区：ドラムヘッド，コペンハーゲンマーケット

ナトール地区：Atlas 70，KYクロス

ラジシャヒ地区：Atlas 70，Leo80，グリーン・エクスプレス，KKクロス，KYクロス，ドラムヘッド

ジェソール地区：コペンハーゲンマーケット，グリーン・エクスプレス，KKクロス，KYクロス，Leo80，Atlas 70

カシンプール地区：Atlas 70，KYクロス，KKクロス，Leo80

コミラ地区：コペンハーゲンマーケット，KKクロス，KYクロス，Leo80，Atlas 70，OSクロス，ドラムヘッド

ポティヤ地区：Atlas 70，KYクロス，グリーンエクスプレス，Leo80

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　培

1. 播種・育苗

イ) 播種期

極早期栽培：8月

早期栽培：9月

普通灌漑：10月

晩期栽培：11月

夏季栽培：12月～1月

ロ) 播種量（acre当り）

10～12 tola (116～139g)

ハ) 育苗床

畑の一画又は庭先などの比較的高い土地を選び床幅75～90cm，高さ10～20cmのベッドを栽培面積に応じて作り，床のまわりに排水溝を切る。

育苗床には通常牛糞4～5 seer (3.7～4.6kg)/㎡，草木床1 seer (0.93kg)/㎡を施すが，化学肥料は入れない地区が多い。

ニ) 育苗法

床上に1 tola (11.6 g)/㎡位の割で散播し，発芽後間引きや移植は行なわず，本葉3～4枚，25～30日間育苗する。播種後，アリの被害などを防ぐため草木灰を散布したり，ひどい時

はＤＤＴ粉剤，セビン粉剤などを混播する。

ホ）苗床管理

発芽するまでジュート袋，バナナの葉などで床面を覆い水分保持と降雨による被害を防ぐ。発芽後，降雨と直射日光から苗を保護するため，竹製のミスで被覆する。

早期栽培を行なう地帯では，竹製のミスだと床上が暗くなり，雨期は降雨と多湿のため，苗がすぐ徒長してしまうので，透明な肥料の内袋などをぬい合わせて床を覆うなどの工夫をしている農民もある。灌水は１日１回夕方軽く行なう。

2. 本　圃

イ）耕起・整地

Langol で５～６回牛耕し，Moi で砕土，整地する。一般に10cm前後の浅耕である。

トラクター，パワーティラーの普及は全体の 0.2~3.0%で個人所有は極めて少ないが，B.A.D.Cによる賃耕も行なわれる（ポティヤ地区）。

ロ）施　肥

コミラ地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥		
			1	2	3
牛　糞	8,000 ~10,000	8,000 ~10,000			
木　灰					
油　粕					
Urea	95		25	35	35
T.S.P	170	85		85	
M.P	53	35		18	

ラジシャヒ地区

肥料名	全量	基肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	4,800	4,800		
木　灰				
油　粕	60	60		
Urea	75	35	20	20
T.S.P	24	12	6	6
M.P	24	12	6	6

ポティヤ地区

肥料名	全　量	基　肥	追　肥	
			1	2
牛　糞	8,000	8,000		
木　灰				
油　粕				
Urea	60~ 80	30~ 40	15 ~20	15 ~20
T.S.P	80~100	80~100		
M.P				

単位：seer（0.93kg）/acre

a) 施 肥 量

施肥量は一定せず，堆肥はほとんど作らない。牛糞は飼育頭数とその生産量に左右され，燃料として消費されることもあって充分な量を施用出来ない。

化学肥料に対する効果，必要性など未だ充分理解できていない。但し，Urea は基肥，追肥ともよく使用されるが，M.Pは殆んど使用されていない。草木灰がM.Pの代用となっている。T.S.Pは地区において濫用気味の所がある。

b) 施　　肥 （コミラ地区）

基肥 … Langol で2～3回耕起した後，牛糞を全面に散布し，さらに2～3回耕し，T.S.P, M.Pを同様全面散布する。1～2回耕し，土とよく混和させ，Moi で整地する。

追(1) … 定植10～15日後，株の周囲にUrea を施用し，土と混和する。

追(2) … 定植30日後，Urea，T.S.P, M.Pを畦間に施し，中耕し，畦立てする。

追(3) … 定植40日後Urea を畦間に施し，すぐ後に灌水する。中耕はしない。

ハ) 定　　植

苗を取る前に床面に灌水し，竹ベラなど使わずに引き抜いたりして根を切ってしまう例が多い。

耕起・整地後畦立てをせず，平床に定植する場所を除草鎌で耕し，軟かくしたり，木の棒やナタ状のもので穴を開け苗を定植する。

定植後，バナナの茎，木の葉，ホテイソウなどで日覆する。

ニ) 栽 植 様 式

単条植えが多く，複条植えはまれである。

ホ) 栽 植 距 離

畦幅　1.5～2ft（45～60cm）

株間　1.5～2ft（45～60cm）

ヘ) 栽 培 管 理

a) 灌　　水 … 定植後活着するまで4～5日間株元へ灌水し，その後10～15日に1回位灌水する。

b) 中耕除草 … 追肥時，又は，灌水後適度に土が乾いた頃に行なう。2～3回。Langol を使って，畦間を軽く耕し，株元へ土寄せする方法もある。畦は一般に低い。

c) 病害虫防除 … ヨトウムシの被害が大きい。黒腐病も発生する。

農薬散布は1～2回行なっているが，散布方法は，バケツに薬液をつくり，ホウキ状のものにその薬液をつけて振りかけたり，又はビンの中に薬液を入れ，竹ヒゴ状のものを束ねて口に差しこみ，口の部分を布で固定し，ビンをふって，振りかけるやり方が多い。

ブルガリア製の肩掛け手動噴霧器が輸入され，かなり普及しているが，まだ村に2～3台という程度である。

薬剤としては病害用としてダイセンM－45，コパー・オキシクロライドが入手可能。害虫用として，多くの種類があるが，ダイアジノン60％E・C，ダイメクロン100などが割に入手しやすい。

だが，農薬は，水や石油を混ぜ販売する例が数多くみられる。

d）そ の 他 … 結球期に入った後，密植し過ぎ葉が混み合うので下葉をかきとる習慣がある。

〔3〕 収　　種

1. 収 種 期

極早期栽培 … 11月中旬～12月中旬

早 期 栽 培 … 12月下旬～1月下旬

普 通 栽 培 … 1月下旬～2月下旬

晩 期 栽 培 … 3月上旬～3月下旬

夏 季 栽 培 … 4月中旬～6月下旬

2. 収 穫 方 法

堅く結球したものから収穫するが，通常いっぺんに全部出荷する場合は少なく毎日20～30個づつ，付近のバザールへ天秤棒でかついで出荷することが多い。但し，早期栽培を行なっている地区で，交通の便のよい所は仲買人が青田買いする場合もある。

出荷する際は，外葉2～3枚付けたまま，あるいはその外葉の上端を結球にそろえて切りそろえるなどの調整をする。

地区によって，重量で取引される所と個数で取引される所がある。

3. 収　　量 （acre当り）

品種，栽培法によって差があるが，一般には，200～400 maund（7,460～14,920kg）前後で，多い例では600～800 maund（22,380～29,840kg）である。

〔4〕 種子について

1. 入 手 経 路

キャベツの種子は毎年 B.A.D.C 及び民間が輸入している。B.A.D.C 種子販売事務所，民間の種苗店，バザール，ブラックマーケットから入手。

B.A.D.Cの地方事務所に割当てられる種子量が少なく，時期が遅れるため，農民はブラックマーケットで高い値段で買っている。

2. 品　　質

バザールやブラックマーケットのものは，時々他品種を混ぜて売っていることがあり，信用できない。

3. 保　　管

ビン又はプラスチックの袋に入れ，2カ月に1回程度天日乾燥する。

ある農民は（B.A.D.Cなどに種子がまわってくるのが遅れるため）前年購入した種子は，当年の早播き用に使用し，当年購入したものは，翌年の早播き用に保管しておくやり方をしている。しかし，一度雨期に高温多湿を経たものは，発芽率が落ちるので，B.A.D.Cの種子の供給法がもっと改善されねばならない。

32. カリフラワー

Brassica oleracea L. var botrytis L.

〔英名〕Cauliflower 〔ベンガル名〕 ফুলকপি (Phulkopi)

(1) 品　種

ガイバンダ地区：オグロハヨニ，ポウシャリー，ヤギー

ボグラ地区：カルティカ，オグロハヨニ，ポウシャリー，マギー，スノーボールA，F

ナトール地区：カルティカ，オグロハヨニ，ポウシャリー，マギー

ラジシャヒ地区：カルティカ，オグロハヨニ，ポウシャリー，マグー

ジェソール地区：カルティカ，オグロハヨニ，ポウシャリー，マギー，スノーボールA，F

コミラ地区：パトナ，カルティカ，オグロハヨニ，ポウシャリ，マギー，ベナロシ，スノーボールA，F

ポティヤ地区：オグロハヨニ，ポウシャリ，マギー，アーリー・スノー・ボール，インディアン・ラックシ，ホワイト・パロン，トロピカル・スノー55

カリフラワーの品種名は，その品種の収穫期によって名付けられたものが多く，その品種の収穫期に当るベンガル月名によって呼ばれている。

例　カルティカ … ベンガル月　カルティク（10月中旬～11月中旬）に由来。
　　オグロハヨニ … 〃　オグロハヨン（11月中旬～12月中旬）に由来。
　　ポウシャリ … 〃　ポウシュ（12月中旬～1月中旬）に由来。
　　マギー … 〃　マーグ（1月中旬～2月中旬）に由来。

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　培

1. 播種・育苗

イ) 播種期

極早期栽培：8月　普通栽培：10月

早期栽培：9月　晩期栽培：11月

ロ) 播種量（acre当り）

10～12 tola（116～139g）。

ハ) 育苗法

キャベツに準ずるが育苗日数が20～25日とキャベツよりやや短い。

2. 本　圃

イ) 耕起・整地

キャベツに準ずる。

ロ) 施　　肥

キャベツに準ず。但し，コミラ地区では基肥を植穴施肥し，追肥は株元へリング状に施すやり方が多くみられる。

ハ) 定　　植

キャベツに準ずる。

ニ) 栽植様式

キャベツに準ずる。

ホ) 栽植距離

畦幅　1.5~2.0ft（45~60cm）

株間　1.0~1.5ft（30~45cm）

ヘ) 栽培管理

キャベツに準ずる。花蕾が発生し，生長すると花蕾の日焼け防止のため，外葉を一枚切取り花蕾の上にのせる農民もいる（コミラ地区）。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

極早期栽培：11月上旬~12月上旬	普通栽培：1月中旬~2月中旬
早期栽培：12月上旬~1月上旬	晩期栽培：2月中旬~3月下旬

2. 収穫方法

キャベツと同様，根元をナタで切取るが，花蕾の下2~3 inch（5~7cm）茎を残す。また外茎の先端を花蕾面にあわせて切落す。

3. 収　　量（acre当り）

125~200 maund（4,663~7,460kg）

(4) 採　　種

一部の農民が自家採種しているが，大部分は毎年新しい種子を外部から購入する（コミラ地区）。

自家採種の場合優良株を選び，花蕾の中心部を切り，抽苔を促進する（ナトール地区）。中心部を切った後，切口に牛糞を少量のせておく例もある。

バングラデシュではカリフラワーの産地としてタンガイル県（ダッカ行政区）が有名であり，すぐれた品種が毎年，農家によって自家採種されている。

(5) 種子について

カリフラワーの種子はバングラデシュ全国に4カ所あるB.A.D.Cの直営農場（Agricultural Development Estate）で採種しているが，交雑が激しく，品種特性が失われているものが多い。

入手経路は，キャベツと同様である。
ビンやビニール袋に入れ保管。

33. フダンソウ

Beta vulgaris L. var cicia
〔英名〕Swiss chard 〔ベンガル名〕 পালংশাক (Palongshak)

(1) 品　種

ガイバンダ地区：デシオ，ジャール・パロンなど
ナトール地区：デシ
ジェソール地区：デシ，コピ・パロン
コミラ地区：デシ
ポティヤ地区：デシ
品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　培

1. 本　圃

イ) 播種期
9月～11月

ロ) 播種量（acre当り）
通常7～10 seer（6.5~9.3kg）であるが，地区によっては30~40 seer 位播種する所もある。

ハ) 播種方法
散播。
通常，最終の耕起が終了したら種子を，均等に散播し，Moi を牛に引かせ，覆土，整地する。
しかし，ポティヤ地区の一部では，高さ1～2 ft（30～60cm）の畦を立て，施肥し，2条播きにする方法を行なっている。
ナトール地区では播種後，同じ畑にカリフラワー，キャベツなどを定植し，混作する場合が多い。

ニ) 耕起・整地
Langol で牛耕6～7回行ない，Moi で砕土，整地する。

ホ) 施　肥（acre当り）
ナトール地区：基肥に牛糞 3,200～4,000 seer と追肥に Urea 15 seerを施用する。
ポティヤ地区：基肥に牛糞 2,000～2,400 seer，Urea 40 seerを施す。
コミラ・シェルプール地区では牛糞，Ureaの他にT.S.Pも加えるがM.Pは全く使用しない。
基肥は耕起時に全層施肥とする。追肥も同様，畑地全面に散布する。

ヘ) 栽植様式及び栽植距離

播種，覆土，整地後，Langol などで約6 ft（ 180cm ）間隔に溝を切り，灌排水溝とする。

2 ～ 3回間引した後，最終株間は2 ～ 3 inch（ 5～7.5cm）とする。

ト) 栽培管理

発芽後1週間目位に第1回の灌水を行ない，その後1 ～ 2回行なう。中耕除草は，間引を兼ねて2回程行ない，ニリ・カチ（在来の小型除草鎌）を使用する。

病害虫防除は行なわない。

〔3〕 収　　穫

1. 収 穫 期

10月中旬～ 2月中旬

2. 収穫方法

播種後，30～45日で収穫する。収穫後池の水で，水洗して出荷。

3. 収　　量 （ acre当り ）

通常，50～ 100 maund （ 1,865 ～3,730kg ）であるが，コミラ地区では160maund 近くまで収量を上げる農民もいる。

〔4〕 採　　種

1. 採種方法

収穫する時，畑の一画に採種用として数株残しておき，4月頃に種子が充実した時，株ごと切り倒して，畑又は家の庭で天日乾燥する。

2. 採 種 量

0.5～0.7 seer.（ 465 ～ 651g）/ 株

〔5〕 種子について

自家採種。栄養生長を充分しないうちに花芽分化を起こしてしまう。ジュート袋，ビニール袋，又は缶などに入れ保存する。

34. ヒ ユ ナ（ラール・シャーク）

Amaranthus tricolor L.

〔英名〕Edible Amaranth〔ベンガル名〕 লালশাক (Lalshak)

〔1〕 品　　種

ナトール地区：2品種あるが，赤色の濃いものをプンカと呼び食味が良い。

ラジシャヒ地区：アルタパティ，プンカ

ジェソール地区：ロクトラール，アロムプリ

そ　の　他：デシ

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 本　　圃

イ) 耕起・整地

フダンソウに準ずる。

ロ) 施　　肥

ラジシャヒ地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞	3,200 ~4,000	3,200 ~4,000		
Urea	40	20	10	10
T.S.P	15	15		
M.P	15	15		

ジェソール地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛糞				
Urea	20	10	10	
T.S.P	20	20		
M.P	30	30		

単位：seer (0.93kg)/acre

これら以外にも，基肥に牛糞のみ施用し，追肥にUreaを少量使用する地区もある。

ハ) 播　種　期

周年栽培可能だが，主として冬季と夏季に栽培が行なわれている。

冬季栽培 … 8月中旬～11月中旬

夏季栽培 … 3月初旬～5月中旬

ニ) 播　種　量　(acre当り)　各地区によって様々であり，以下の通りである。

ナトール，ラジシャヒ地区 …　30～50 tola (348～580g)

ジェソール，コミラ地区 … 120～160 tola (1,392～1,856g)

ナトール，ラジシャヒ地区の播種量が少ないのは，ハゲイトウ，トウモロコシ，キュウリなどと混作するためと思われる。

ホ) 播種方法

散播。(ナトール，シェルプール地区では，ヒユナの種子が非常に小さいので，播種する時，砂，灰，又は土と混ぜて播種する。混ぜる割合は砂：種子＝3：1位である)。

フダンソウに準ずる。但し，ジェソール地区では，耕起・整地後，全面に散播し，その後アスラ※で土壌表面をかきまわし，種子と土を混ぜる。そして最後に再びMoiをかけて整地する。

※アスラ … 本来，直播アウス，アモン稲の間引きに使用される農具であるが，フダンソウ，ハゲイトウ，ヒユナなどの様に散播される野菜の播種後，土と種子を混ぜ合せる作業に使用する（写真参照）。

ヘ）栽植様式及び栽植距離

フダンソウに準ずる。

ト）栽培管理

生育期間が30日前後と短いため，ほとんどやらないが，灌水1～2回，中耕除草は1回やる程度。

病害虫防除なし。

〔3〕収　　穫

1. 収 穫 期

冬季栽培　9月中旬～1月中旬

夏季栽培　4月初旬～7月中旬

2. 収穫方法

播種後25～30日で収穫し，草丈20cm前後になったら，大きいものから間引しながら収穫していく。

3. 収　　量（acre当り）

通常，80～150 maund（2,984～5,595 kg）前後であるが，ラジシャヒ地区では，250～300 maundの収量を上げる農民もいる。

〔4〕採　　種

1. 採種方法

ナスやトウガラシなどの畑に少量播種して，それらから採種する（コミラ地区）。

株ごと切り倒して，天日乾燥する。充分乾燥すると植物体をたたけば種子が落ちる。

2. 採 種 量

1.5～2.0 tola（17.4～23.2 g）/株

〔5〕種子について

ほとんど，自家採種。

35. ハゲイトウ（ダータ）

Amaranthus gangeticus L.

〔英名〕Edible Amaranth 〔ベンガル名〕डाँटा (Dahta)

(1) 品　　種

ガイバンダ地区：アウス，カトゥア，アモン
ボグラ地区：デシ，アミナダンガ
ナトール地区：デシ，カトゥア
ラジシャヒ地区：デシ，カトゥア
ジェソール地区：チオットロ・ボーグ，バーシュ・パタ
シェルプール地区：デシ
カシンプール地区：デシ
コミラ地区：アウス，アモン

品種特性はVI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 本　　圃

イ) 耕起・整地

ヒユナに準ずる。

ロ) 施　　肥

ヒユナに準ずる。

ハ) 播 種 期

周年栽培可能だが，早生種，晩生種によって播種時期がほぼ決まっている。

早生種：1月中旬～6月中旬
晩生種：4月

ニ) 播 種 量（acre当り）

厚播きする地区と薄播きする地区とがある。

ナトール，ラジシャヒ，カシンプール地区 … 30～40 tola（348～464g）
ガイバンダ，シェルプール，コミラ地区 … 80～120tola（928～1,392g）

ホ) 播 種 方 法

散播。ヒユナに準ずる。

ヘ) 栽植様式及び栽植距離

ヒユナに準ずる。

ト) 栽培管理

ヒユナに準ずる。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

早 生 種　3月～9月

晩 生 種　8月～10月

2. 収穫方法

播種後25～30日で草丈20～30cm前後になるので，大きいものから間引しながら収穫する。これらは主として茎葉を食用とする葉菜として出荷される。

その後，草丈60cm前後になって収穫されるのは，主として茎を食用とする。

晩生種は草丈 150 cm前後，茎の太さ10cmにもなるが，これはもっぱら茎を食用とする。

3. 収　　量 （ acre当り ）

通常，150～200 maund（5,595～7,460kg）であるが，地区によっては 300～500 maund の収量を上げている。

(4) 採　　種

採種方法はハゲイトウに準ずるが，採種量は 2～2.5tola（23～29g）/株とやや多い。

(5) 種子について

ヒユナに準ずる。

36. ツルムラサキ

紫茎種 … *Basella rubra L.*

緑茎種 … *Basella alba L.*

〔英名〕Ceylon Spinach〔ベンガル名〕 পুঁইশাক （Puishak）

(1) 品　　種

シャダ（緑茎種）とラール（紫茎種）の2品種あり，日本種とは異なる。不眠症に効果ありと言われている。

品種特性は，VI「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 播種・育苗

イ) 播 種 期

周年栽培が可能で挿木と種子で繁殖できる。直播栽培が多いが，育苗，移植栽培する所もあ

る。

家の周辺に数株栽培する程度の地区もある。

直播栽培　　：2月上旬～6月上旬

移植栽培（育苗）：3月上旬～5月上旬

ロ）播種量又は必要苗数　（acre当り）

直播栽培

育苗・移植栽培　　15～20 tola（174～232g）

挿 木 栽 培　　12,000 本前後

ハ）直播，育苗及び挿木法

a）播 種 方 法 … 点播，3～4粒播いて，間引後1本立てとする。

育 苗 法 … 散播し，移植しない。育苗日数20～25日。

b）挿 木 法 … 古株の根元付近より採苗し，8～10 inch（20～25cm）の長さに切り，挿苗とする。

2. 本 圃

イ）耕起・整地

Langol で牛耕5～6回行ない，Moi で砕土，整地する。

ロ）施　　肥

ナトール地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2	追肥 3	追肥 4
牛 糞	2,400 ~3,200	2,400 ~3,200				
木 灰						
油 粕						
Urea	20	20	（収穫する度にUreaを追肥する）			
T.S.P						
M.P						

シェルプール地区

肥料名	全量	基肥	追肥 1	追肥 2
牛 糞	3,200 ~4,000	3,200 ~4,000		

単位：seer（0.93kg）/acre

肥料は耕起時，全面散布して全層施肥とする場合と植穴を掘りその中に施用する場合とがある。

ハ）栽植様式及び栽植距離

棚栽培や地這栽培の他圃場全面に散播し，蔓が延びはじめる前（草丈30cm位）に株ごと抜いて収穫する方法もある。

棚栽培や地這栽培の場合，栽植距離は畦幅，株間ともに1.5~2.0 ft（45～60cm），広くて3 ft

（90cm）前後である。

ニ）栽培管理

栽培初期に2～3回灌水するが，雨期に入れば必要なし。

中耕除草，2～3回。

本葉3～4枚　に間引して1本仕立てとする。

高さ2.5～3ft（75～90cm）の棚をつくる。

病害虫防除なし。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

4月～11月

2. 収穫方法

播種後1カ月位で2～3ft（60～90cm）に延びた柔かい茎，葉を収穫。次にまた新しい茎が伸びたら収穫する方法を繰返す。

3. 収　　量

100～200maund　（3,730～7,460kg）/acre

(4) 種子について

自家採種又はB.A.D.Cから購入。

37. コールラビ

Brassica oleracea L. var caulo-rapa Dc

〔英名〕Kohlrabi　〔ベンガル名〕　ওল কপি　(Oolkopi)

(1) 品　　種

ビエナ・パープル，ビエナ・ホワイトなどすべて輸入種。

品種特性は，Ⅵ「品種の項」参照。

(2) 栽　　培

1. 播種・育苗

イ）播 種 期

9月初旬～11月中旬

ロ）播 種 量

18～20 tola（209～232g）/acre

ハ）育　　苗

キャベツに準ずる。

2. 本　　圃

イ) 耕起・整地

キャベツに準ずる。

ロ) 施　　肥

キャベツに準ずる。

ハ) 定　　植

キャベツに準ずる。

ニ) 栽植距離

キャベツよりも密植とし，通常畦幅1ft（30cm）1株間6～10 inch（15～25cm）である。疎植の地区で畦幅，株間とも2ft（60cm）前後である。

ホ) 栽培管理

キャベツに準ずる。

〔3〕 収　　穫

1. 収 穫 期

12月上旬～3月中旬

2. 収穫方法

定植後60日前後で収穫し，頂部の葉を数枚残し4～5個を1束として出荷する。

3. 収　　量（acre当り）

ナトール地区：150～250 maund（5,595～9,325 kg）

〔4〕 種子について

B.A.D.C より購入

38. コエンドロ

Coriandrum sativum L.

〔英名〕Coriandor 〔ベンガル名〕 ধনে （Done）

〔1〕 品　　種

在来種。

〔2〕 栽　　培

1. 本　　圃

イ) 耕起・整地

Langol で牛耕5～6回，Moi で砕土，整地。

ロ）施　肥

無肥料。

ハ）播 種 期

9月中旬～12月中旬

ニ）播 種 量

6 ～9 maund（5.5～8.4kg）／acre

ホ）播種方法

散播。Langol で耕起した後，全面に散播し，Moiで覆土する。

ヘ）栽植距離

こみあった場所を間引しながら収穫し，最終的に3 ～4 inch （7.5～10cm）間隔にする。

ト）栽培管理

間引の他は放任。

(3) 収　　穫

1. 収 穫 期

10月中旬～1月中旬

2. 収　　量（acre当り）

3 ～4.5 maund（112～168kg）

(4) 採　　種

2月中旬～3月中旬，採種。株ごと引き抜き，天日乾燥し，ラティ（木製のたたき板）でたたいて種子を落す。

ジュート袋に詰め，風通しの良い所へ保存。1年位は保存可能。

(5) 種子について

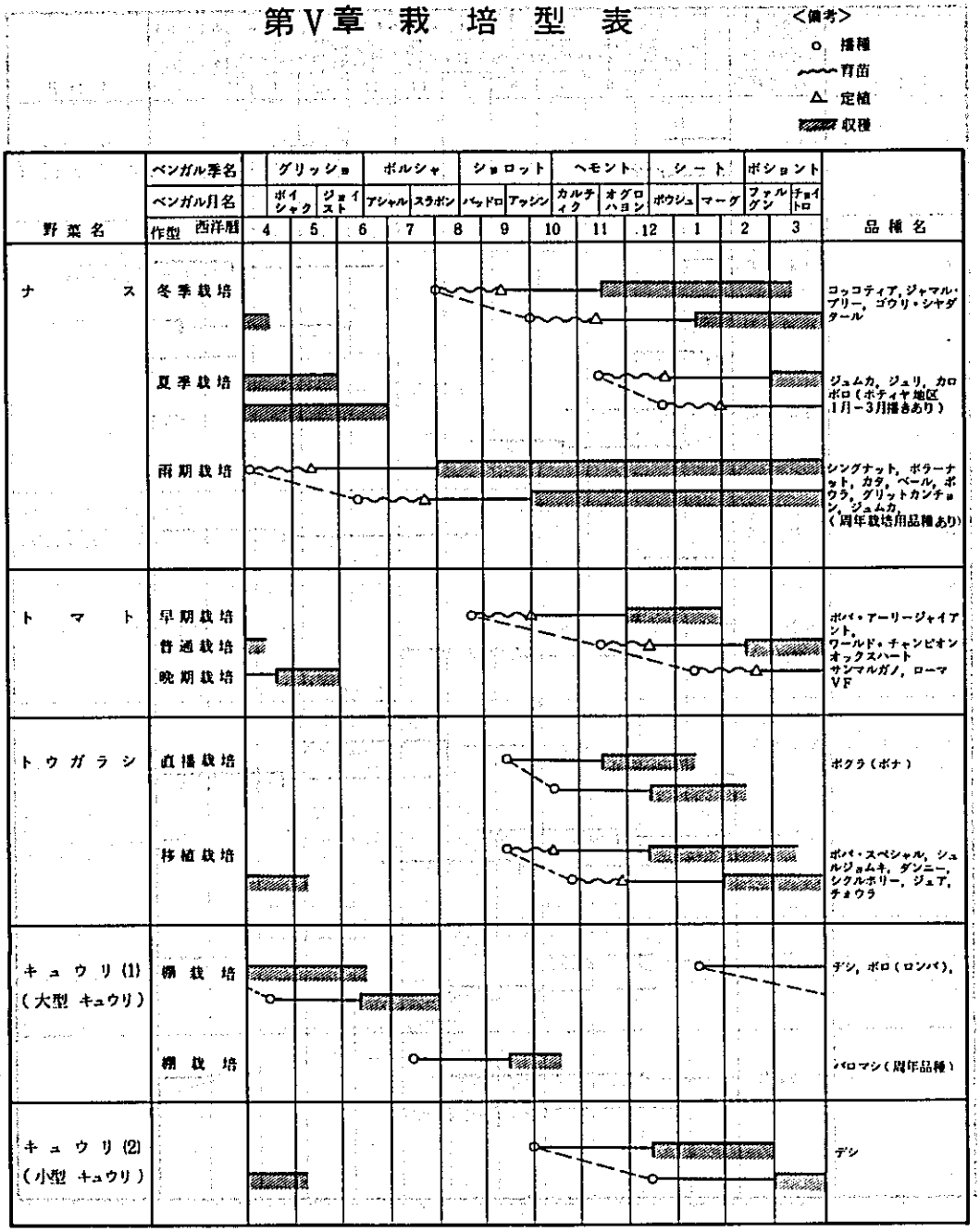
自家採種。発芽率がよくないので，播種する時，多めに播く。

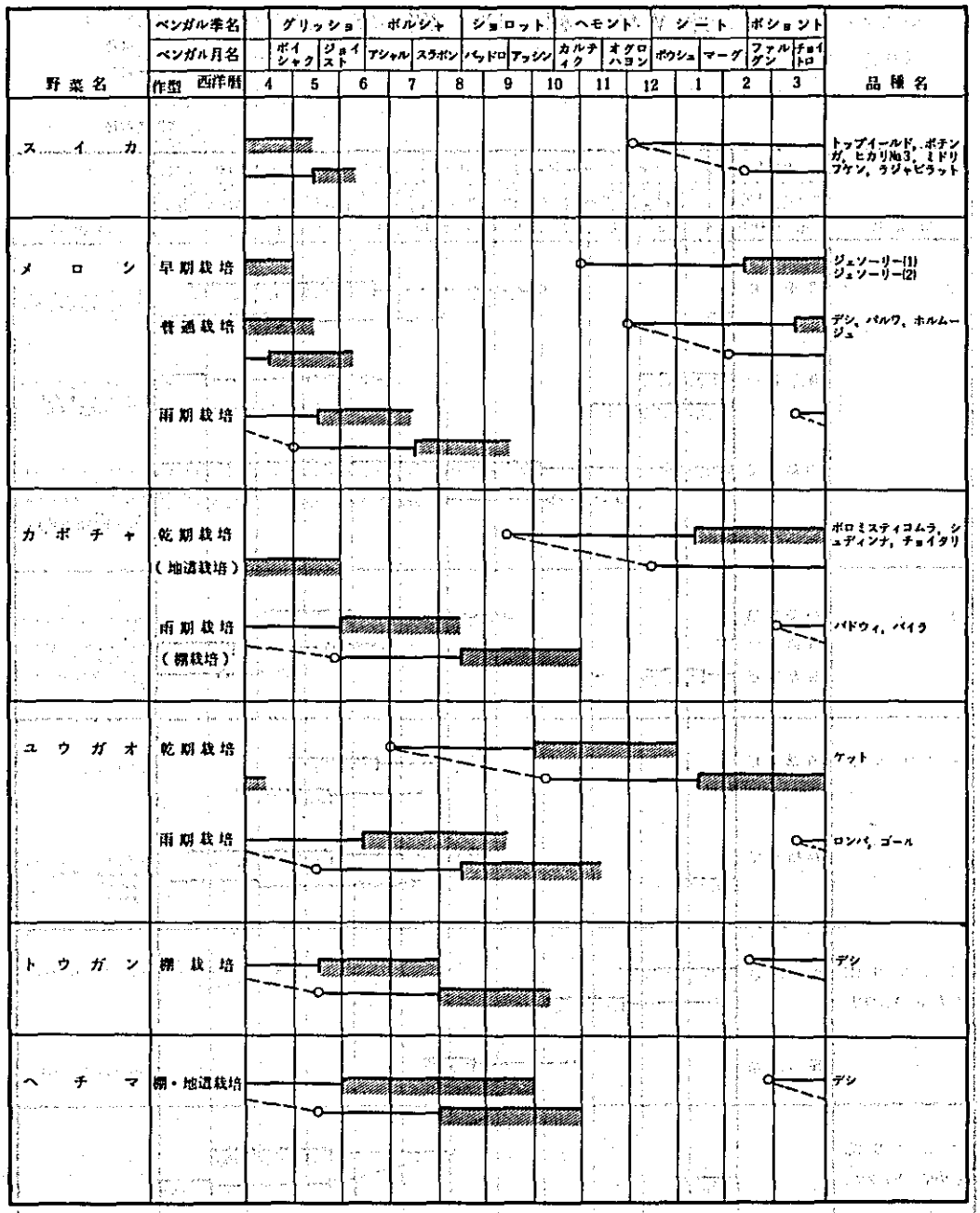
<註>

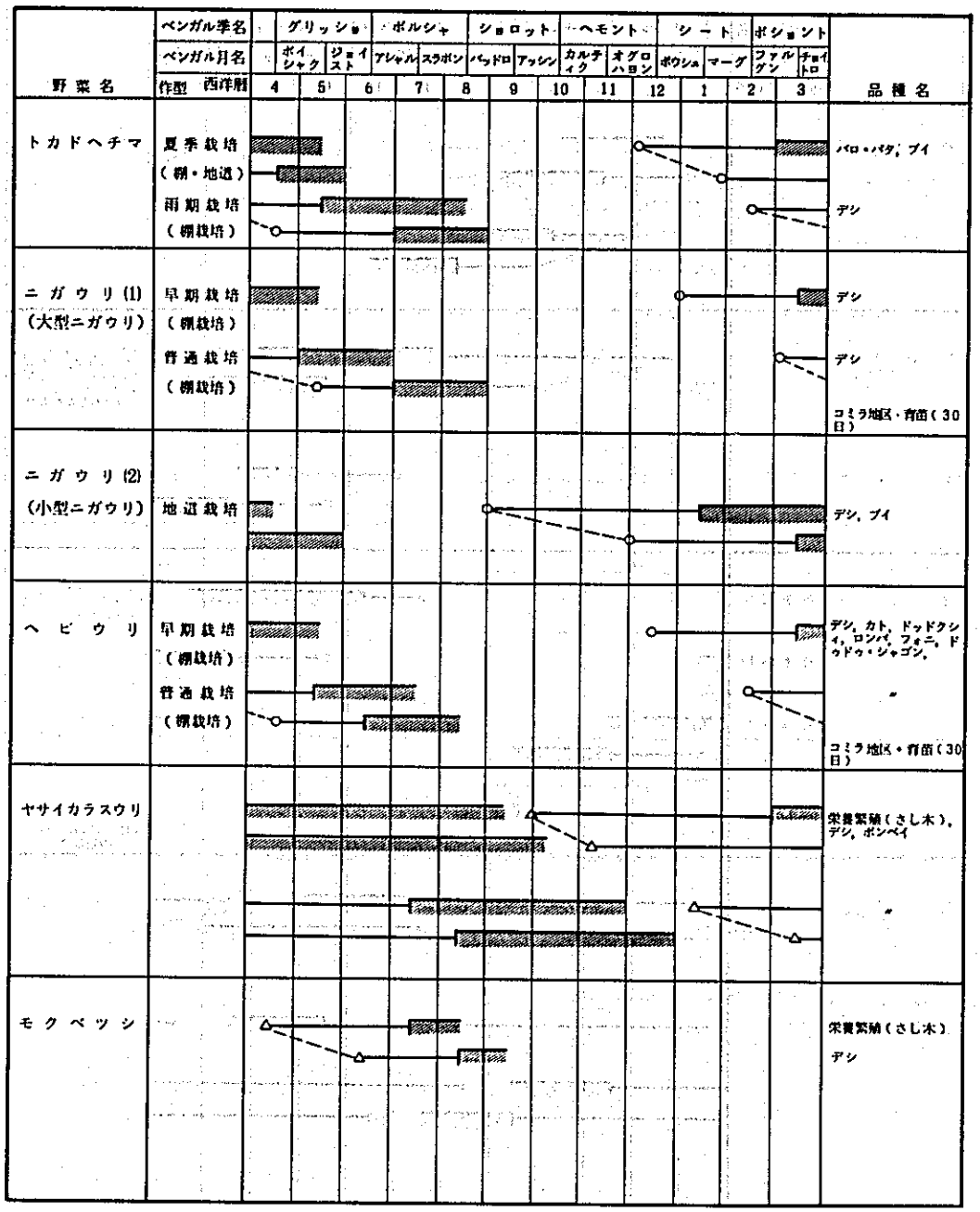
1. 本項(1)品種，V栽培型，VI品種の特性のなかで，デシとあるが，デシとはベンガル語で在来種を意味する。デシのなかでも，品種名のはっきりしているものは，その名前を記し，品種名のはっきりしていないもの，または特別名前がついていないものはデシと記載した。

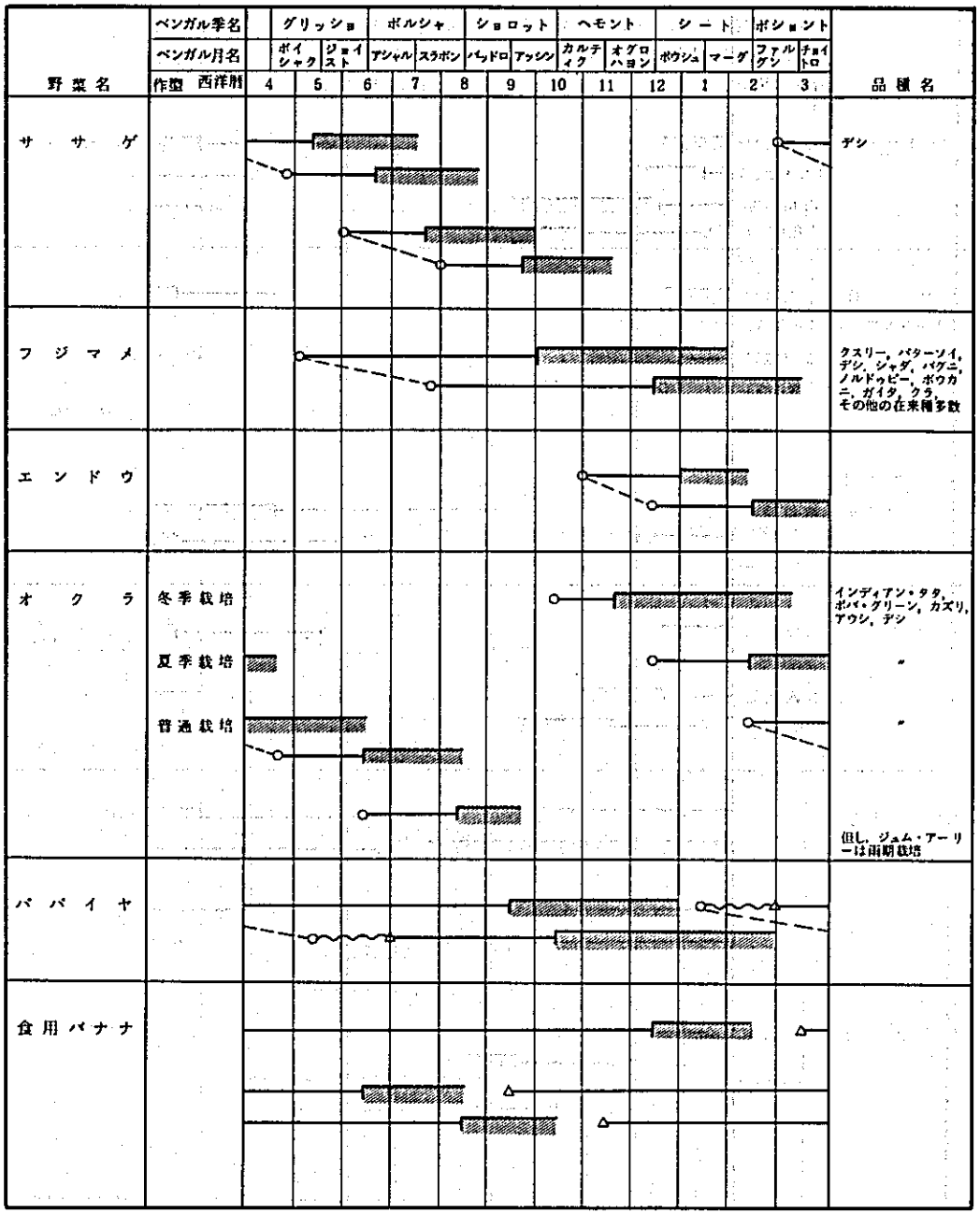
2. 肥料名　Urea …… 尿　素
　T.S.P (Triple Super Phosphate) … 重過リン酸石灰
　M.P (Muriate of Potash) …… 塩化カリ

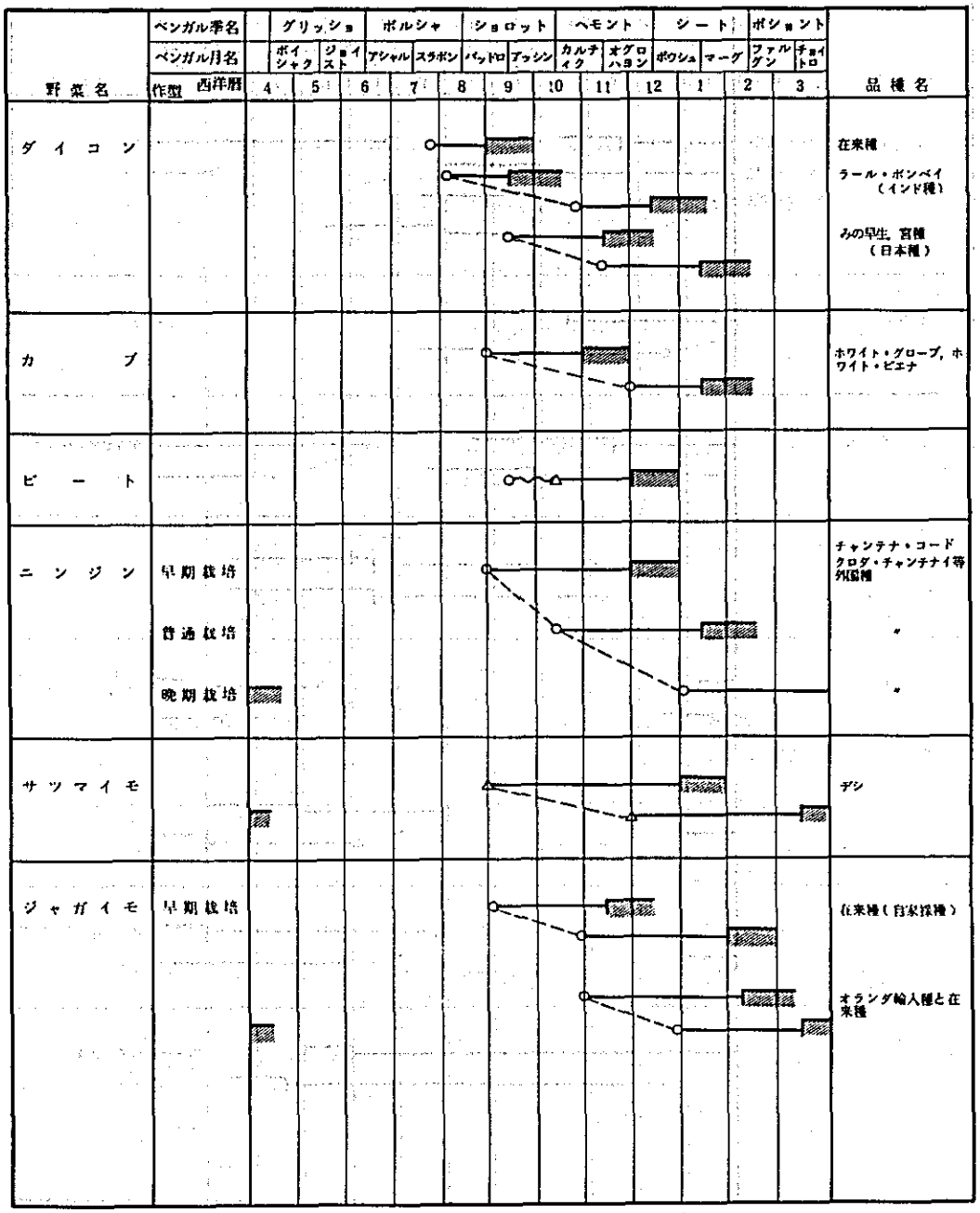
第V章 栽培型表

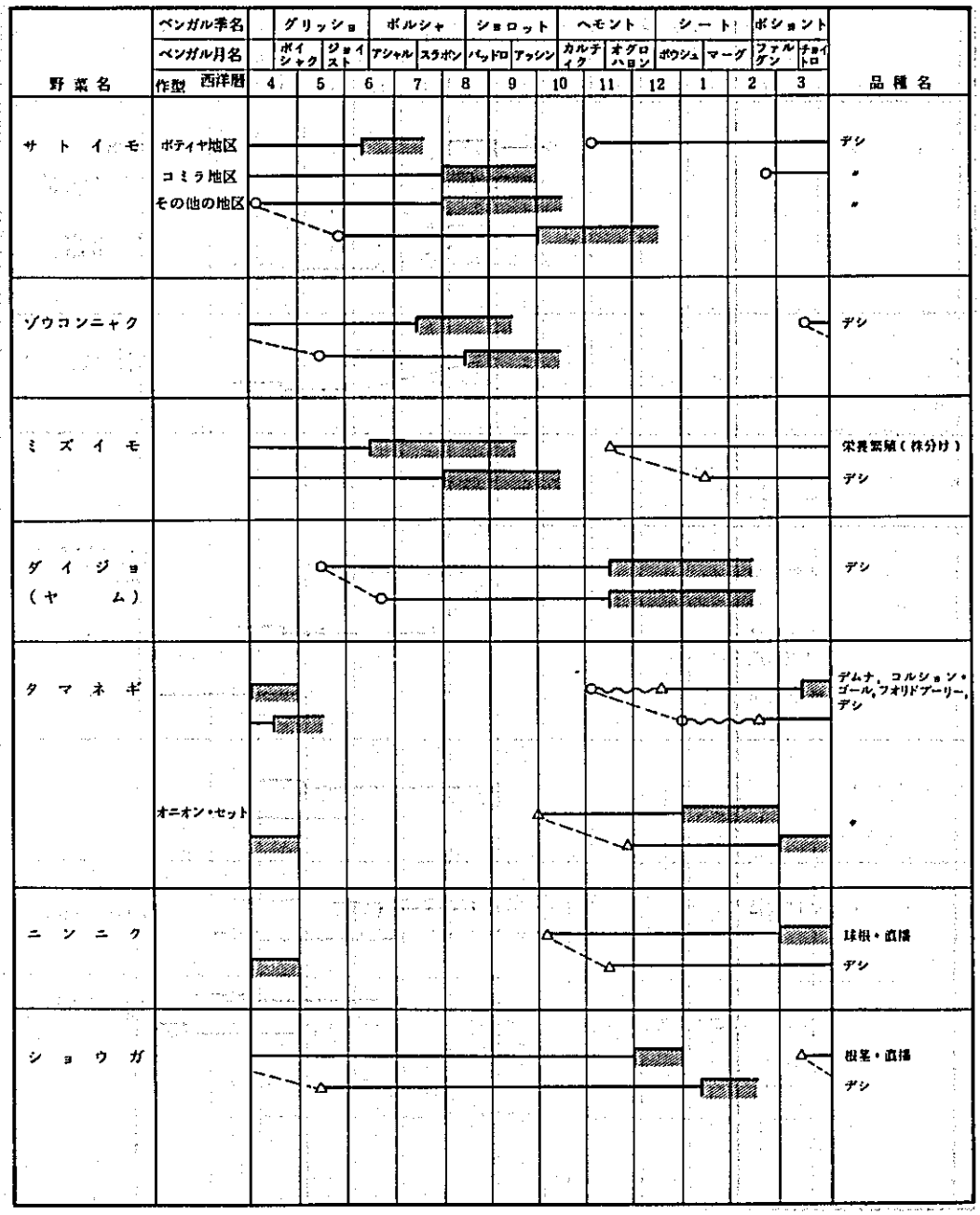

〈備考〉
播種
育苗
定植
収穫
ベンガル季名
グリッシュ
ボルシャ
ショロット
ヘモント
シート
ポショント
ベンガル月名
ボイシャク
ジョイスト
アシャル
スラボン
バッドロ
アッシン
カルチィク
オグロハヨン
ポウシュ
マーグ
ファルグン
チョイトロ
野菜名
作型 西洋暦
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3
品種名
ナス
冬季栽培
コッコティア，ジャマル・プリー，ゴウリ・シャダタール
夏季栽培
ジュムカ，ジュリ，カロボロ（ボティヤ地区1月－3月播きあり）
雨期栽培
シングナット，ボラーナット，カタ，ベール，ボウラ，グリットカンチョン，ジュムカ（周年栽培用品種あり）
トマト
早期栽培
普通栽培
晩期栽培
ボバ・アーリージャイアント，ワールド・チャンピオン
オックスハート
サンマルガノ，ローマVF
トウガラシ
直播栽培
ボクラ（ボナ）
移植栽培
ボバ・スペシャル，シュルジュムキ，ダンニー，シクルボリー，ジュア，チョウラ
キュウリ(1)（大型キュウリ）
棚栽培
デシ，ボロ（ロンバ），
棚栽培
バロマシ（周年品種）
キュウリ(2)（小型キュウリ）
デシ

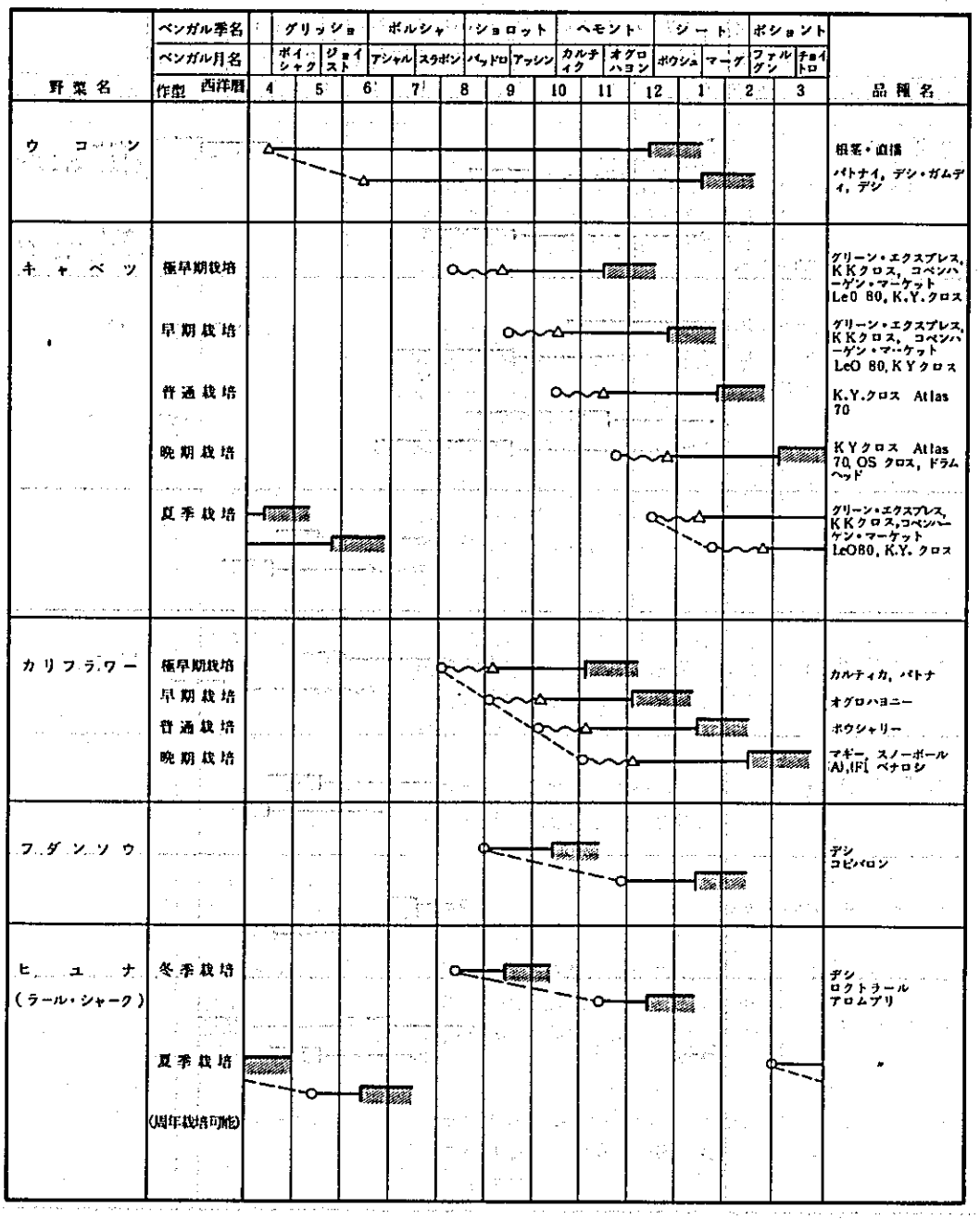

ベンガル季名
グリッショ
ボルシャ
ショロット
ヘモント
シート
ボショント
ベンガル月名
ボイシャク
ジョイスト
アシャル
スラボン
バドロ
アッシン
カルティク
オグロハヨン
ポウシュ
マーグ
ファルグン
チョイトロ
野菜名
作型 西洋暦
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3
品種名
スイカ
トップイールド，ボチンガ，ヒカリ№3，ミドリフケン，ラジャビラット
メロン
早期栽培
ジェソーリー(1)
ジェソーリー(2)
普通栽培
デシ，バルワ，ホルムージュ
雨期栽培
カボチャ
乾期栽培
（地温栽培）
ボロミスティコムラ，シュディンナ，チョイタリ
雨期栽培
（棚栽培）
パドウィ，バイラ
ユウガオ
乾期栽培
ケット
雨期栽培
ロンバ，ゴール
トウガン
棚栽培
デシ
ヘチマ
棚・地温栽培
デシ

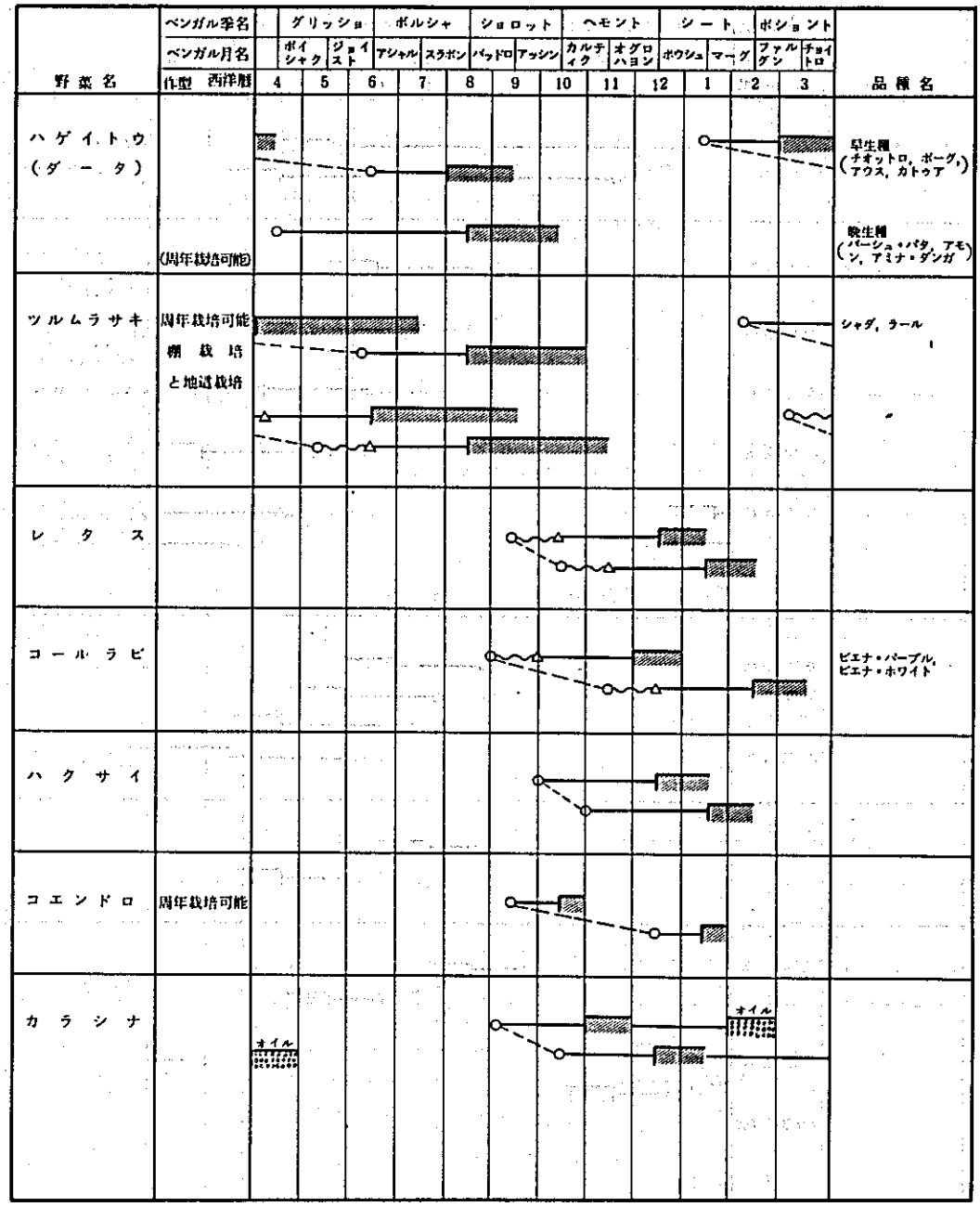

野菜名
ベンガル季名
ベンガル月名
作型 西洋暦
グリッショ
ボルシャ
ショロット
ヘモント
シート
ポショント
ボイシャク
ジョイスト
アシャル
スラボン
バドロ
アッシン
カルティク
オグロハヨン
ポウシュ
マーグ
ファルグン
チョイトロ
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3
品種名
トカドヘチマ
夏季栽培
（朝・地道）
雨期栽培
（棚栽培）
パロ・パタ，ブイ
デシ
ニガウリ(1)
（大型ニガウリ）
早期栽培
（棚栽培）
普通栽培
（棚栽培）
デシ
デシ
コミラ地区・育苗（30日）
ニガウリ(2)
（小型ニガウリ）
地道栽培
デシ，ブイ
ヘビウリ
早期栽培
（棚栽培）
普通栽培
（棚栽培）
デシ，カト，ドッドクシィ，ロンバ，フォニ，ドゥドゥ・ジャゴン，
〃
コミラ地区・育苗（30日）
ヤサイカラスウリ
栄養繁殖（さし木），デシ，ボンベイ
〃
モクベッシ
栄養繁殖（さし木）
デシ


ベンガル季名
グリッシュ
ボルシャ
ショロット
ヘモント
シート
ボショント
ベンガル月名
ボイシャク
ジョイスト
アシャル
スラボン
バドロ
アッシン
カルティク
オグロハヨン
ポウシュ
マーグ
ファルグン
チョイトロ
野菜名
作型 西洋暦
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3
品種名
サ サ ゲ
デシ
フ ジ マ メ
クスリー，パターソイ，デシ，ジャダ，バグニ，ノルドゥビー，ポウカニ，ガイタ，クラ，その他の在来種多数
エ ン ド ウ
オ ク ラ
冬季栽培
夏季栽培
普通栽培
インディアン・タタ，ポパ・グリーン，カズリ，デウシ，デシ
但し，ジュム・アーリーは雨期栽培
バ パ イ ヤ
食用バナナ


ベンガル季名
グリッシュ
ボルシャ
ショロット
ベモント
シート
ボシュント
ベンガル月名
ボイシャク
ジョイスト
アシャル
スラボン
バッドロ
アッシン
カルティク
オグロハヨン
ポウシュ
マーグ
ファルグン
チョイトロ
野菜名
作型
西洋暦
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3
品種名
ダイコン
在来種
ラール・ボンベイ（インド種）
みの早生，宮種（日本種）
カブ
ホワイト・グローブ，ホワイト・ビエナ
ビート
ニンジン
早期栽培
普通栽培
晩期栽培
チャンテナ・コード
クロダ・チャンテナイ等外国種
サツマイモ
デシ
ジャガイモ
早期栽培
在来種（自家採種）
オランダ輸入種と在来種


ベンガル季名
グリッショ
ボルシャ
ショロット
ヘモント
シート
ボショント
ベンガル月名
ボイシャク
ジョイスト
アシャル
スラボン
バッドロ
アッシン
カルティク
オグロハヨン
ポウシュ
マーグ
ファルグン
チョイトロ
野菜名
作型
西洋暦
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3
品種名
サトイモ
ボティヤ地区
コミラ地区
その他の地区
デシ
〃
〃
ゾウコンニャク
デシ
ミズイモ
栄養繁殖（株分け）
デシ
ダイジョ（ヤム）
デシ
タマネギ
デムナ，コルション・ゴール，フォリドプーリー，デシ
オニオン・セット
〃
ニンニク
球根・直播
デシ
ショウガ
根茎・直播
デシ


野菜名
ベンガル季名
ベンガル月名
作型 西洋暦
グリッショ
ボルシャ
ショロット
ヘモント
シート
ポショント
ボイシャク
ジョイスト
アシャル
スラボン
バッドロ
アッシン
カルティク
オグロハヨン
ポウシュ
マーグ
ファルグン
チョイトロ
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3
品種名
ウコン
根茎・直播
バトナイ，デシ・ガムディ，デシ
キャベツ
極早期栽培
グリーン・エクスプレス，KKクロス，コペンハーゲン・マーケット LeO 80，K.Y.クロス
早期栽培
グリーン・エクスプレス，KKクロス，コペンハーゲン・マーケット LeO 80，KYクロス
普通栽培
K.Y.クロス Atlas 70
晩期栽培
KYクロス Atlas 70，OS クロス，ドラムヘッド
夏季栽培
グリーン・エクスプレス，KKクロス，コペンハーケン・マーケット LeO80，K.Y.クロス
カリフラワー
極早期栽培
カルティカ，バトナ
早期栽培
オグロハヨニー
普通栽培
ポウシャリー
晩期栽培
マギー，スノーボール A)，IF1 ペナロシ
フダンソウ
デシ
コピバロン
ヒユナ
（ラール・シャーク）
冬季栽培
デシ
ロクトラール
アロムプリ
夏季栽培
（周年栽培可能）


ベンガル季名
グリッショ
ボルシャ
ショロット
ヘモント
シート
ポショント
ベンガル月名
ボイシャク
ジョイスト
アシャル
スラボン
バッドロ
アッシン
カルティク
オグロハヨン
ポウシュ
マーグ
ファルグン
チョイトロ
野菜名
作型 西洋暦
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3
品種名
ハゲイトウ（ダータ）
(周年栽培可能)
早生種（チオットロ，ポーグ，アウス，カトゥア）
晩生種（バーシュ・パタ，アモン，アミナ・ダンガ）
ツルムラサキ
周年栽培可能
棚栽培と地這栽培
シャダ，ラール
レタス
コールラビ
ビエナ・パープル，ビエナ・ホワイト
ハクサイ
コエンドロ
周年栽培可能
カラシナ
オイル
オイル

第Ⅵ章 品 種 特 性

野 菜 名	品 種 名	品 種 特 性	栽培地区名
ナ ス	シングナット	周年栽培可。雨期に栽培多い。草勢強健，草丈170cm前後，果皮薄紫色，果実細長く，20～25cm前後，太さ2～2.5cm，長いものは45cmにもなる。食味，中。	ボグラ，ガイバンダ，コミラ，ポティヤ
	ボラーナット	周年栽培可。シングナットに似て長形，果長28cm，太さ3cm前後。外観は美しいが，皮がやや硬い。食味中。	コ ミ ラ
	ジュムカ	周年栽培可。但し雨期に栽培多い。果皮，薄赤紫色，小型ナスで果長12cm，果重50～100g前後，房成り性，食味，中。	ボグラ，ナトール，ラジシャヒ，ジェソール，コミラ
	イスラムプリ	乾期栽培。草丈90～120cm，1株に10～12個着果。果皮，紫色で球形の大果。果重1.8~2.2kg タネ少なく，食味，中。	ガイバンダ，ポティヤ
	ジャマルプリ・ラウンド	乾期栽培。果皮，濃紫色，卵形の大果で果重700g前後。食味，中	ナトール，ラジシャヒ
	ジャマルプリ・ロング		ラジシャヒ
	カタボロ	乾期栽培。植物体全体に刺がある。果皮淡緑色。球形の大果で，果重500～600g前後。食味，良。需要大。	ラジシャヒ，ジェソール
	カタチョト	カタボロと似ているが，果実がひとまわり小さく150g前後。食味，良。需要大	ラジシャヒ，ジェソール

〔註〕 デシ（ দেশি ）は在来種を意味する。デシの中で品種名のはっきりしているものはそれを明記した。

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
ナス（つづき）	コツコティア	乾期栽培。果皮，薄紫色。果長30cm，果重230～350g前後。	ボグラ，ガイバンダ
	ゴウリ・シャダ	乾期栽培。果皮，白色。長卵形で果重250～300g。	ジェソール
	バンゴール	乾期栽培。果皮，灰白色。丸みを帯びた卵形。ゴウリ・シャダに似る。	ジェソール
	タール	乾期栽培，タール（オオギヤシの実）という名前の通り，丸い大果。果皮緑色のものと紫色のものがある。	コミラ
	ドハザリ	乾期栽培。草丈120cm前後，果皮淡緑色でストライプ，スポットの入ったものもある。果長12cm程度，長卵形。皮がうすく，食味，良。ポティヤではほとんどこの品種が栽培されている。	ポティヤ
	ケリショール	夏期栽培。茎葉，果実はドハザリに以るが，草丈90cm，果長7.5cmで小型。食味，中。皮が硬い。	ポティヤ
	ポータ	乾期栽培。丘陵地帯で栽培。3つの型がある。 ① 果長5cm，長円筒形，淡緑色。 ② 果長2.5~4cm程の円形，淡紫色 ③ 果長4～5cm程の円形，緑色，果皮に淡緑色のストライプ，白点がある。	ポティヤ
	シンガハール	果長60cm前後。	ガイバンダ
	ムルリ	果皮，淡緑色，果長25cm前後の長形。果重550g前後で直物体に刺あり。	ナトール，ラジシャヒ
	ムルリー・スペシャル（カロボロ）	雨期栽培。果皮，黒色，果重300g前後。多肥栽培。虫害多し。ジェソール地区の最良種。食味，良。	ジェソール

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
	ムルリー・スペシャル（ジュリ）	果皮は赤味を帯びた黒色。果重60～100gと小型。病虫害はカロポロとくらべ少ない。1果房に数個着果。	ジェソール
トマト	オックスハート	早生種。草勢強く，多収。果実は心臓型の球形，果重100～150g。多肥栽培。需要多く市場性高い。	ボグラ，ナトール，ジェソール，ラジシャヒ，コミラ，ポティヤ
	ポバアーリ・ジャイアント	在来の早生種。耐暑性あり。草勢強く，無支柱放任栽培でも収量あがる。果重150～200gだが奇形多く，市場性低い。	ボグラ，ナトール，ラジシャヒ
	ワールド・チャンピオン	中生種。果重250g前後。果皮硬く需要少ない。	ジェソール，コミラ
	ローマVF	イタリア系早生品種。芯止まり種。果実，円筒形，果重60g前後で小型。果皮硬く，果肉厚いため，輸送性に富む。放任栽培に向くが，バイラス病多発。チッタゴン地域で栽培多い。	ナトール，ジェソール，ラジシャヒ，コミラ，ポティヤ
	サンマルガノ	イタリア系品種。果実，桃色，小果，長円筒形で果肉厚く，水分少ない。ローマVFに似る。	ポティヤ
	サンマルジノ	イタリア系品種。果長8cm前後，果重80～90g。放任栽培に適する。	ナトール
	マニーメーカー	中生種。草勢中，支柱必要。果実黄赤色，球形，果重60～80gで小果。市場性高い。	ラジシャヒ
	バトルクシ	中生種。草勢中。果実やや扁平果皮硬く輸送性に富む。果重60g前後。	ジェソール
	マーグ・ローブ	大玉。	ボグラ

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
	ジュプシー	果実，円形のものと尻がやや尖ったものとがある。果重60g前後の小果。	ガイバンダ
トウガラシ	シュルジョムキ	晩生種。周年栽培可。果尻が上向きに着果し，果皮緑黒色で，辛味，普通。	ガイバンダ，ジェソール，ポティヤ
	ダンニャ	周年栽培。草丈75cm～90cm，果長2cm，太さ5cmと大型。辛味強い。	ガイバンダ，ポティヤ，コミラ
	ジェア	晩生種。多収，果実細く，熟果は緑から赤に変色。辛味強く，需要多い。	ジェソール
	チョオラ	晩生種。多収，果皮は白色，辛味普通。	ジェソール
	ポパ・スペシャル	晩生種。多収，果皮は緑色，辛味強い。	ジェソール
	ボナ	早生種。多収，果実大きく，熟果赤色で，品質が良い。乾燥させるとさらに良くなり辛味も増して，長期貯蔵可能。	ジェソール
	コミラ	周年栽培も可能。草丈90cm，果長5cm前後で，濃緑色～黒色。辛味強い。	コミラ，ポティヤ
	チャムドリア	冬季栽培。草丈60～75cm，果実は指のような形で5～7.5cm。辛味普通。乾燥トウガラシにもされる。	ポティヤ
	ボゴラ	冬季栽培。草丈90～120cm。果実は7.5～10cmと大型。辛味普通。乾燥トウガラシにも使われる。	ポティヤ
	チャクマ	周年栽培。丘陵地に広く栽培。草丈120cm，果実1.2～2.5cmと小型。辛味強。	ポティヤ

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
	ポパ・グリーン	周年栽培も可。草丈60cm，果実5cm位。辛味普通。	ポティヤ
	バタシャ	周年栽培も可。草丈75cm，果実は丸く，辛味強。	ポティヤ
キュウリ	バロマシ	周年栽培可。但し，乾期収量少ない。果実150g前後。	ラジシャヒ，ジェソール
	ボロ，ロンバ	果長35cm内外，太さ8～10cm，果重1.0～1.5kgになる大型品種。最もポピュラーな品種。	ボグラ，ラジシャヒ，ジェソール，コミラなど各地
	デシ	夏季（3月より）収穫。地道。	ラジシャヒ
	チョイタリ	夏季（3月より）収穫。他の季節不向，地道。	ジェソール
	ボルシャティ	雨期収穫。果重100～150g。収量多い。地道。	ジェソール
小型キュウリ（キーラ）	デシ	果実10cm位の長さの楕円形のものと，球形（直径10cm前後）の2種あり。果皮，楕円形－淡緑色 球形－薄茶色 果肉しまり，歯切れよく，食味良。	ボグラ，ラジシャヒ，ジェソール，コミラなど各地
スイカ	トップイールド	長楕円形の大型品種で果重7～10kg。果皮，淡緑色で果肉はピンク。果皮1.5cmと厚く，輸送性に富み，多収品種，圧倒的人気あり。	ボグラ，ラジシャヒナトール，ジェソール，コミラ，ポティヤなど各地
	ポテンガ	球形の中型品種。果重3kg内外，果皮濃緑色でうすい縦縞が入る。果肉赤で多収。	ジェソール，コミラ
	ヒカリ No3	球形，果重5kg内外。濃緑色の縦縞が入る。	ジェソール
	ミドリフケン	早生，豊円形で果重7～9kg。果皮淡緑色で果肉鮮紅色。	ナトール

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
	ラジャビラット	果重4～12kg内外，果皮黒色，甘味少ない。	ガイバンダ
メロン	ジェソーリー(1)	果重1～3kg，果長30cm前後。	ジェソール
	ジェソーリー(2)	果重5～6kg，果長45～60cm。	ジェソール
	デシ	球形，果皮橙色，果面に浅い縦溝があり，カボチャに似た品種と長形，果皮緑色，果面なめらかなものあり。果実2～3kg。香りは良いが甘味なし。	コミラ，ボグラ
	パルワ	果重1～2kgで熟すると割れる。香りは良いが甘味なし。	ガイバンダ
	ホルムージュ	マスクメロン。果重3～4kg，熟すと黄色になり，普通のメロンより人気あり。	ナトール
カボチャ	ボロミスティコムラ	耐暑性の強い大型品種。地道。	ラジシャヒ
	チョトミスティコムラ	ボロミスティコムラと類似するが，やや小型の品種。食味良。	ラジシャヒ
	ボイシャキー（ジェソリー）	果実，長形と球形の2種類あり。病虫害少なく，収量多い。	ジェソール
	チョイタリ（チョウリ）	ボイシャキーと類似するが果実は，より小型。	ジェソール
	バドゥイ	雨期，棚栽培，乾期不適。果実球形，大型。	ジェソール
	シュディンナ	果実の形は長形，球形様々で，果皮の色も橙色，濃緑色がある。大型品種。地道，6カ月貯蔵可。	コミラ
	バイラ	小果，棚栽培。シュディンナよりも甘味強く，食味良。	コミラ

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
ユウガオ	ロンバ	長形，果皮の色によって2種に分ける。 ①果皮・緑色，果長45～60cm，果重10kg ②果皮・白色，果長120cm，果重6～8kg，雨期，棚栽培。	ラジシャヒ，ジェソール
	ケット	果皮，淡緑色。果長45cm前後，果重5～6kg。乾期，地道栽培。	ラジシャヒ，ジェソール
	ゴール	丸形，果長30cm，果重5～6kg。果皮緑色と白色あり。雨期，棚栽培。	ジェソール
	テウンバ	丸形，果皮白色に近く，食味良。	コミラ
	デイング	長形，果皮・緑色で，白い小さな斑点が入る。広く栽培されている品種。	コミラ
	シャテイ	長形，果皮，淡緑色と濃緑色との2種あり。多収。	ボグラ
	チャーム	長形，果皮淡緑色。	ボグラ
トウガン	ジェソリー，ディミ	地道と棚栽培の2種類あり，地道は果重5～7kg，棚栽培は果重10～12kgで俵型の大型品種。	ジェソール，コミラ
	ロンバ	長形。	ジェソール
	デシ	臼形，果皮，淡緑色，まだらがあり，果重1kg内外の小果。	コミラ
ヘチマ	デシ	果皮淡緑色から白色。果長18～20cm，太さ4～5cm，果重250～300g。	ガイバンダ，ラジシャヒ，ジェソール，コミラなど各地
トカドヘチマ	デシ	小型種と大型種あり。両者とも，果皮は淡緑色，小型種は，果長6～7.5cmで太さ2.5～4cm前後，果重60～100g。	ボグラ，ガイバンダ，ナトール，ラジシャヒ，コミラ，ボティヤ

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
トカドヘチマ（つづき）		大型種は，果長25～30cmで太さ5～8cm前後，果重300g程度。両者とも食味やや劣る。	
	パロ・パタ	果皮・淡緑色。果長13～15cm，太さ4～5cm，果重250g前後。多収で食味，良。地道。	ラジシャヒ，ジェソール
	ブ　イ	果皮・淡緑色。果長10～13cm，多収で食味良。棚・地道。	ジェソール，ポティヤ
ニガウリ	デ　シ	果長20cm前後，太さ5～6cm。ジェソール地区にはゴージュという品種があり，果長30cm，果重250g。棚栽培。	ボグラ，ガイバンダ ラジシャヒ，ジェソール，コミラ
小型ニガウリ（ウッチェ）	デシ，ブイ	果長2～3cm，太さ2～3cmの小型品種。地道。	同上
ヘビウリ	デシ，カト，ドッドクシィ	果皮，濃緑色の地に白い縞模様，果長40～50cm，果重230g前後が普通，但し，75～90cmになるものもあり。食味中。	ボグラ，ガイバンダ ナトール，ジェソール，コミラ，ポティヤ
	ロンバ，フォニ	長果，大型品種。果長100～150cmに達する。	ジェソール，ポティヤ
	ドゥドゥ・シャゴン	果皮，淡緑色で食味良。	ポティヤ
ヤサイカラスウリ	デ　シ	大型・長物のものと小型のものがある。 大型長形種は，果皮・濃緑色の地に白色を帯びた淡緑色の縦縞が入り，果長5～6cm，太さ3cm前後になる。柔らかくて，食味良。 小型のものは，果皮，淡緑色で縞模様がない。硬くて食味不良。	ボグラ，ナトール，ラジシャヒ，ジェソール，コミラ ジェソール
	ボンベイ	果皮・緑色で縦縞が入り，果長6.3～7.5cm，太さ4～5cmになる大型種。食味良好。	ラジシャヒ

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
モクベツシ	デシ	レモン形～球形。直径2～4cmで果面小突起に覆われる。	
ササゲ	デシ	蔓性，莢の長さ20～30cm前後，色は淡緑色と赤色があり，赤色のものは食味劣る。	ラジシャヒ，ジェソール，コミラ
	チャイニーズ・スティングビーン	晩生種。蔓性，果実は白色，30～45cmになり，太くて収量多い。食味，良好。	ラジシャヒ，ジェソール
	ムルリー	在来早生種。草丈90～120cmの矮性。	ジェソール
フジマメ	カルティカ	早生種。	ジェソール
	オグロハヨニー	早生種。	ジェソール
	コンテンダル	中生種。	ジェソール
	コイア	中生種。	ジェソール
	グリットカンチョン	晩生種。耐暑性。莢長10cm，莢幅5cm。多収，食味良好。	ラジシャヒ，ジェソール
	バクロカ	晩生種。莢長15cm，莢幅1.3cm。食味良好，市場性高い。	
	クスリー，バターソイ	晩生種。莢長7.5cm，莢幅2.5cm。多収，食味大変良好。	ラジシャヒ，コミラ
	デシ・シャダ	晩生種。莢長7.5cm，莢幅2.5cm果皮白色。食味良。	ラジシャヒ
	バグニ，ノルドゥピー	晩生種。莢長8～10cm，莢幅1.3cm。多収，食味良。	ボグラ，コミラ
	ボウカニ，ガイタ	晩生種。莢長7cm前後，莢幅2.5cm。莢の縁が赤味おびる。食味良。	ボグラ，コミラ

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
フジナメ（つづき）	クーラ	早生種。収量少なく食味不良。	ボグラ
	その他デシ多数		
エンドウ	グリーンフィスト	果実大。栽培少ない。	ジェソール
	デシ	緑肥作物とみなされている。無施肥。	ジェソール
オクラ	ジュム・アーリー	雨期栽培。果実は緑色，長形。多収，インド品種。	ジェソール
	インディアン・タタ	果長10cmの小果で，淡緑色。	ポティヤ
	ボバ・グリーン	果長15cmの大果で，濃緑色。まれに赤い果実もみられる。	ポティヤ
	カズリ	草丈150～180cm。果長20～23cmの大果。果皮濃緑色で皮が固い。バイラス抵抗性を有し，食味良。	ポティヤ
	アウシ	草丈90cm，果長8～10cm，果皮淡緑色。バイラスに弱い。	ポティヤ
	デシ		コミラ，ボグラ
パパイア	ジェソーリー	3～4年栽培継続可能，但し1年目が最も収量多い。青果（野菜用）1kg前後，熟果（果実用）3～4kg。	ジェソール
ダイコン	みの早生	早生種。根部全体白色，根長35～40cm，苦味なく，葉は小刺多い。栽培容易。	ナトール，ラジシャヒ，ジェソール，コミラ
	宮重青首	中性種。根首は緑色を帯びる。葉はなめらか。みの早生とともに食味よく，需要多い。	同上
	ラール・ボンベイ	インドから輸入・定着。早生種。耐暑性強く，病虫害少い。根長20cm前後根部赤味を帯びる。少々苦味あるが需要多く，広く栽培されている。	ボグラ，ガイバンダ，ナトール，ラジシャヒ，ジェソール，コミラ

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
ダイコン（つづき）	シャダ・ボンベイ	インド種，早生種。ラール・ボンベイと類似するが，根部全体白色。栽培面積少ない。	コミラ
	デシ	根部白く，親指ほどの太さになるが，主として葉を食べるのが目的。	コミラ
カブ	ホワイト・グローブ		ジェソール
	ホワイト・ビエナ		ジェソール
ニンジン	チャンテナ・コード		ジェソール
	クロダ・チャンテナイ		ジェソール
サツマイモ	デシ	赤皮，白肉，収量少，食味良。 白皮，白肉，収量多，食味普通。 黄皮，白肉，収量中，食味不良。	ボグラ，ジェソール コミラ
ジャガイモ	ハクライ	外皮・赤色。直径3cm以下の小薯。食味良。	ボグラ
	パクリ	早生種。外皮・赤色と白色。低収。	ボグラ
	マツダイ	外皮・赤色。楕円形，中玉。	ボグラ
	シュンドリグティ	外皮・赤色。中玉（60～90g）。	ボグラ，ガイバンダ
	ノニタル	外皮・赤と白のまだら。大玉（120～145g）。	ガイバンダ
	ジュプシー	小型品種。	ガイバンダ
	マルタ	オランダ種。	ジェソール，コミラ
	ペトロネス	オランダ種。	コミラ
	ジャルラ	オランダ種。	ジェソール
	カーディナル	オランダ種。	ジェソール，コミラ
	クリフ・シュンドリ	インド種。外皮・白色，球形～楕	ジェソール

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
ジャガイモ（つづき）		円形。草勢強く，病害少ない。	
	クリフ・チォンドロムキ	インド種。外皮・赤色，球形。	ジェソール
サトイモ	ムキコチュ，チョラコチュ	普通のサトイモで小芋を食用とする。1株から20～25個収穫でき，芋の長さ4～5cm，直径2.5cmで15～20g程度。	ボグラ，ラジシャヒ ジェソール，コミラ
	ポンチョムキ	ヤツガシラの1種。	コミラ
	マン・コチュ	家の側に植えられ，茎葉，芋を食用。	コミラ
ゾウコンニャク	デシ	芋は球形，果重4～10kg。食味良。	ラジシャヒ，ジェソール，コミラ
サトイモ（パニ・コチュ）	シオラ	株全体は淡緑色。芋の長さ30～33cm，太さ5～6.5cm，重量40～50g程度。食味良。	ラジシャヒ，ジェソール
	ナリケリー	株全体は濃緑色～黒色，芋は食べず，茎を食用とする品種。	ラジシャヒ
ダイジョ（ヤム）	ロンバ	長形種。果重8～15kg。果皮は黒色。根長60～75cm，太さ20～25cmになる。果肉白く食味良。	ラジシャヒ，ジェソール
	ゴール	球形種。果重5～6kg。果皮黒色。芋の直茎30cm。果肉白く食味良。	ラジシャヒ
	ハトゥバ	長形種。果重10～12kg。1株に5～6個の芋が着生。果皮は黒色，果肉白。根長30cm，太さ7.5cm。	ラジシャヒ
	ジェソーリー	不定形で太くなる。病虫害少い。食味冬季に良。	ジェソール
タマネギ	デムナ	球重20～30g。	ラジシャヒ
	コルション・ゴール	球重80gの大型品種。	ジェソール

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
タマネギ（つづき）	フォリドブーリー	球重20～35 g。	ジェソール
	デシ	直径2～3 cmの小玉と球重50～60 gになる中玉あり。	ボグラ，コミラ，ジェソール
ニンニク	デシ	球重20～30 g	ラジシャヒ，ジェソール
ショウガ	デシ		ジェソール
ウコン	バトナイ	1株から1.0～1.5 kg の収量。	ラジシャヒ
	デシ・ガムディ	根茎色はバトナイより美しいが収量少ない。	ラジシャヒ
	デシ		ジェソール
キャベツ	コペンハーゲン・マーケット	極早生種。早期栽培向き。都市で需要多い。	ボグラ，ジェソール，コミラ
	グリーン・エクスプレス	極早生種。耐暑性強く，早期栽培向き	ジェソール，ラジシャヒ，ボティヤ
	KKクロス	極早生種。耐暑性強く，早期栽培向き。定植後65日で球重1.0～1.8kg。	ジェソール，コミラ，ラジシャヒ，カシンプール
	Leo 80	極早生種。耐暑性強く，高温期の栽培に利用。定植後55～60日で球重1.4～1.8 kg。	ジェソール，コミラ，ラジシャヒ，カシンプール，ボティヤ
	KYクロス	早生種。耐暑性強く，球がよくしまる。定植後70～75日で，球重2.0～2.5g。栽培容易。	ガイバンダ，ナトール，ジェソール，コミラ，ラジシャヒ，カシンプール，ボティヤ
	Atlas 70	中生種。定植後85日で球重1.8～2.3 kg。栽培容易で，多収。	ナトール，ジェソール，コミラ，ラジシャヒ，カシンプール，ボティヤ

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
キャベツ（つづき）	OSクロス	中晩生種。定植後100日で球重4.5 kg，最高7kg近くになる大型多収品種。	コミラ
	ドラムヘッド	中生種。大型品種。	ボグラ，ガイバンダ，コミラ，ラジシャヒ
	デシオ	早生種。定植後60日で球重0.5～1.4kg。葉が軟かい。	ガイバンダ
カリフラワー	パトナ	極早生種。定植後65日で花蕾直径13～15cm，450～600g前後。耐暑性強く，早期栽培向き。葉身，葉柄長い。	コミラ
	カルティカ	同上	ボグラ，ナトール，ラジシャヒ，ジェソール，コミラ
	オグロハヨニ	早生種。定植後75日で，花蕾直径17～18cm，800g前後。葉身，葉柄長い。	ボグラ，ガイバンダ，ナトール，ジェソール，コミラ
	ポウシャリー	中生種。定植後80日前後で花蕾直径18～19cm，900g前後。	ボグラ，ガイバンダ，ナトール，ジェソール，コミラ
	マギー	中晩生種。定植後90～95日で，花蕾直径20cm，1,000g内外。葉身，葉柄短い。	
	ベナロシ	同上	コミラ
	スノーボールA，F	ほぼマギー，ベナロシと類似するが，花蕾が純白でよくそろう。	ボグラ，ジェソール，コミラ
フダンソウ	デシ	播種後1～2カ月のうちに株ごと収穫。最高級の葉菜と言われ，需要多い。	ガイバンダ，ジェソール，コミラ
	コピパロン	草丈高く，広葉で茎が太い。花芽分化がデシとくらべ遅い。	ジェソール

野菜名	品種名	品種特性	栽培地区名
ヒユナ（ラール・シャーク）	デシ	播種後約1カ月の若い茎葉を食用にするのが一般的だが，ボグラ地区には草丈90cm位で食用に供するものもある。	ボグラ，コミラ
	ロクトラール	茎葉・濃赤色。病虫害少なく，食味良。需要多い。	ジェソール
	アロムプリ	白味を帯びた赤色。需要少ない。	ジェソール
ハゲイトウ（ダータ）	チオットロ・ボーグアウス，カトゥア	早生種。草丈45～60cm，葉色，淡緑色で広葉，茎は黄色で甘味あり。抽苔早い。	ボグラ，ガイバンダ，ナトール，ジェソール，コミラ
	バーシュ・バタ，アモン，アミナ・ダンガ	晩生種。草丈90～150cm，茎の太さ7.5 cm程度。葉色は濃緑色。抽苔遅い。	
ツルムラサキ	シャダ	茎が緑色。多収。	ボグラ，ガイバンダ，ジェソール，コミラ
	ラール	茎葉が赤紫色を帯び，緑茎種よりも食味良。	
コールラビ	ビエナ・パープル	60日で収穫可能。大型品種で栽培容易。	
	ビエナ・ホワイト	ビエナ・パープルより小型。食味良い病虫害少なく栽培容易。	ジェソール，ボグラ

第Ⅶ章　流通と販売

1. 市場の種類と性格

1）農村市場

① ハ　ッ　ト（Hat）

全国65,000カ村に約4,500カ所のハットがある。通常，簡単な小屋と広場だけのもので，週1～2回定期的に開かれ，農産物，生鮮食料品，衣類，薬，日用雑貨品等が売買される。ハットで売買する人々は，使用する施設，広さ，取引量に応じて一定の税金（Khazna）を払う。

小屋の利用権は特定の業者によって占められ，米，野菜，魚などを少量背負って売りにくるような農民は，広場で露店を開くことが多い。

ハットの特徴は生産者（農民）＝売主が主体になっていることである。

ハットの管理は村議会（Union Parishad）に委ねられ，利用者の支払う税金の一部は，Union の青年・婦人活動など社会活動に使うよう政府から指示されている。

② バ ザ ー ル（Bazar）

全国に1,500カ所ある。機能はハットとほぼ同じであるが，商品取扱規模はハットの約4倍。恒久的な建物は少なく，開催も週2回程度の所が多いが，毎日開いているバザールもある。

利用者は一日平均2,000－5,000人で，商品は農民が直接持込む場合よりも，ハットや農家の庭先で仕入れたものを売る場合が多く，ハットのように生産者（農民）＝売主という形態よりも商活動を主体とした売主が多くなる。

ハットや農家の庭先から仕入れをするものは，Bepari，Paikar，Fariaと呼ばれる小規模，農村仲介業者である。

2）中小都市市場

全国に450カ所（各Thanaに約1つ）ある。通常，鉄道，道路，内水交通路の発達した交通の便利な所に位置しており，毎日開かれている所が多い。

この市場の利用範囲はほぼThanaの行政範囲で，所在地もThanaの役所のある所が多く，市場として必要な設備もある程度整っている。これらの市場は一種の卸売市場としての機能を持っており，商品取扱い量も多い。農村市場とこの中小都市市場との間に，アラクダール（委託販売業者）やダラール（ブローカー）と呼ばれる大規模仲介業者が介在する。

アラクダールは，これらの市場に店を構え，倉庫を持っていて，自らの判断で農村市場やベパリなど小規模仲介業者から商品を買入れ，手数料をうわのせして小・卸売業者に売る。

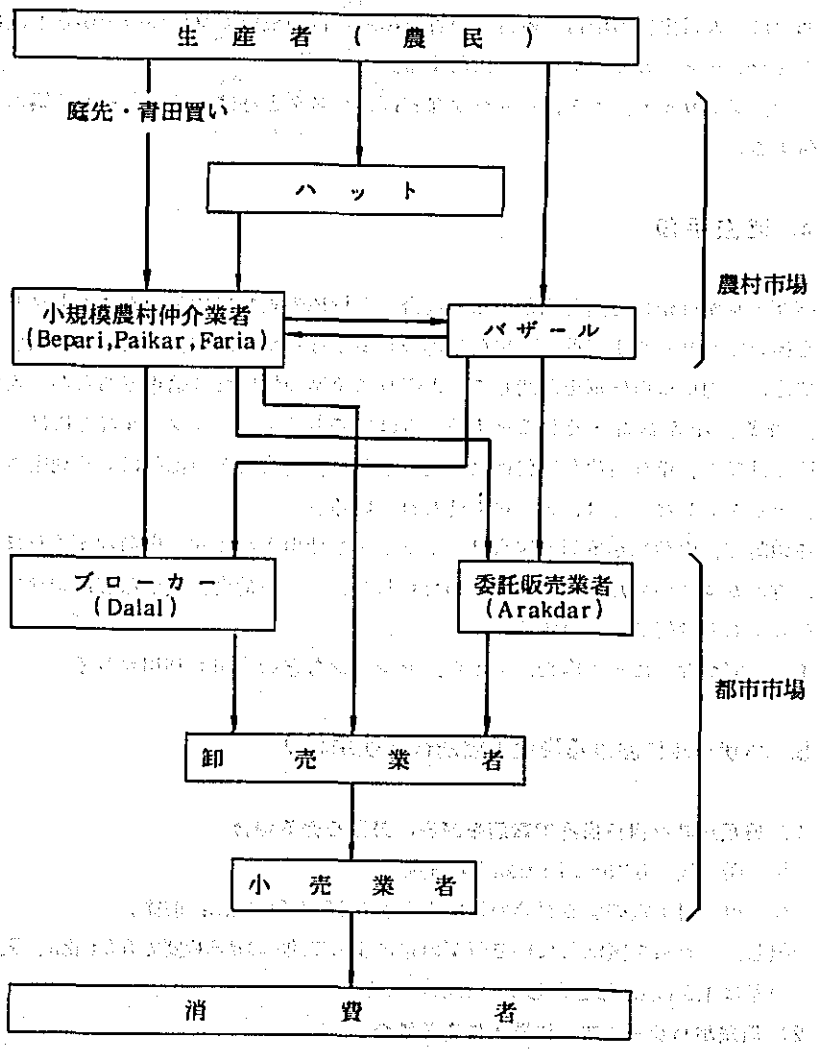
ダラールはみずからの判断による売買は，あまりせず，卸売業者の依頼で商品の買い集めを行なう。

3) 大都市市場

ダッカ，チッタゴン，クルナなどの大都市にある市場で，農村市場，中小都市市場などから大量に商品が集荷され，小さい卸市場で消費者に売られる。

2. 流通機構

流通機構は極めて複雑でいりくんでおり，また地方によっては異なる点も多いが，主な流通経路を示すと以下のとおりである。



3. 収穫物の調整・梱包

農民が畑から収穫してきた野菜は簡単な調整がなされる。たとえば，キャベツは最外葉3～4枚を取除くが，内側の葉2～3枚は結球が傷つくのを防ぐため一緒につけて出荷する。そして，それら外側の長い葉は結球の頭と長さをそろえて先端部分を切り落す。カリフラワーも同様に外葉数枚をつけたまま出荷するが，外葉先端部分は，花蕾の頭にそろえて切落す。ダイコンは，近くの池や川で，泥を洗い落し，日本種などのように葉の長い品種は葉を半分ぐらい切り落して出荷する。

梱包は，大量出荷の場合のみ行ない竹で編んだ目の荒いカゴにつめ上からも同様に竹カゴをかぶせジュートのヒモでくくって出荷する。

また，ジャガイモ，ナス，キャベツなどは，ボスタと呼ばれるジュートで編んだ袋につめて出荷する。

4. 運搬手段

バザールが近距離で出荷物が少量の場合，天秤棒の両端に竹製のカゴ（トクリ）をつけ，それを担いでバザールまで運ぶ。出荷量が少し多くなったり道が広ければ，2頭引きの牛車や力車で運ぶ。力車は自転車を改造して2人座れる座席の付いた3輪車であるが，人はもとより，米，野菜，小家畜などそれこそ乗るものは何でも運ぶ。ジェソールなどには，ちゃんとした座席ではなく，単なる荷台を付けた3輪車もあり，野菜などの出荷に広く利用されている。また，チッタゴンなどでは，大八車も使われている。

遠距離で，出荷物が多量の場合は，トラックが使用されるが，出荷物がそれほど多くない時は，竹のカゴにつめたりボスタにつめたりして，バスの荷台，汽車などに乗せて出荷し，それこそ動くものは何でも利用する。

また，河が近くにある場合，ノオカ，サンパンなどの小舟も利用される。

5. バザールにおける税金（場所代・使用料）

1）農民が時々自分自身で露店を開き，野菜を売る場合

場　所　代：0.25~0.75 taka/日 <注>

使　用　料：販売する野菜の量によるが0.25~2.00 taka 前後。

（但し，これらを区別しないで野菜の量によって頭にのせる程度で0.5 taka，天秤棒でひとかつぎは1.0 taka などとしている所もある）

2）農民がバザールで，仲買人に売る場合

使　用　料：1.00 taka

（農民，仲買人のどちらかが負担すればよい）

3) 農民がバザールで，委託販売人を通して売る場合

使用料と委託販売手数料（売上げ代金の8.5%）を支払わねばならない。

4) バザールに店舗を構える小売人

利　用　代：0.5～1.0 taka /日

場　所　代：月または，年単位で一定額を支払う。

※　野菜以外の物品販売税

穀類，香辛料	1.00～2.00 taka/maund
牛	15.00 taka/頭
水　牛	25.00 taka/頭
山　羊	5.00 taka/頭
鶏	2.00 taka/10羽
家　鴨	2.00 taka/10羽

<註>

1）農村市場におけるハット，バザールにももちろん小・卸売業者が存在し，直接消費者（農民である場合が多い）に販売しているが，これらの農村市場は都市の大市場へ出荷するための集荷場的役割も強く持っている。

2）バザールが開催される場所はほとんど政府の管轄地になっており，政府はこれらの場所の利用権を1～3年ごとに競売に出す。この利用権を買った人のことをイザラダールとかティカダールと呼び，市場を利用する農民，商人，仲買人から利用料をとっている。また，市場に店を構えている人は，1カ月から1年の単位で一定の場所代を納めねばならない。

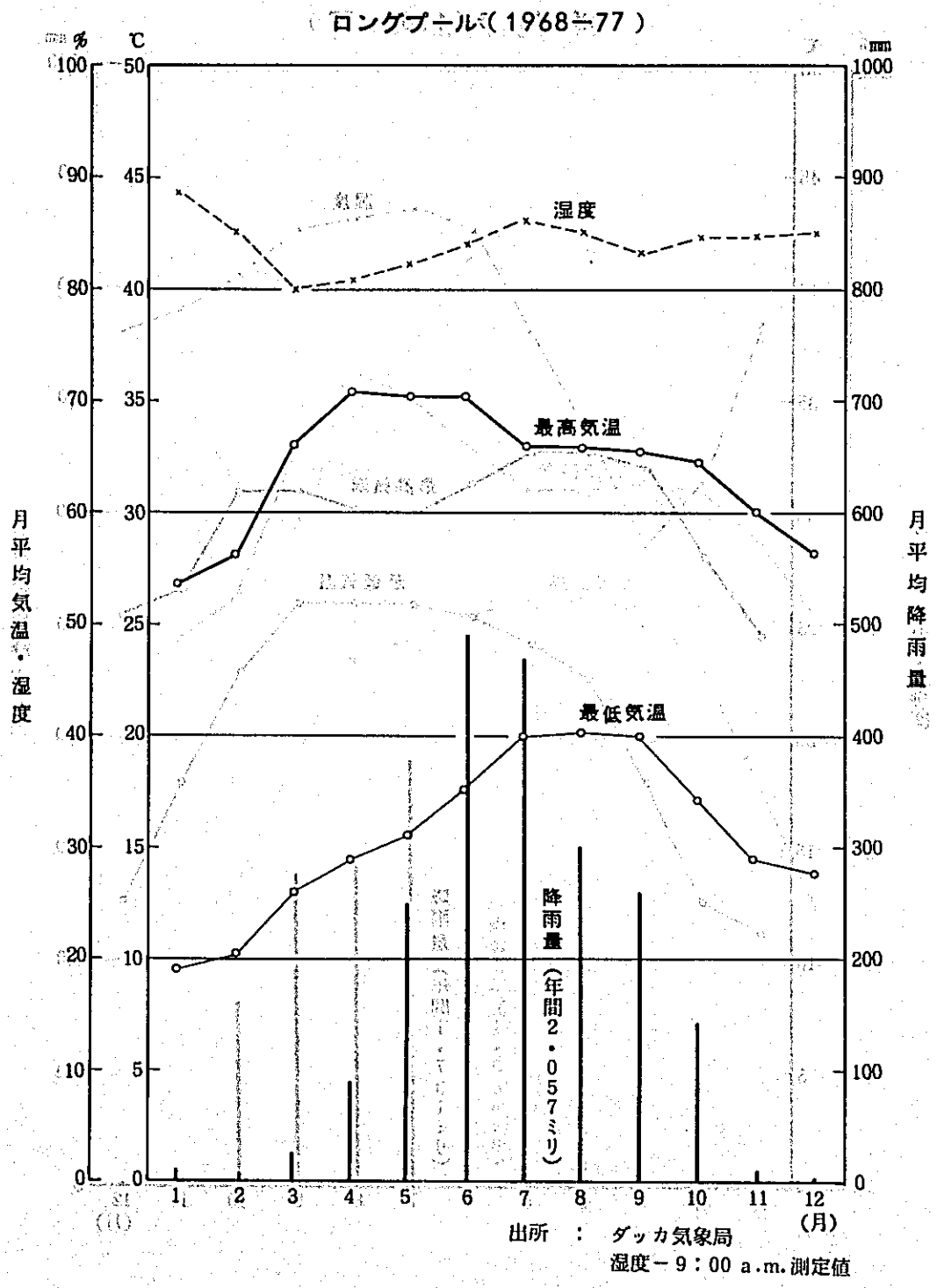
3）農家の庭先又は青田買いされる野菜としてはキャベツ，カリフラワー，ジャガイモ，ダイコンなど，大量に取引されるものである。また庭先又は青田買いされる場合は収穫，運搬いっさいを仲買業者が負担するのが普通である。

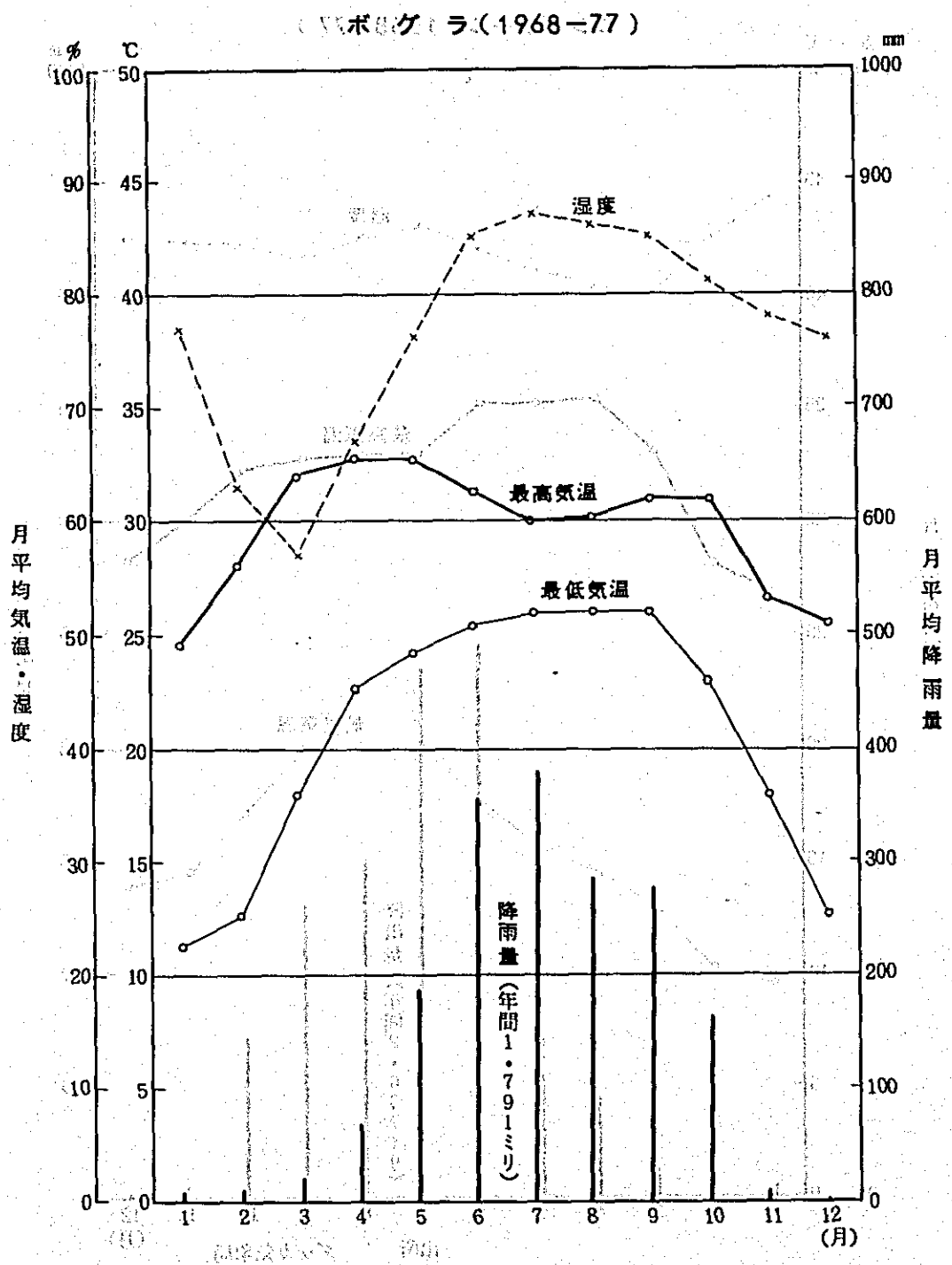
付属資料

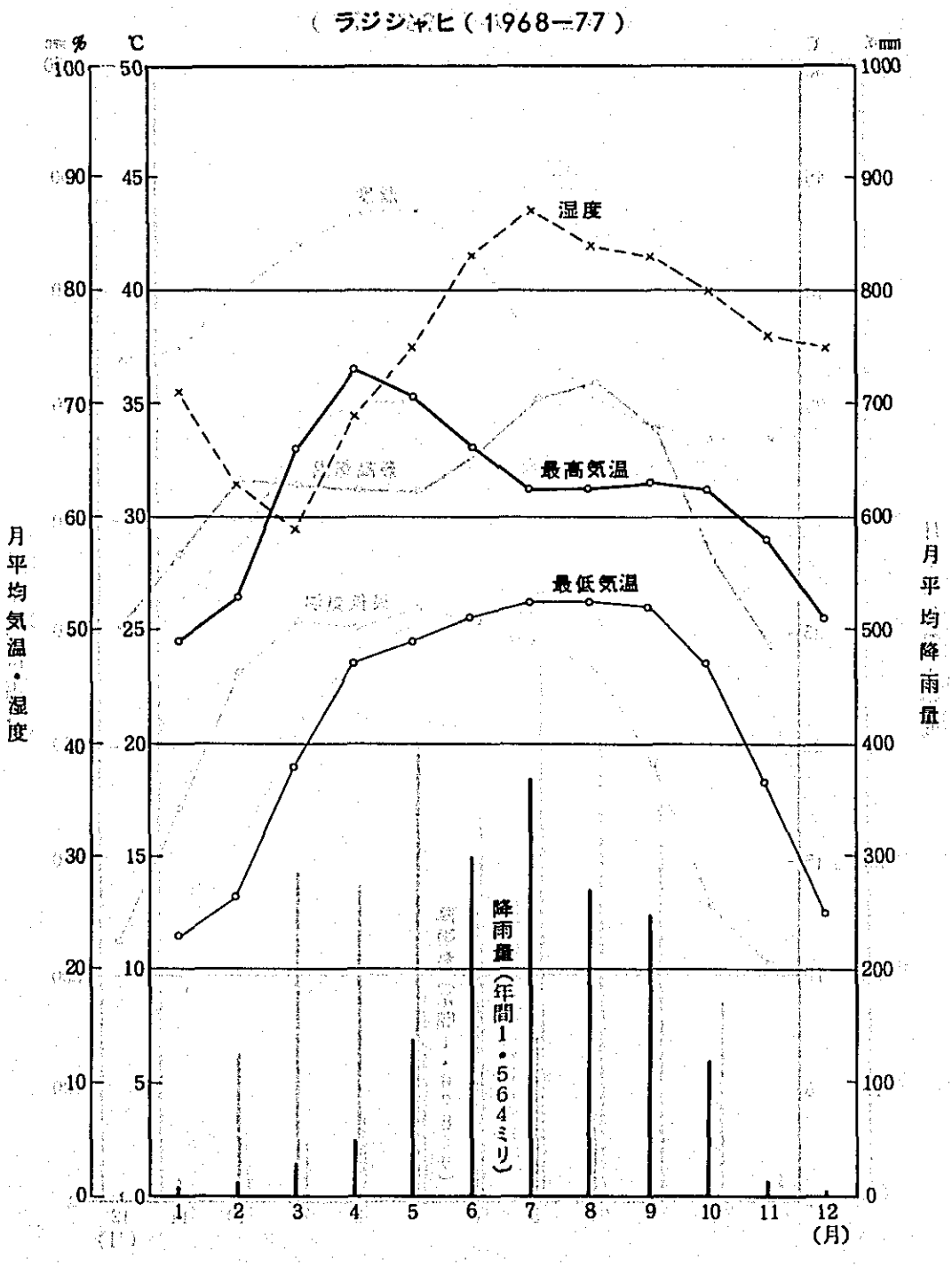
1．県別気象グラフ

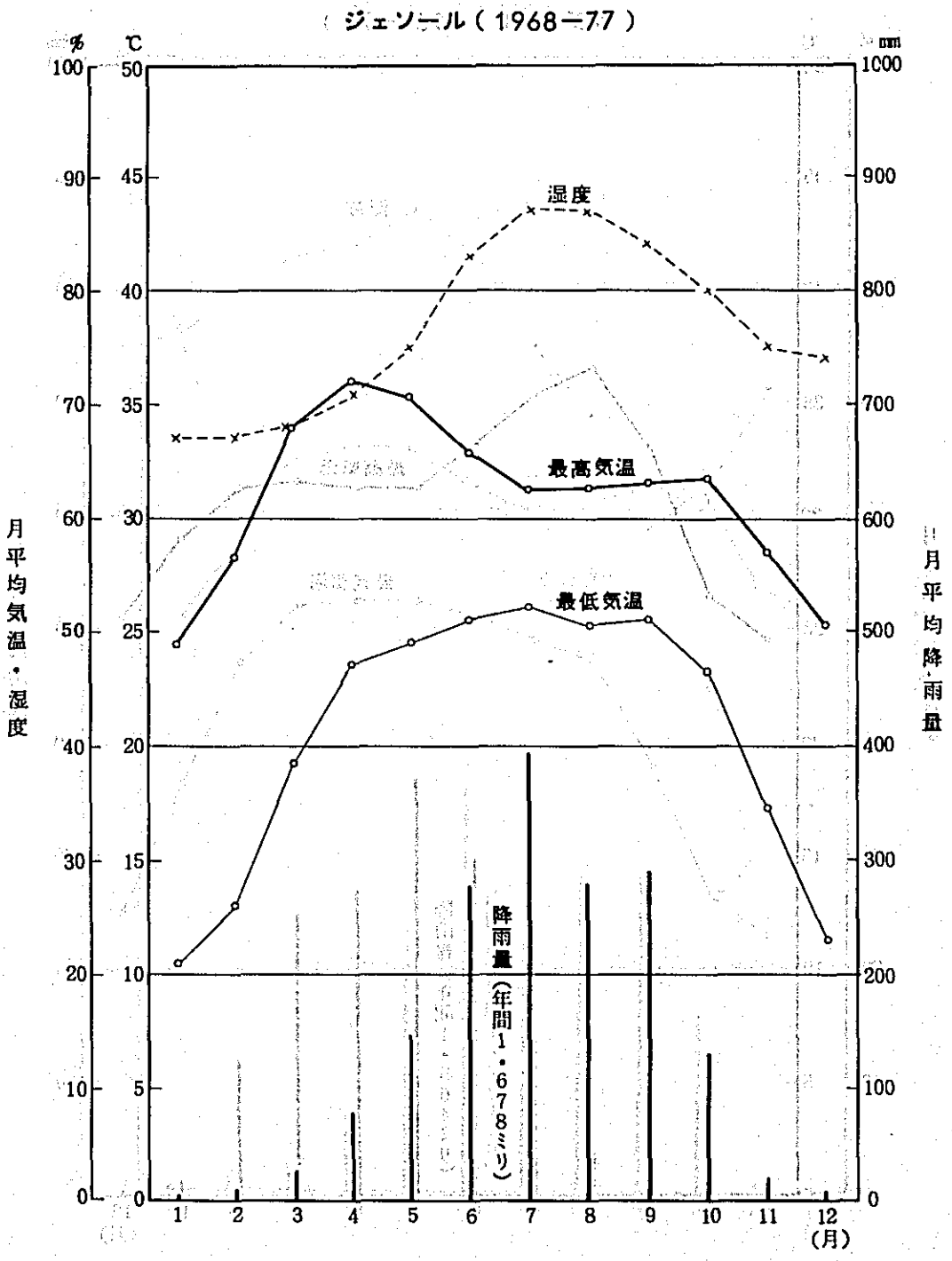
株式関係

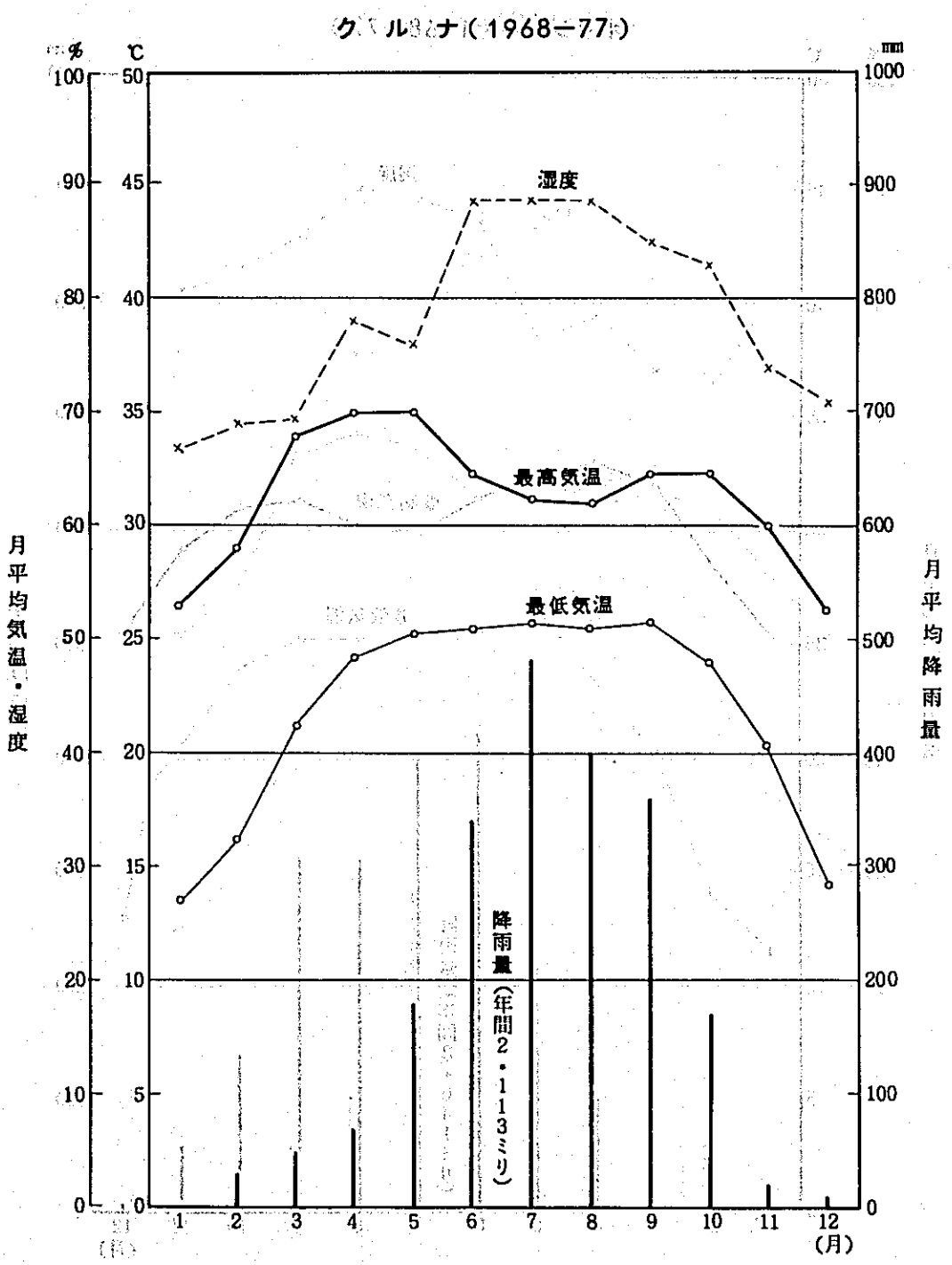
1. 株券に関するテーマ

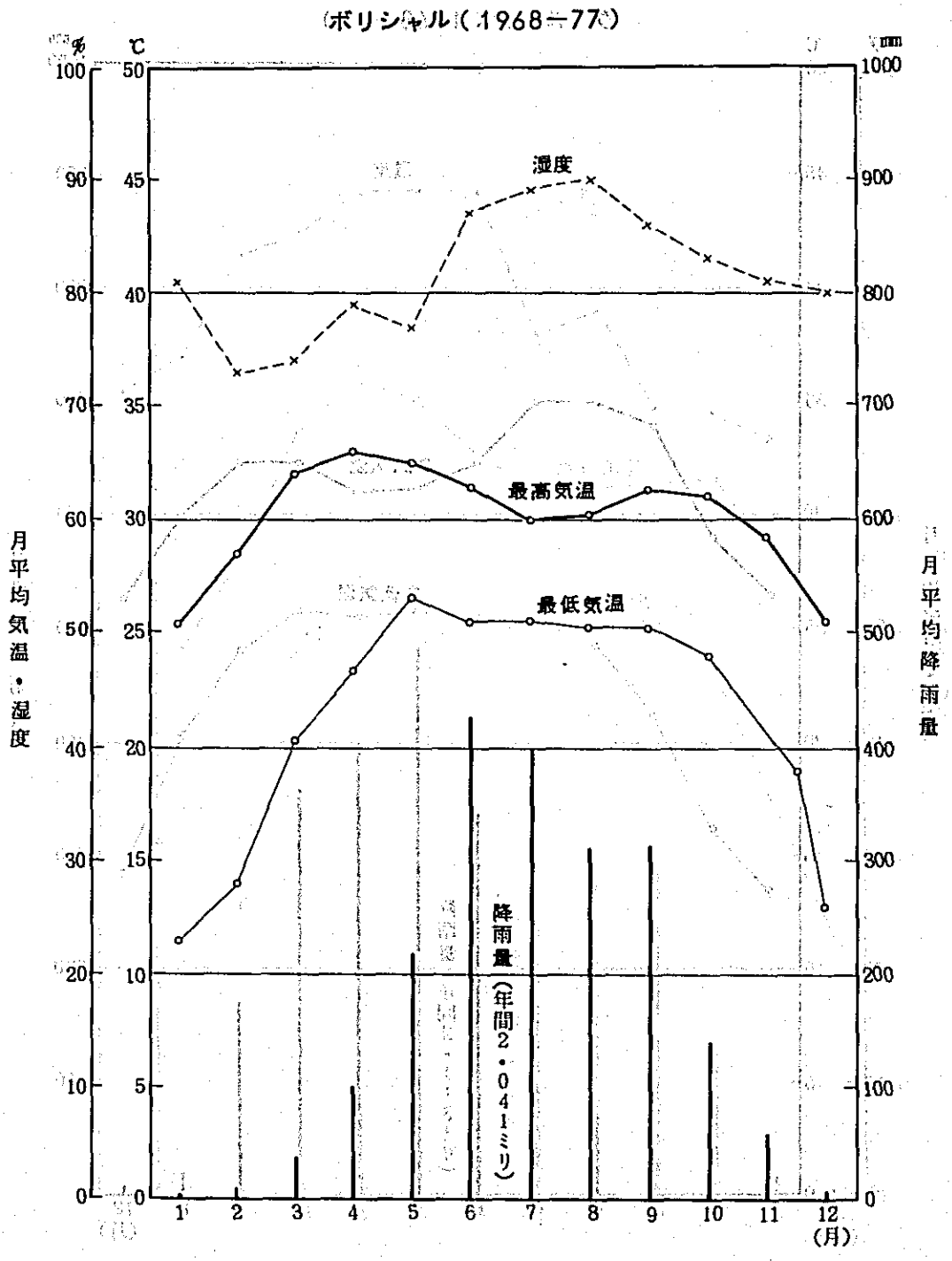

ロングプール（1968〜77）
%
℃
mm
月平均気温・湿度
月平均降雨量
湿度
最高気温
最低気温
降雨量（年間2・057ミリ）
(月)
出所 ： ダッカ気象局
湿度－9：00 a.m.測定値

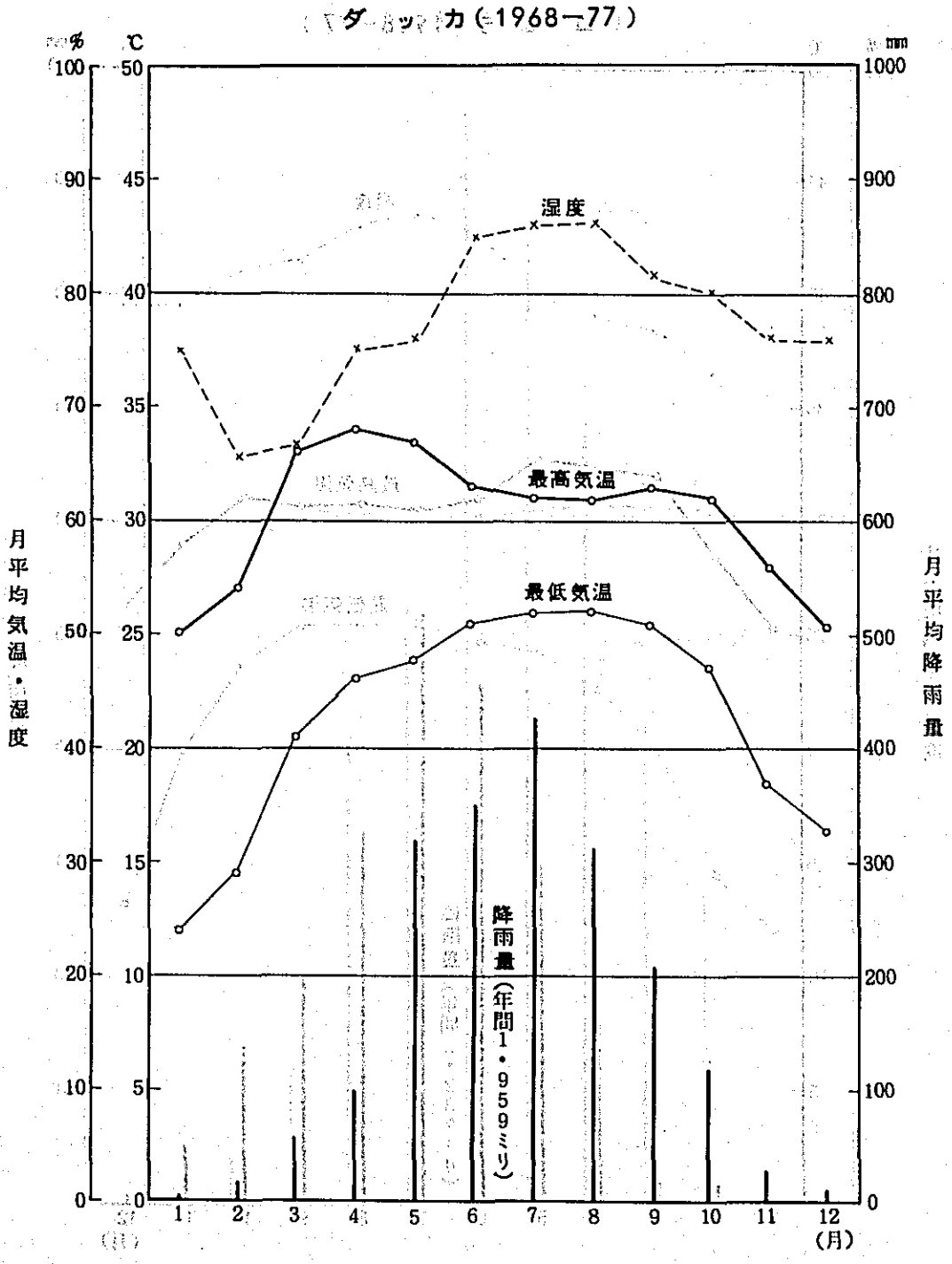

ボゴタ（1968－77）
%
℃
mm
月平均気温・湿度
月平均降雨量
湿度
最高気温
最低気温
降雨量
（年間1・791ミリ）
(月)

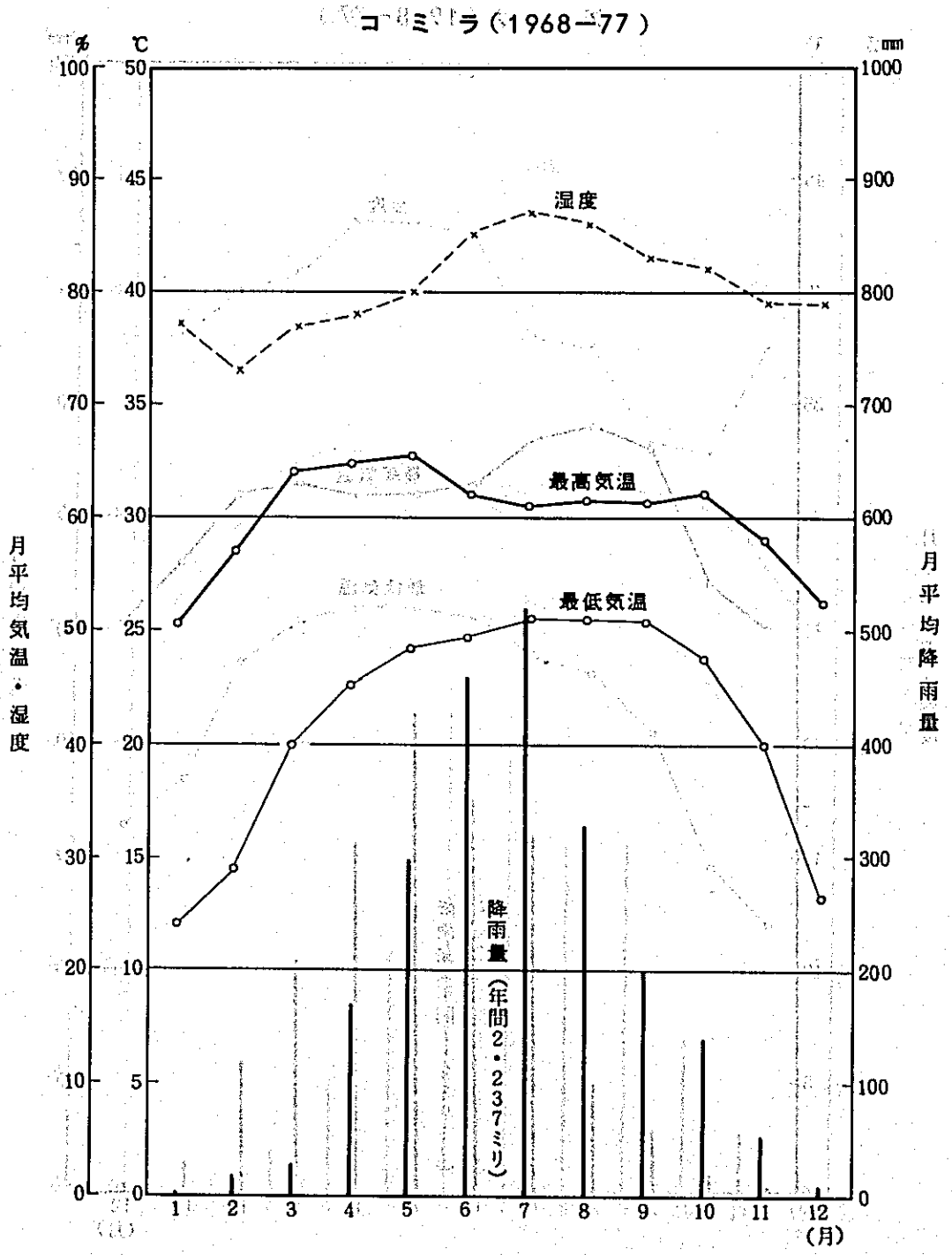

（ラジシャヒ（1968—77）
%
℃
mm
湿度
最高気温
最低気温
降雨量（年間1・564ミリ）
月平均気温・湿度
月平均降雨量
(月)

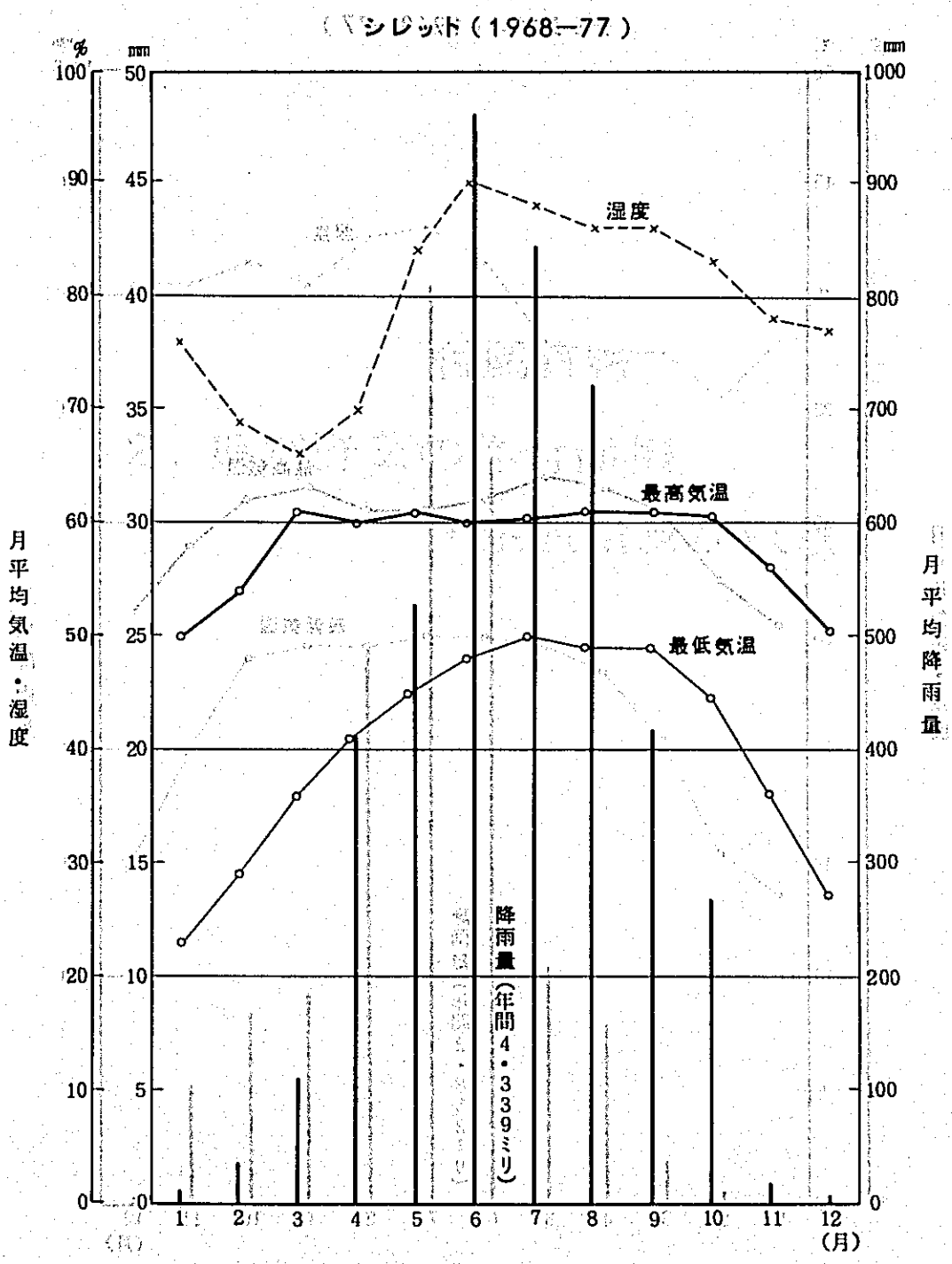

ジェソール（1968－77）
%
℃
mm
月平均気温・湿度
月平均降雨量
湿度
最高気温
最低気温
降雨量（年間1・678ミリ）
(月)

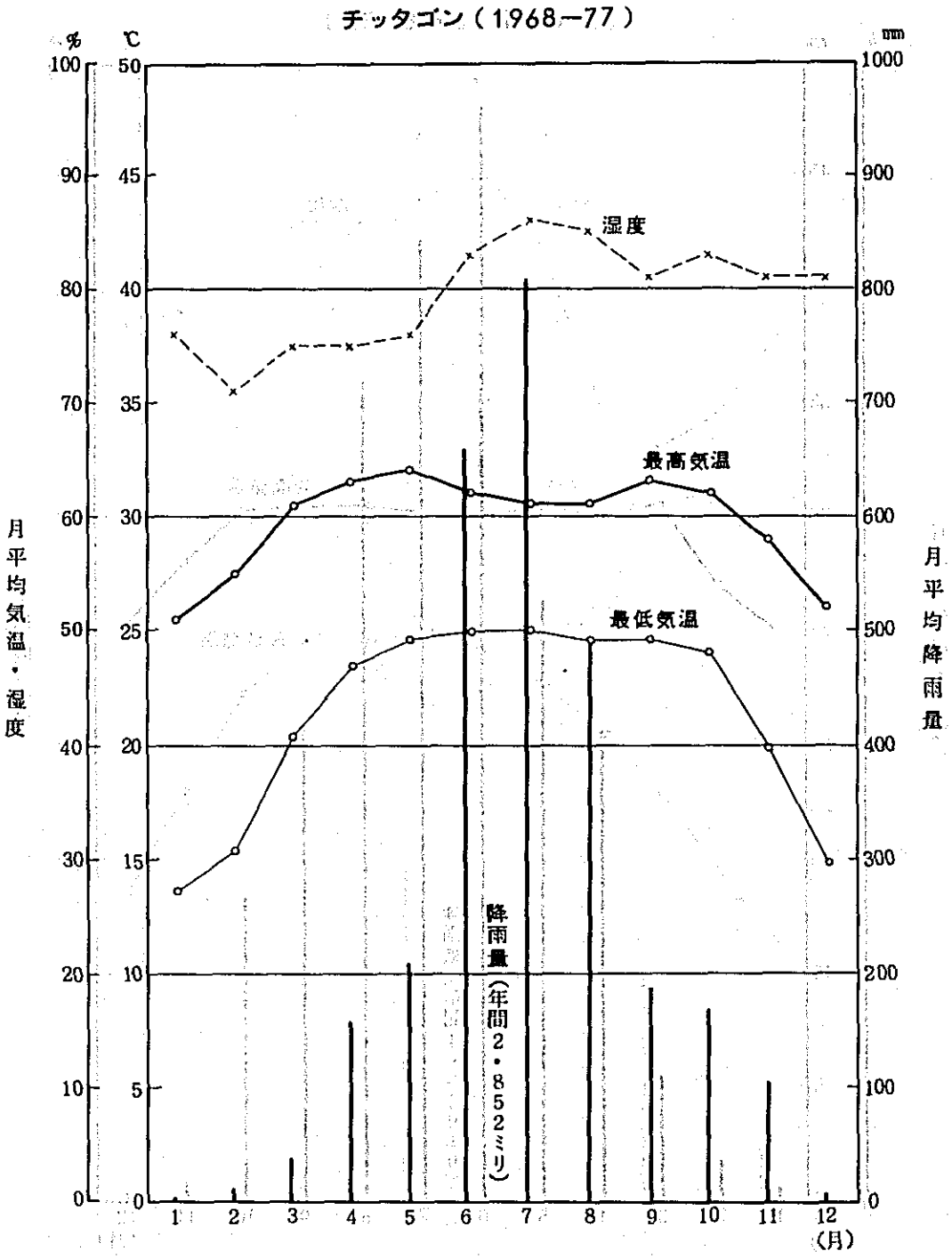

クバルジナ(1968−77)
%
℃
mm
湿度
最高気温
最低気温
降雨量
(年間2・113ミリ)
月平均気温・湿度
月平均降雨量
(月)


ボリシャル（1968－77）
%
℃
mm
湿度
最高気温
最低気温
降雨量（年間2・041ミリ）
月平均気温・湿度
月平均降雨量
(月)


ダッカ（1968—77）
%
℃
mm
湿度
最高気温
最低気温
降雨量（年間1・959ミリ）
月平均気温・湿度
月平均降雨量
(月)


コーミラ（1968—77）
%
℃
mm
湿度
最高気温
最低気温
降雨量
（年間2・237ミリ）
月平均気温・湿度
月平均降雨量
(月)


（ベシレット（1968—77）
%
mm
mm
月平均気温・湿度
月平均降雨量
湿度
最高気温
最低気温
降雨量
（年間4・339ミリ）
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
50
45
40
35
30
25
20
15
10
5
0
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
（月）


チッタゴン（1968−77）
%
℃
mm
湿度
最高気温
最低気温
降雨量（年間2・852ミリ）
月平均気温・湿度
月平均降雨量
(月)

付属資料

２．県別野菜の作付面積
・生産量及び収量

<註>

統計は，冬野菜，夏・雨期野菜の順に並べた。

単位：1 acre = 0.4 ha

1 md (maund) = 37.3 kg

出所：The Year Book of Agricultural Statistics of Bangladesh 1976－77, Bangladesh Bureau of Statistics, August 1978.

ナス（冬作）

Name of the district.	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	1,425	4,245	1,995	4,470	2,015	4,590
Kishoregonj	940	2,450	705	1,425	810	1,640
Mymensingh	3,320	8,295	3,335	8,330	1,475	3,630
* Jamalpur	-	-	-	-	1,800	4,000
Tangail	1,835	4,245	1,855	4,090	2,020	4,080
Faridpur	1,395	2,715	1,500	2,205	1,570	2,145
Chittagong	1,540	3,055	2,980	10,510	2,985	11,750
Ctg. H.T.	930	2,735	955	2,490	965	2,550
Noakhali	1,050	2,355	965	1,880	960	1,835
Comilla	2,370	7,660	2,500	7,620	2,295	6,660
Sylhet	1,515	6,510	1,500	6,610	1,450	6,125
Rajshahi	4,575	15,295	4,400	14,710	4,160	13,105
Dinajpur	2,790	6,660	2,820	6,735	2,830	6,625
Rangpur	3,130	8,625	3,155	8,575	3,200	8,700
Bogra	3,000	8,375	3,100	8,200	3,050	8,290
Pabna	2,900	7,565	3,005	7,840	3,000	7,830
Khulna	1,990	4,900	2,195	6,045	2,215	6,120
Bakergonj	1,935	2,915	1,970	2,965	1,790	2,640
Patuakhali	200	200	200	190	195	165
Jessore	2,985	8,115	3,035	8,920	2,970	8,415
Kushtia	840	2,100	890	2,585	1,025	2,955
Bangladesh:	41,165	109,015	43,060	116,395	42,780	113,850

** Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

トマト

Name of the district.	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	2,000	4,410	2,100	4,705	2,235	5,090
Kishoregonj	220	580	205	375	190	315
Mymensingh	1,445	7,005	1,450	7,030	610	2,915
*Jamalpur	-	-	-	-	825	3,790
Tangail	640	1,340	650	1,315	410	905
Faridpur	450	895	350	515	960	1,450
Chittagong	1,945	3,860	2,295	8,260	2,300	10,030
Chittagong H.T.	325	775	335	790	380	835
Noakhali	780	1,635	765	1,545	750	1,515
Comilla	2,955	10,205	3,120	11,115	3,285	11,410
sylhet	960	3,670	1,200	4,675	1,325	5,600
Rajshahi	1,355	3,980	1,360	4,045	1,425	4,240
dinajpur	820	1,565	865	1,650	910	1,725
Rangpur	750	2,260	760	2,235	800	2,380
Bogra	360	860	450	1,125	470	1,140
Pabna	860	2,150	900	2,280	890	2,255
Khulna	1,565	2,815	1,565	3,390	1,565	3,510
Bakergonj	320	550	335	590	240	400
Patuakhali	125	160	125	145	130	140
Jessore	895	2,595	985	2,895	905	2,525
Kushtia	470	1,245	515	1,420	520	1,530
Bangladesh:	19,240	52,555	20,330	60,100	21,125	63,700

**Jamalpur has been declared separate district with effect from 26.12.1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

キャベツ

Name of the district.	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	1,050	1,545	1,085	2,035	1,115	2,130
Kishoregonj	150	595	175	690	165	625
Mymensingh	645	2,490	630	2,335	445	1,650
*Jamalpur	-	-	-	-	185	680
Tangail	345	825	350	900	355	1,045
Faridpur	575	1,290	500	1,100	685	1,360
Chittagong	950	3,665	965	3,760	970	3,775
Ctg.H.T.	170	625	155	495	150	510
Noakhali	220	590	220	600	180	375
Comilla	335	1,035	330	995	430	1,280
Sylhet	1,180	5,200	1,000	5,510	865	4,765
Rajshahi	1,240	3,735	1,100	3,275	1,250	3,720
Dinajpur	810	1,815	850	1,935	935	2,095
Rangpur	1,440	4,445	1,400	4,165	1,450	4,260
Bogra	460	1,520	540	1,985	600	1,765
Pabna	410	815	425	860	415	825
Khulna	2,275	6,015	2,365	6,775	2,925	8,165
Bakergonj	280	800	295	855	300	770
Patuakhali'	50	110	50	105	50	105
Jessore	960	2,820	1,065	3,715	1,100	3,960
Kushtia	635	2,545	690	2,940	730	3,190
Bangladesh:	14,180	42,480	14,190	45,030	15,300	47,050

**Jamalpur has been declared separate district with effect from 26.12.1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

カリフラワー

Name of the district.	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	1,000	1,470	1,105	1,665	1,155	1,780
Kishoregonj	130	490	155	580	165	530
Mymensingh	735	2,565	710	2,425	440	1,485
* Jamalpur	-	-	-	-	253	875
Tangail	385	920	395	1,015	735	2,025
Faridpur	355	520	300	440	455	695
Chittagong	985	3,545	1,005	3,655	1,010	3,700
Ctg. H.T.	100	255	95	220	95	225
Noakhali	220	615	215	600	180	435
Comilla	625	1,675	515	1,305	535	1,720
Sylhet	850	3,120	750	2,755	545	2,505
Rajshahi	1,055	2,985	985	2,570	995	2,590
Dinajpur	740	1,440	800	1,676	820	1,695
Rangpur	1,100	3,110	1,060	2,960	1,000	2,755
Bogra	555	1,755	685	2,215	690	2,080
Pabna	510	995	535	1,080	,525	1,295
Khulna	2,485	6,115	2,670	7,845	2,850	8,860
Bakerganj	335	690	355	745	350	670
Patuakhali	20	25	30	35	, 30	35
Jessore	1,040	2,750	1,135	3,045	1,190	3,190
Kushtia	545	1,580	595	1,860	655	2,155
Bangladesh:	13,770	36,620	14,095	38,690	14,675	41,300

** Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

カボチャ（冬作）

Name of the district.	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	850	1,250	880	1,360	910	1,435
Kishoregonj	100	285	370	1,305	105	240
Mymensingh	365	1,275	85	190	120	395
*Jamalpur	-	-	-	-	225	745
Tangail	160	470	145	455	230	760
Faridpur.	745	1,725	780	1,890	840	2,050
Chittagong	500	990	775	2,915	775	2,955
Chittagong H.T.	230	805	240	760	235	655
Noakhali	440	970	430	760	455	800
Comilla	1,100	3,355	1,000	3,160	810	2,545
Sylhet	640	2,750	700	3,215	690	3,170
Rajshahi	395	1,190	380	1,115	415	1,215
Dinajpur	550	1,435	560	1,500	590	1,560
Rangpur	830	2,835	835	2,820	840	2,840
Bogra	620	1,915	635	1,915	670	2,115
Pabna	680	1,625	700	1,620	700	1,620
Khulna	315	935	375	1,155	425	1,310
Bakergonj	2,055	5,510	2,075	5,640	2,000	5,155
Patuakhali	190	200	345	810	400	930
Jessore	395	740	455	920	425	860
Kushtia	340	1,050	350	1,220	375	1,240
Bangladesh:	11,500	31,310	12,110	34,725	12,235	34,595

** Jamalpur has been declared separate district with effect from 26.12.1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

ウォーター・ゴード

Name of the district.	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	770	1,030	710	1,070	750	1,155
Kishoregonj	180	550	185	475	295	690
Mymensingh	455	1,920	455	1,920	160	705
*Jamalpur	-	-	-	-	285	1,045
Tangail	205	695	230	760	300	935
Faridpur	760	1,705	900	2,315	880	2,665
Chittagong	395	740	585	2,150	595	2,200
Chittagong H.T.	240	880	245	790	290	885
Noakhali	630	2,895	625	2,410	630	1,965
Comilla	1,095	3,860	1,065	3,600	1,065	3,625
Sylhet	700	3,395	700	3,395	735	3,645
Rajshahi	850	2,685	785	2,420	415	1,215
Dinajpur	310	660	330	740	345	750
Rangpur	630	2,220	630	2,200	650	2,270
Bogra	415	1,190	450	1,255	480	1,410
Pabna	790	1,855	800	1,910	800	1,915
Khulna	530	1,265	635	1,680	675	1,835
Bakergong	2,150	4,580	2,175	4,715	2,095	4,235
Patuakhali	185	395	195	410	210	500
Jessore	345	800	390	930	390	900
Kushtia	455	1,420	1,460	1,455	465	1,535
Bangladesh:	12,020	34,740	12,550	36,600	12,510	36,080

**Jamalpur has been declares separate district with effect from 26.12.1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

ダイコン

Name of the district.	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	1,620	2,915	1,650	3,030	1,680	3,210
Kishoregonj	880	4,396	725	3,490	745	3,445
Mymensingh	1,415	5,250	1,495	5,545	870	3,250
*Jamalpur	-	-	-	-	600	2,255
Tangail	530	1,440	580	1,600	600	1,765
Faridpur	1,440	4,126	1,500	3,965	1,595	4,575
Chittagong	2,360	7,889	2,380	8,045	2,385	8,235
Chittagong H.T.	495	1,327	730	2,145	760	2,040
Noakhali	1,760	4,849	1,810	5,055	1,830	5,095
Comilla	3,435	9,211	3,415	9,160	3,475	11,235
Sylhet	3,800	18,147	3,620	16,620	3,475	17,235
Rajshahi	1,990	6,725	1,980	6,180	2,000	6,360
Dinajpur	1,120	2,592	1,210	2,845	1,225	2,875
Rangpur	1,110	3,344	1,140	3,475	1,450	4,475
Bogra	765	2,332	800	2,500	1,040	3,285
Pabna	1,930	5,459	1,920	5,290	2,000	5,575
Khulna	730	1,716	790	1,855	925	2,445
Bakergonj	1,750	4,436	1,775	4,565	1,800	4,665
Patuakhali	295	466	305	495	340	550
Jessore	1,000	1,947	1,640	3,375	11,630	3,355
Kushtia	650	2,149	490	1,530	530	1,750
Bangladesh:	29,075	90,716	29,955	90,765	30,955	97,675

**Jamalpur has been declared separate district with effect from 26.12.1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

フダンソウ

Name of the district	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	320	190	280	185	295	215
Kishoregonj	40	65	60	95	60	70
Mymensingh	205	240	210	215	105	80
*Jamalpur	-	-	-	-	100	105
Tangail	90	110	95	105	100	110
Faridpur	380	420	300	275	485	605
Chittagong	670	1,725	695	1,815	700	1,825
Chittagong H.T.	60	25	50	20	55	20
Noakhali	85	145	85	150	70	105
Comilla	180	300	170	280	170	250
Sylhet	155	170	150	165	155	180
Rajshahi	745	1,890	620	1,550	625	1,550
Dinajpur	140	320	195	450	200	455
Rangpur	340	285	320	270	375	315
Bogra	120	210	105	180	175	295
Pabna	230	365	240	390	250	400
Khulna	270	615	345	810	450	1,080
Bakerganj	475	890	485	925	400	760
Patuakhali	40	35	45	40	50	40
Jessore	215	410	215	410	220	430
Kushtia	435	975	470	1,090	505	1,200
Bangladesh:	5,195	9,385	5,135	9,420	5,545	10,090

** Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-78. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

豆類

Name of the district	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	1,000	1,100	1,015	1,115	1,025	1,205
Kishoregonj	105	80	440	775	135	75
Mymensingh	435	750	120	75	200	330
*Jamalpur	-	-	-	-	185	270
Tangail	260	380	265	440	220	325
Faridpur	385	525	415	795	470	820
Chittagong	780	1,405	1,495	5,435	1,500	5,455
Chittagong H.T.	295	250	305	360	305	290
Noakhali	885	1,430	895	1,380	885	1,300
Comilla	2,085	3,600	1,975	3,335	1,910	3,240
Sylhet	2,040	6,820	1,900	5,935	1,925	6,010
Rajshahi	630	1,410	680	1,500	635	1,395
Dinajpur	545	660	580	705	532	625
Rangpur	570	1,380	570	1,360	595	1,395
Bogra	210	440	215	420	260	545
Pabna	410	845	425	905	430	920
Khulna	320	600	365	735	400	830
Bakerganj	170	125	195	150	200	150
Patuakhali	165	115	165	110	155	100
Jessore	710	755	735	810	710	755
Kushtia	210	330	225	365	240	440
Bangladesh:	12,210	23,000	12,980	26,745	12,897	26,475

** Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

その他の冬野菜

Name of the district	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	1,250	2,205	1,315	2,365	1,350	2,480
Kishoregonj	330	340	280	300	275	265
Mymensingh	1,180	1,995	1,180	2,035	500	790
*Jamalpur	-	-	-	-	615	970
Tangail	210	240	170	170	1,050	1,735
Faridpur	1,50	1,860	1,175	1,940	1,345	2,225
Chittagong	1,105	1,260	2,100	4,550	2,105	4,680
Chittagong H.T.	330	535	290	470	295	455
Noakhali	430	855	400	780	395	725
Comilla	1,290	1,515	910	970	750	950
Sylhet	1,090	3,245	1,200	5,510	1,500	6,890
Rajshahi	1,045	2,190	1,030	2,195	1,040	2,205
Dinajpur	1,685	3,095	1,695	3,115	1,695	3,105
Rangpur	690	2,435	700	2,445	865	2,985
Bogra	770	1,445	510	935	465	805
Pabna	1,590	2,335	1,745	2,565	1,800	2,670
Khulna	125	255	290	745	300	765
Bakerganj	4,705	8,990	4,735	9,220	3,735	6,860
Patuakhali	190	170	280	320	300	345
Jessore	730	805	805	945	710	780
Kushtia	415	1,005	425	1,045	460	1,235
Bangladesh:	20,310	36,775	21,235	42,620	21,550	43,920

**Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

ナス（夏作）

Name of the district	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	1,235	2,315	1,200	2,335	1,465	3,015
Kishoregonj	610	1,545	515	1,155	485	1,115
Mymensingh	300	725	295	695	295	695
Tangail	805	1,745	870	1,820	905	1,995
Faridpur	1,195	2,765	1,240	2,825	1,355	3,255
Chittagong	540	1,645	550	1,675	550	1,690
Chittagong H.T.	305	480	310	500	320	515
Noakhali	140	260	140	210	140	210
Comilla	480	1,145	540	1,390	530	1,305
Sylhet	660	2,035	640	1,880	600	1,875
Rajshahi	2,235	6,895	2,055	5,825	2,080	5,885
Dinajpur	1,875	4,755	1,920	4,865	1,965	4,750
Rangpur	2,780	7,045	2,800	7,200	2,825	7,370
Bogra	1,570	4,035	1,585	1,985	1,660	4,145
Pabna	700	1,875	750	1,985	770	2,095
Khulna	1,065	3,285	1,080	3,295	1,580	4,295
Bakerganj	1,205	3,010	1,405	3,615	1,295	3,050
Patuakhali	65	65	60	55	70	60
Jessore	2,500	8,540	2,460	8,585	2,345	8,095
Kushtia	1,545	4,710	1,660	5,425	1,845	5,925
Bangladesh:	21,810	58,875	22,075	59,515	23,080	61,340

カボチャ（夏作）

Name of the district.	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	400	880	380	880	395	930
Kishoregonj	430	965	380	810	300	580
Mymensingh	220	470	235	490	215	450
Tangail	190	350	165	275	170	435
Faridpur	230	490	395	885	465	1,070
Chittagong	255	805	275	880	275	880
Ctg. H.T.	260	670	310	795	290	745
Noakhali	105	235	115	260	95	230
Comilla	385	780	285	575	285	540
Sylhet	600	1,805	600	1,875	605	1,935
Rajshahi	745	2,160	745	2,080	700	1,775
Dinajpur	605	1,665	630	1,760	650	1,860
Rangpur	720	2,010	750	2,065	770	2,120
Bogra	620	1,685	600	1,545	560	1,645
Pabna	300	905	380	1,130	400	1,205
Khulna	300	905	265	760	320	1,010
Bakergonj	1,585	3,670	1,620	3,870	1,635	3,970
Patuakhali	65	105	70	125	70	125
Jessore	125	195	145	235	140	230
Kushtia	410	1,025	480	1,375	515	1,570
Bangladesh:	8,550	21,775	8,825	22,670	8,855	23,305

トウガン

Name of the district	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	150	385	140	385	255	665
Kishoregonj	150	385	115	270	115	260
Mymensingh	60	185	75	235	80	250
Tangail	120	285	130	285	165	395
Faridpur	360	780	390	845	440	920
Chittagong	260	820	265	845	275	885
Chittagong H.T.	130	430	135	420	130	380
Noakhali	140	310	140	300	155	330
Comilla	155	425	190	570	185	620
Sylhet	270	870	275	890	300	990
Rajshahi	500	1,525	505	1,485	595	1,730
Dinajpur	420	955	465	1,075	485	1,080
Rangpur	745	2,545	755	2,605	770	2,670
Bogra	450	1,225	410	1,085	400	1,035
Pabna	420	1,020	430	1,105	445	1,090
Khulna	115	335	145	405	175	490
Bakerganj	1,080	2,775	920	2,400	855	2,140
Patuakhali	85	200	75	170	95	215
Jessore	150	340	155	360	150	340
Kushtia	285	840	305	735	320	870
Bangladesh:	6,045	16,635	6,020	16,530	6,390	17,355

キ ュ ウ リ

Name of the district	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	340	410	330	425	450	560
Kishoregonj	150	380	110	255	100	210
Mymensingh	250	415	235	380	225	365
Tangail	125	140	140	155	130	165
Faridpur	300	275	335	320	380	370
Chittagong	340	975	350	1,015	350	1,020
Chittagong H.T.	255	420	265	440	265	465
Noakhali	160	300	170	325	175	335
Comilla	335	675	280	575	235	430
Sylhet	265	780	270	795	250	735
Rajshahi	405	980	400	940	455	1,065
Dinajpur	570	965	595	1,005	605	1,005
Rangpur	595	1,705	600	1,720	605	1,710
Bogra	315	685	300	605	230	475
Pabna	390	990	400	1,030	430	1,155
Khulna	225	530	245	575	250	585
Bakerganj	180	385	120	235	115	205
Patuakhali	155	305	120	215	145	290
Jessore	145	290	150	305	135	270
Kushtia	310	650	340	700	345	765
Bangladesh:	5,810	12,255	5,755	12,015	5,875	12,180

リトカドヘチマ

Name of the district	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	270	395	260	410	275	445
Kishoregonj	135	275	155	340	130	240
Mymensingh	145	170	150	170	150	170
Tangail	100	150	105	155	110	160
Faridpur	240	220	290	275	340	330
Chittagong	270	795	275	810	280	830
Chittagong H.T.	315	450	380	570	380	560
Noakhali	195	235	205	265	205	265
Comilla	345	720	380	865	335	680
Sylhet	400	840	385	805	395	870
Rajshahi	675	1,490	750	1,490	800	1,505
Dinajpur	530	605	590	670	600	660
Rangpur	670	1,995	650	1,910	715	2,150
Bogra	245	380	220	350	230	405
Pabna	365	685	405	835	470	905
Khulna	350	850	360	860	360	925
Bakerganj	560	1,130	615	1,150	635	1,195
Patuakhali	115	165	100	120	105	125
Jessore	270	435	320	530	310	510
Kushtia	370	940	435	1,105	445	980
Bangladesh:	6,565	12,925	7,030	13,685	7,270	13,910

ニ ガ ウ リ

Name of the district	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acrea)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	540	910	535	925	555	980
Kishoregonj	960	120	80	170	80	145
Mymensingh	240	370	245	380	240	370
Tangail	125	195	120	175	125	185
Faridpur	205	235	245	295	300	350
Chittagong	305	850	320	905	315	890
Chittagong H.T.	255	375	295	425	300	420
Noakhali	115	175	115	175	105	150
Comilla	185	385	175	375	185	365
Sylhet	135	250	135	250	125	230
Rajshahi	565	1,265	625	1,310	635	1,275
Dinajpur	625	940	695	1,045	700	990
Rangpur	940	1,865	900	1,785	975	1,970
Bogra	545	1,060	550	1,050	530	975
Pabna	625	1,175	595	1,355	560	1,215
Khulna	385	1,005	390	990	380	975
Bakerganj	690	1,505	685	1,435	725	1,555
Patuakhali	100	145	90	105	95	110
Jessore	330	520	335	530	340	535
Kushtia	205	450	245	595	270	655
Bangladesh:	7,175	13,795	7,375	14,275	7,540	14,340

Name of the district.	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	185	185	170	210	240	245
Kishoregonj	90	205	75	160	90	190
Mymensingh	105	155	110	155	75	105
*Jamalpur	-	-	-	-	30	50
Tangail	45	75	25	75	30	80
Faridpur	170	175	180	190	205	220
Chittagong	330	995	345	1,065	340	1,065
Ctg. H.T.	180	270	200	295	200	285
Noakhali	180	345	170	320	180	335
comilla	145	285	165	345	175	405
Sylhet	230	490	240	530	250	550
Rajshahi	215	380	260	460	245	400
Dinajpur	295	370	270	300	270	300
Rangpur	495	1,475	500	1,490	530	1,555
Bogra	50	755	40	60	45	70
Pabna	270	425	295	500	300	495
Khulna	280	730	325	825	350	925
Bakerganj	1,110	2,730	870	1,980	750	1,655
Patuakhali	125	230	115	190	115	180
Jessore	120	175	135	200	120	175
Kushtia	190	410	210	455	215	535
Bangladesh:	4,810	10,860	4,700	9,805	4,765	9,820

**Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

ヤサイカラスウリ

Name of the district.	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	70	110	65	105	115	180
Kishoregonj	20	65	15	40	20	45
Mymensingh	50	75	45	65	40	55
Tangail	70	85	90	105	100	110
Faridpur	430	775	480	880	545	1,205
Chittagong	75	185	80	200	80	200
Ctg. H.T.	5	7	5	5	5	5
Noakhali	5	10	-	-	-	-
Comilla	-	-	-	-	-	-
Sylhet	65	130	65	125	25	35
Rajshahi	870	2,555	920	2,600	1,040	2,945
Dinajpur	550	890	560	905	580	885
Rangpur	1,184	4,225	1,200	4,320	1,220	4,345
Bogra	665	1,880	650	1,815	750	1,985
Pabna	730	1,690	765	1,800	775	1,875
Khulna	255	770	255	730	300	860
Bakergonj	35	45	40	50	25	30
Patuakhali	-	-	-	-	-	-
Jessore	500	1,030	525	1,080	475	940
Kushtia	825	2,305	860	2,495	900	2,550
Bangladesh:	6,405	16,832	6,620	17,320	6,995	18,250

サ　サ　ゲ

Name of the district	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	190	56	170	225	180	245
Kishoregonj	15	7	15	25	25	45
Mymensingh	95	7	50	22	45	20
*Jamalpur	-	-	40	18	35	15
Tangail	30	6	25	15	20	10
Faridpur	60	13	65	55	85	105
Chittagong	770	297	780	1,660	765	1,660
Chittagong H.T.	880	356	660	1,090	625	940
Noakhali	90	20	80	60	75	60
Comilla	60	10	50	50	55	55
Sylhet	140	41	140	180	150	210
Rajshahi	-	-	100	105	100	90
Dinajpur	750	154	770	455	785	425
Rangpur	300	75	350	645	365	670
Bogra	60	23	65	130	75	130
Pabna	20	5	35	45	50	65
Khulna	175	42	255	560	280	600
Bakerganj	-	-	50	55	50	55
Patuakhali	-	-	65	25	70	30
Jessore	130	39	145	125	120	95
Kushtia	35	6	105	120	110	135
Bangladesh:	3,800	1,167	4,015	5,665	4,065	5,660

**Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

オ ク ラ

Name of the district.	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	250	110	240	160	240	160
Kisoregonj	100	130	105	145	100	135
Mymensingh	95	100	90	90	85	85
Tangail	85	95	90	110	95	120
Faridpur	300	310	330	365	370	450
Chittagong	340	810	355	850	360	860
Chittagong H.T.	340	360	345	340	360	345
Noakhali	155	160	160	170	150	155
Comilla	180	290	180	300	170	265
Sylhet	235	355	230	345	235	390
Rajshahi	305	380	295	345	215	235
Dinajpur	400	380	430	425	455	445
Rangpur	485	960	480	910	450	825
Bogra	115	85	130	110	140	135
Pabna	240	315	235	330	250	345
Khulna	225	545	255	560	285	540
Bakerganj	570	940	585	990	610	1,055
Patuakhali	50	35	50	40	55	40
Jessore	155	230	195	285	180	265
Kushtia	305	650	350	745	365	750
Bangladesh:	4,930	7,240	5,130	7,620	5,170	7,600

ハゲイトウ

Name of the district.	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	120	185	110	180	180	285
Kishoregonj	250	420	230	345	240	360
Mymensingh	310	795	310	750	170	425
*Jamalpur	-	-	-	-	145	355
Tangail	45	130	55	160	65	125
Faridpur	260	305	265	320	275	375
Chittagong	40	85	45	95	45	95
Ctg. H.T.	70	115	80	135	90	145
Noakhali	155	260	140	250	265	475
Comilla	185	305	250	440	320	610
Sylhet	200	420	270	595	375	895
Rajshahi	715	1,680	550	1,295	470	1,040
Dinajpur	400	470	460	590	480	600
Rangpur	350	630	340	610	385	680
Bogra	540	1,270	550	1,315	495	1,165
Pabna	445	1,160	470	1,210	500	1,325
Khulna	110	180	135	230	215	425
Bakerganj	65	100	50	70	35	40
Patuakhali	70	40	80	45	95	50
Jessore	215	435	235	475	230	465
Kushtia	275	595	350	785	375	945
Bangladesh:	4,820	9,580	4,975	9,895	5,450	10,880

**Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

ツルムラサキ

Name of the district.	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	100	105	90	100	165	195
Kishoregonj	20	45	15	30	25	50
Mymensingh	35	95	40	100	25	65
* Jamalpur	-	-	-	-	15	40
Tangail	80	120	5	15	10	35
Faridpur	130	155	140	165	160	195
Chittagong	145	355	155	380	160	395
Ctg. H.T.	70	95	75	90	90	110
Noakhali	80	110	75	110	85	125
Comilla	50	70	70	115	70	110
Sylhet	50	85	50	140	65	185
Rajshahi	355	860	320	775	305	705
Dinajpur	275	295	335	335	340	355
Rangpur	245	285	250	395	255	410
Bogra	65	95	60	90	70	100
Pabna	170	300	210	370	195	335
Khulna	365	950	405	1,055	395	1,060
Bakerganj	360	435	250	265	195	185
Patuakhali	90	65	65	60	70	60
Jessore	180	370	190	390	175	355
Kushtia	350	990	400	1,115	415	1,210
Bangladesh:	3,295	5,980	3,200	6,115	3,285	6,260

**Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

サツマイモ

Name of the district	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	11,200	53,485	11,800	58,520	11,830	60,840
Kishoregonj	13,050	65,675	13,000	66,855	13,020	61,220
Mymensingh	19,875	113,165	19,570	111,430	7,140	40,655
*Jamalpur	-	-	-	-	12,540	71,400
Tangail	9,380	27,810	9,430	29,445	7,555	22,205
Faridpur	7,605	27,935	10,000	40,410	10,110	40,485
Chittagong	5,475	29,165	5,485	29,420	5,490	29,445
Ctg. H.T.	2,220	8,565	2,210	8,445	2,185	7,945
Noakhali	14,880	65,595	14,850	60,550	15,495	64,890
Comilla	26,550	105,335	26,910	102,805	24,870	98,670
Sylhet	6,060	37,845	6,200	39,855	6,100	39,215
Rajshahi	4,485	17,105	4,150	15,550	4,200	15,585
Dinajpur	3,160	11,145	3,870	14,215	3,360	10,860
Rangpur	6,165	26,270	6,000	24,905	10,250	43,300
Bogra	4,195	12,480	4,300	14,060	4,430	13,995
Pabna	7,560	32,770	6,300	26,615	6,850	28,685
Khulna	1,770	7,345	1,815	8,200	2,235	10,590
Bakerganj	20,530	82,960	21,085	89,075	21,230	90,470
Patuakhali	8,065	12,145	8,090	22,585	8,840	24,680
Jessore	1,200	3,790	1,255	3,920	1,210	3,645
Kushtia	1,055	2,945	1,195	3,600	1,200	3,615
Bangladesh:	174,430	743,630	177,515	770,460	180,140	782,395

** Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

ジャガイモ

Name of the district	1976-77 Area (acres)	1976-77 Production (tons)	1977-78 Area (acres)	1977-78 Production (tons)	1978-79 Area (acres)	1978-79 Production (tons)
Dacca	37,135	218,920	42,100	253,945	44,215	252,570
Kishoregonj	10,345	37,445	11,425	40,010	11,655	35,640
Mymensingh	10,505	26,220	12,970	30,335	8,840	20,335
*Jamalpur	-	-	-	-	4,030	10,050
Tangail	3,535	9,070	4,615	12,345	6,730	17,810
Faridpur	1,365	5,030	1,350	4,605	1,340	4,380
Chittagong	5,935	31,665	7,100	37,845	7,065	37,780
Ctg. H.T.	1,045	2,950	1,095	2,945	1,100	2,895
Noakhali	1,095	3,165	1,285	3,780	1,385	4,000
Comilla	22,250	87,015	25,800	104,985	28,215	118,280
Sylhet	11,270	57,110	10,170	53,550	9,220	50,340
Rajshahi	17,775	43,770	21,130	52,330	21,380	52,110
Dinajpur	15,945	41,330	19,830	50,590	22,700	58,495
Rangpur	18,485	60,520	23,400	80,555	26,300	93,510
Bogra	20,520	54,805	22,285	64,935	25,310	72,640
Pabna	4,150	8,705	5,500	11,975	6,400	14,370
Khulna	4,440	16,295	4,655	16,620	5,260	20,465
Bakerganj	2,015	7,060	3,130	11,250	3,240	11,580
Patuakhali	90	205	90	205	105	250
Jessore	2,210	7,930	2,785	10,515	2,845	10,835
Kushtia	1,090	4,510	1,455	6,090	1,555	6,620
Bangladesh:	191,200	723,720	222,470	849,410	238,890	894,955

** Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

その他の夏野菜

Name of the district.	1976-77		1977-78		1978-79	
	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)	Area (acres)	Production (tons)
Dacca	90	140	80	135	130	205
Kishoregonj	40	105	35	85	40	85
Mymensingh	320	530	295	475	145	230
*Jamalpur	-	-	-	-	155	255
Tangail	35	45	10	15	15	20
Faridpur	120	115	135	135	165	165
Chittagong	355	860	375	925	340	945
Ctg. H.T.	215	276	190	280	195	285
Noakhali	165	260	150	200	155	205
Comilla	85	180	85	180	75	160
Sylhet	395	1,015	375	895	390	1,075
Rajshahi	390	960	160	370	150	330
Dinajpur	750	635	890	785	935	750
Rangpur	305	540	315	555	340	610
Bogra	60	100	50	85	50	75
Pabna	240	380	270	455	290	480
Khulna	260	620	220	510	230	535
Bakergonj	2,455	4,150	2,225	3,350	2,160	3,030
Patuakhali	105	65	115	75	120	85
Jessore	265	485	265	440	250	395
Kushtia	180	395	110	265	110	235
Bangladesh:	6,830	11,850	6,350	10,215	6,480	10,155

**Jamalpur has been declared separate district with effect from 26-12-1978. Prior to this, it was a part of Mymensingh district.*

付属資料

3．ベンガル季節名と月名

ベンガル季節名

Grissho	(Summer)	4月中旬－6月中旬
Borsha	(Rain)	6月中旬－8月中旬
Sarat	(Autumn)	8月中旬－10月中旬
Hemont	(Late Autumn)	10月中旬－12月中旬
Sheet	(Winter)	12月中旬－2月中旬
Bashonto	(Spring)	2月中旬－4月中旬

ベンガル月名

<月名>		<月>
Boishakh	(ボイシャク)	4月中旬－5月中旬
Joishtho	(ジョイシュト)	5月中旬－6月中旬
Ashar	(アシャル)	6月中旬－7月中旬
Srabon	(シュラボン)	7月中旬－8月中旬
Bhadro	(バッドロ)	8月中旬－9月中旬
Ashshin	(アッシン)	9月中旬－10月中旬
Kartik	(カルティク)	10月中旬－11月中旬
Agrahayon	(オグロハヨン)	11月中旬－12月中旬
Poush	(ポウシュ)	12月中旬－1月中旬
Magh	(マーグ)	1月中旬－2月中旬
Falgun	(ファルグン)	2月中旬－3月中旬
Choitra	(チョイトロ)	3月中旬－4月中旬

基础数据表六

[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]

基础数据表七

[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]

付属資料

4．度 量 衡 換 算 表

度量衡換算表

長さ

1 inch	= 25.40 millimeter.
1 cm	= 0.3937 inch.
1 foot	= 0.3048 meter =12 inch
1 meter	= 3.281 feet.
1 yard	= 0.9144 meter =36 inch.
1 mile	= 1.609 kilometer .

量

1 gallon	= 4.5425 liter.
1 liter	= 0.22 gallon.
1 pound	= 453.592 gram.
1 kilogram	= 2.205 lbs (pound).
1 hectare	= 2.4711 acre.
1 tola	= 180 grains tory = 11.664 gram.
1 chattack	= 5 tola = 58.32 gram.
1 poa	= 4 chattack =20 tola = 233.28 gram.
1 seer	= 4 poa =80 tola = 0.9331 kg
	= 2.05725 lbs (pound).
1 maund	=40 seers = 37.3261 kilogram
	= 82.29 lbs (pound).

面積

1 acre	= 100 decimal = 3 bighas = 0.4047 hectares = 43560 square feet = 4840 square yards.
1 bigha	= 33.3 satangsho = 33.3 decimal.
1 square mile	= 640 acre = 33.3 decimal.

重量

10maunds/acre	= 0.95 ton/hectares.
1 ton/hectares	= 10.5 maunds/acre.
Jute 1 bale	= 200 kilogram = 5.38 maunds.
1 cubic second	= 1 cubic foot per second = 0.028 cubic meter per second.
1 cubic foot	= 28.317 liter = 0.02832 ㎥

長さ

1 hat	=18 inches.
1 goju	= 1 yard = 2 hat.

医学伦理学案

1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
[illegible]	
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
	[illegible]
[illegible]	
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
[illegible]	
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]
[illegible]	
1 [illegible]	[illegible]
1 [illegible]	[illegible]

付属資料

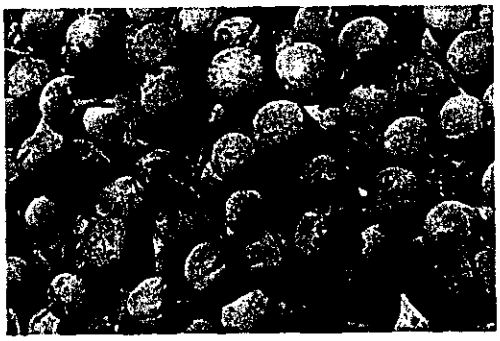
5．野　菜　の　写　真　集

1. 和　名：ナ　ス
2. ベンガル語名：　বেগুন
3. 品種名：シングナット（デシ）

1. 和　名：ナ　ス
2. ベンガル語名：　বেগুন
3. 品種名：ジュムカ（デシ）

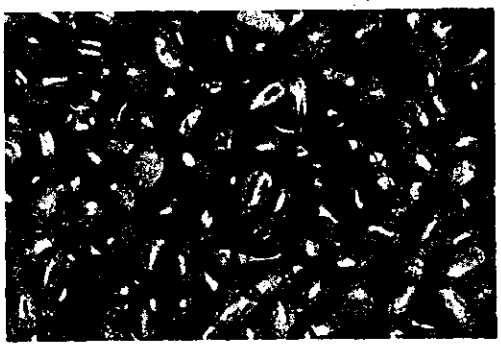
1. 和　名：ナ　ス
2. ベンガル語名：　বেগুন
3. 品種名：ボーラナット（デシ）

1. 和　名：ナ　ス
2. ベンガル語名：　বেগুন
3. 品種名：デ　シ

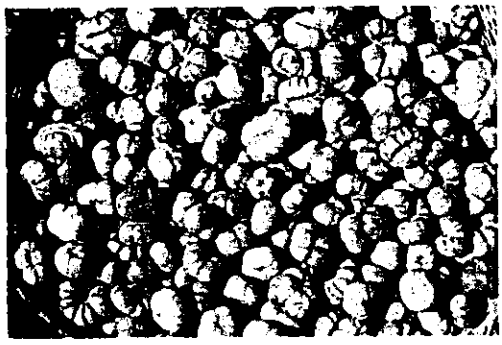


1. 和　名：ナ　ス
2. ベンガル語名：বেগুন
3. 品種名：カタ（デシ）

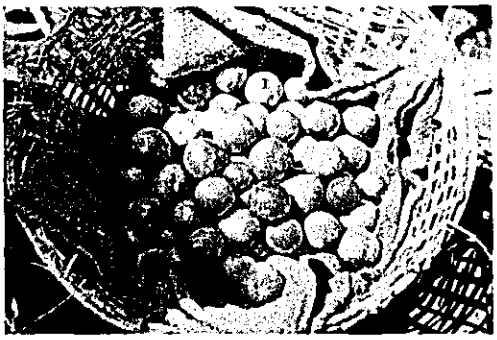
1. 和　名：ナ　ス
2. ベンガル語名：বেগুন
3. 品種名：タール（デシ）



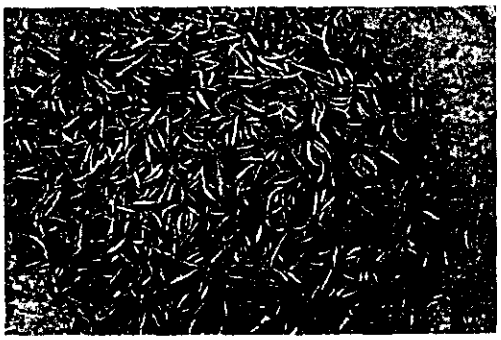
1. 和　名：トマト
2. ベンガル語名：টমাটো
3. 品種名：ローマＶＦ



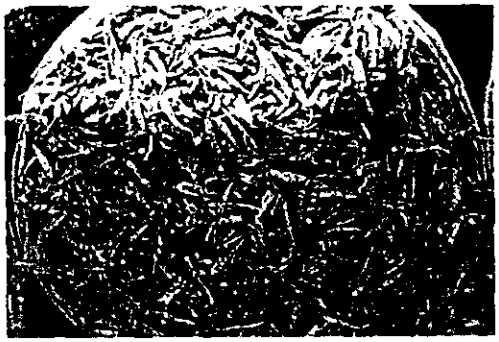
1. 和　名：トマト
2. ベンガル語名：টমাটো
3. 品種名：デ　シ



1. 和　名：トマト
2. ベンガル語名：　টমাটো
3. 品種名：不　明



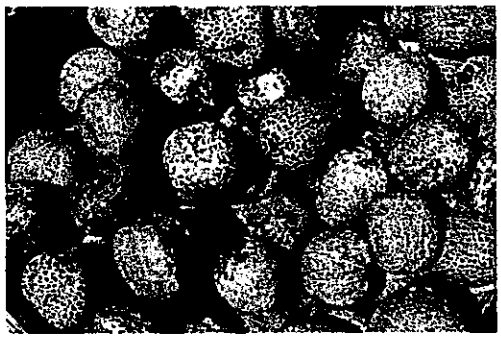
1. 和　名：トウガラシ(生)
2. ベンガル語名：　মরিচ
3. 品種名：（デシ）



トウガラシ（乾燥）

1. 和　名：キュウリ
2. ベンガル語名：　শসা
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：キュウリ
2. ベンガル語名：শসা
3. 品種名：キーラ（デシ）



1. 和　名：キュウリ
2. ベンガル語名：শসা
3. 品種名：キーラ（デシ）

1. 和　名：スイカ
2. ベンガル語名：তরমুজ
3. 品種名：ポテンガ（デシ）

1. 和　名：メロン
2. ベンガル語名：বাংগি
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：カボチャ
2. ベンガル語名：　মিষ্টি কুমড়া
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：トウガン
2. ベンガル語名：　চাল কুমড়া
3. 品種名：ディミ（デシ）

1. 和　名：ユウガオ
2. ベンガル語名：　লাউ
3. 品種名：ディク（デシ）

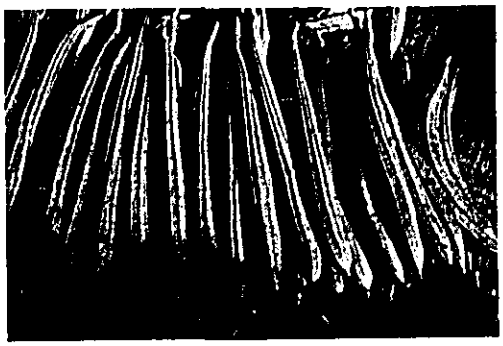
1. 和　名：ユウガオ
2. ベンガル語名：　লাউ
3. 品種名：テウンバ（デシ）

メロンとスイカ

写真左側一見カボチャの様にみえるのが在来種のメロン。

写真右側とつり上げてあるのがスイカ，品種　Top－yield。

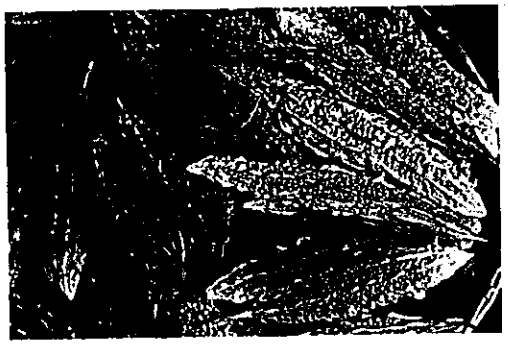
1. 和　名：ヘチマ（写真左側）
2. ベンガル語名：ধুন্দুল
3. 品種名：デ　シ



1. 和　名：トカドヘチマ
2. ベンガル語名：ঝিঙা
3. 品種名：デ　シ

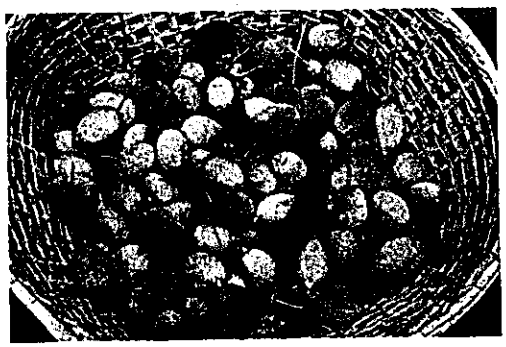
1. 和　名：ヘビウリ
2. ベンガル語名：চিচিঙা
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：ニガウリ(小)
2. ベンガル語名：উচ্ছে
3. 品種名：デ　シ

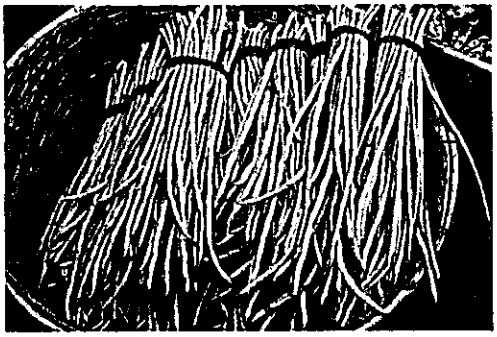


1. 和　名：ニガウリ(大)
2. ベンガル語名：করলা
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：ヤサイカラスウリ
2. ベンガル語名：পটল
3. 品種名：デ　シ



1. 和　名：モクベッシ
2. ベンガル語名：কাকরল
3. 品種名：デ　シ

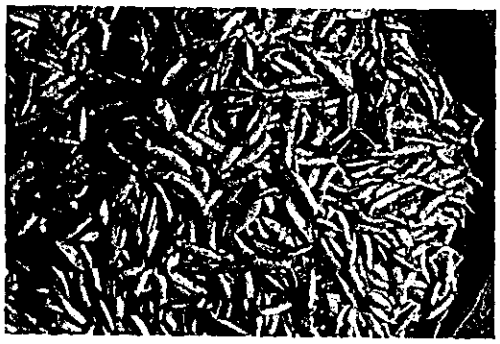


1. 和　名：ジュウロクササゲ
2. ベンガル語名：বরবটি
3. 品種名：デ　シ

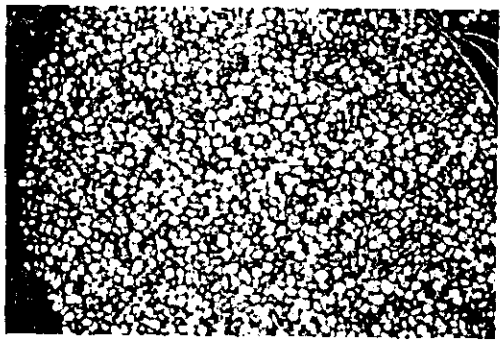
1. 和　名：ジュウロクササゲ
2. ベンガル語名：বরবটি
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：フジマメ
3. ベンガル語名：শীম
3. 品種名：バターソイ（デシ）

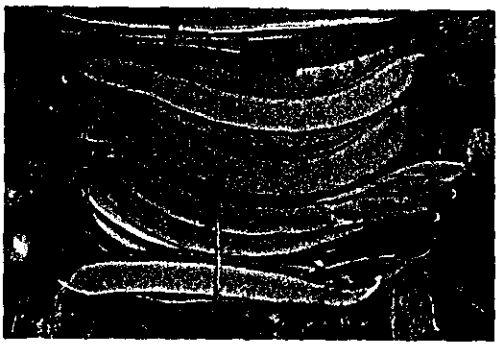
1. 和　名：フジマメ（種子）
2. ベンガル語：শীম
3. 品種名：デ　シ



1. 和　名：エンドウ
2. ベンガル語名：মটর শুঁটী
3. 品種名：不明

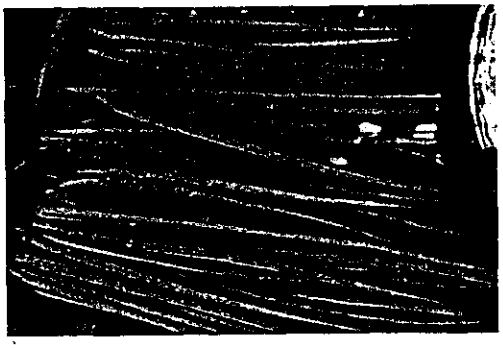


1. 和　名：エンドウ（種子）
2. ベンガル語名：মটর শুঁটী
3. 品種名：不明



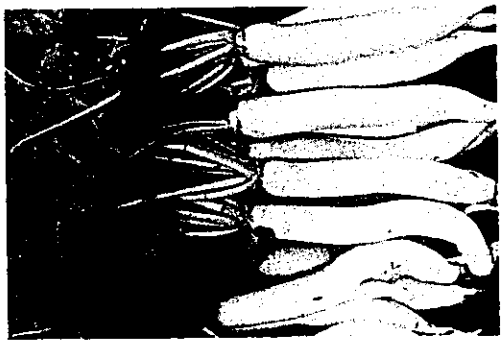
1. 和　名：ナタマメ
2. ベンガル語名：মাখন শীম
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：オクラ
2. ベンガル語名：ঢেঁড়শ
3. 品種名：デ　シ

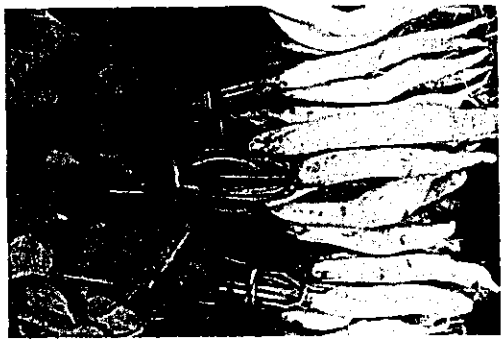


1. 和　名：ワサビノキ
2. ベンガル語名：সজিনা
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：カ　ブ
2. ベンガル語名：শালগম
3. 品種名：ヨーロッパ種



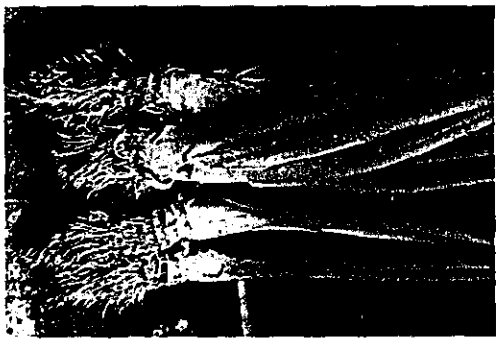
1. 和　名：ダイコン
2. ベンガル語名：মূলা
3. 品種名：宮重（日本種）



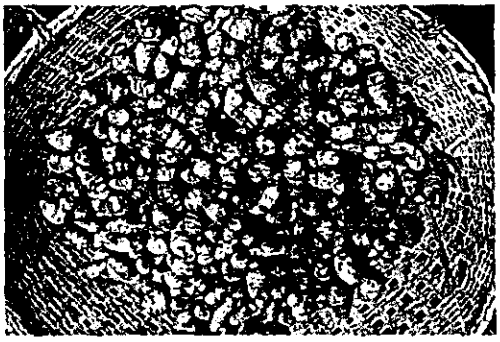
1. 和　名：ダイコン
2. ベンガル語名：মূলা
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：ダイコン
2. ベンガル語名：মূলা
3. 品種名：レッド・ボンベイ

1. 和　名：サツマイモ
2. ベンガル語名：মিষ্টি আলু
3. 品種名：デ　シ



1. 和　名：ミズイモ
2. ベンガル語名：পানি কচু
3. 品種名：デ　シ

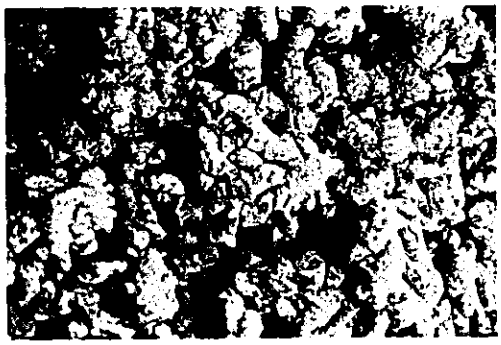


1. 和　名：サトイモ
2. ベンガル語名：মুখি কচু
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：ヤツガシラ
2. ベンガル語名：পঞ্চমুখী কচু
3. 品種名：デ　シ

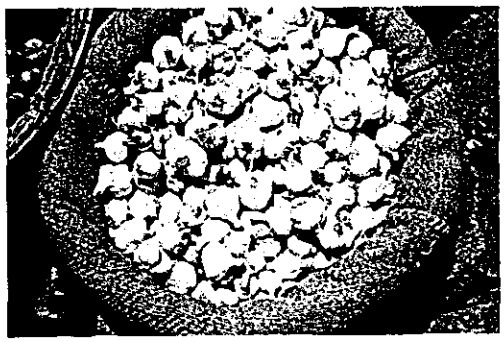
1. 和　名：ゾウコンニャク
2. ベンガル語名：ওলকচু
3. 品種名：デ　シ

ゾウコンニャクの茎



1. 和　名：ショウガ
2. ベンガル語名：আদা
3. 品種名：デ　シ

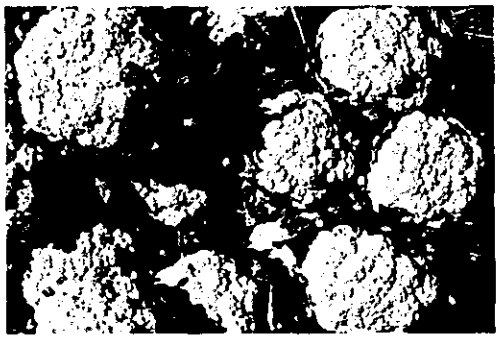
1. 和　名：ウコン
2. ベンガル語名：হলুদ
3. 品種名：デ　シ



1. 和　名：ニンニク
2. ベンガル語名：রসুন
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：タマネギ
2. ベンガル語名：পেঁয়াজ
3. 品種名：デ　シ

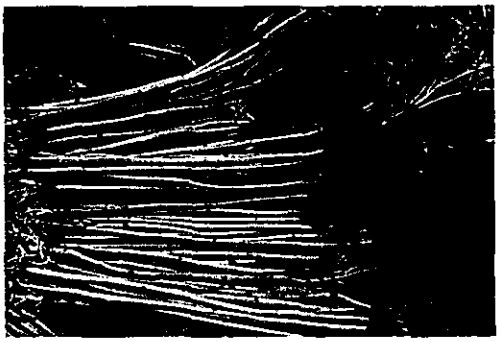
1. 和　名：キャベツ
2. ベンガル語名：বাঁধাকপি
3. 品種名：ＫＹ　クロス



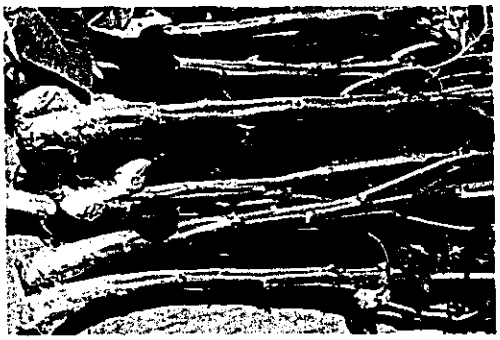
1. 和　名：カリフラワー
2. ベンガル語名：　ফুলকপি
3. 品種名：インド種

1. 和　名：フダンソウ
2. ベンガル語名：পালংশাক
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：カラシナ類
2. ベンガル語名：　রাইশাক
3. 品種名：デ　シ



1. 和　名：ハゲイトウ
2. ベンガル語名：　ডাঁটা
3. 品種名：早生品種



1. 和　名：ハゲイトウ
2. ベンガル語名：ডাঁটা
3. 品種名：晩生品種

1. 和　名：ヒ　ユ　ナ
2. ベンガル語名：লালশাক
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：エンツアイ，ヨウサイ
2. ベンガル語名：কলমীশাক
3. 品種名：デ　シ

1. 和　名：ワラビ
2. ベンガル語名：ঢেঁকিশাক
3. 品種名：デ　シ

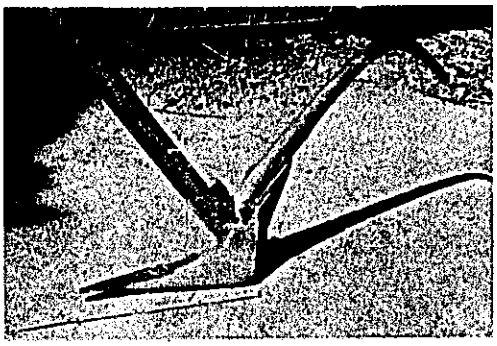
1. 和　名：ツルムラサキ
2. ベンガル語名：পুঁইশাক
3. 品種名：緑茎種

食用のカボチャのツル

食用のユウガオのツル

付属資料

6．農 具 の 写 真 集

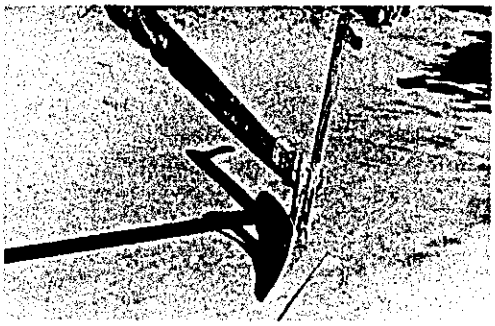


ランゴール （ Langol ）

二頭立ての牛にひかせる犂，土台は木で先端部分に鉄の板が付けられている。

土壌は反転せず10cm前後の浅耕となる。製作費 100 taka （ 約 1,500 円 ）

耐用年数 2 ～ 3 年。

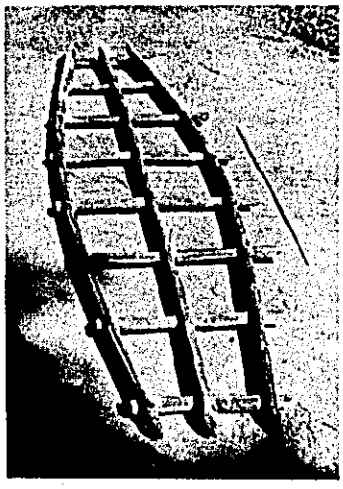


ランゴール（改良型）

コミラ地区など一部で使用されている反転型改良犂。鉄製で15～20cmの深耕可能。

製作費　300 taka （ 約 4,500 円 ）

耐用年数10年。



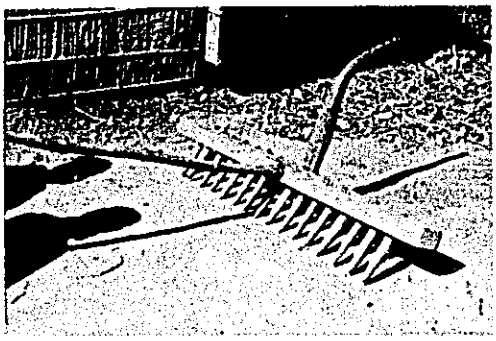
モ　イ （ Moi ）

二頭立ての牛にひかせる竹製の砕土，整地用農具。

上に人がのって砕土，整地する。

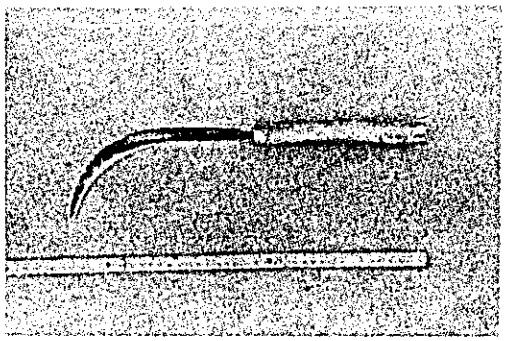
製作費15 taka （ 約225円 ）

耐用年数　2 年。



アスラ （ Asra ）

直播アウス，アモン稲の間引き用農具。野菜にも利用し，種子を畑全面に散播するものは，播種後種子と土壌を混和するためにこれを牛でひっぱる。

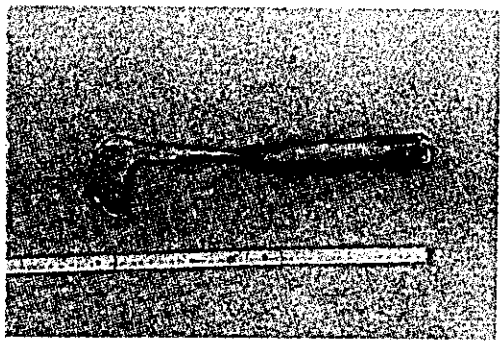


カ　チ

最も一般的な鎌で，除草，稲の収穫などに使用される。

製 作 費　3 taka（約45円）

耐用年数　2年

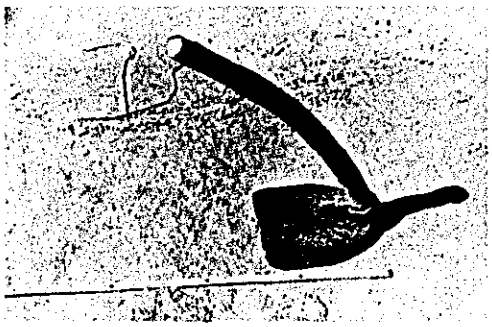


ニ ラ ニ ー

大きさ，形は様々であるが，前に押出す型の除草用農具。

製作費　2 taka（約30円）

耐用年数　2年



コダール

ほぼ全国でこのタイプの鍬が使用されており，柄の長さが60cm前後と短い。

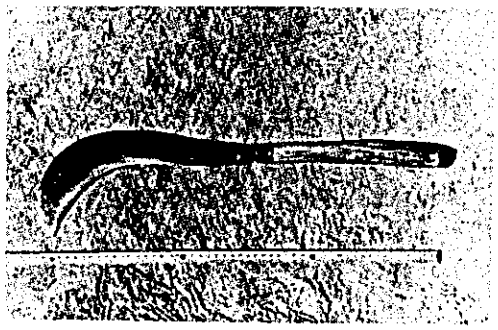
大きさは，大・中・小とあり作業によって使い分けている。

製作費　大型 … 75 taka(約1,125円)

中型 … 48 taka(約 720円)

小型 … 30 taka(約 450円)

耐用年数　10年

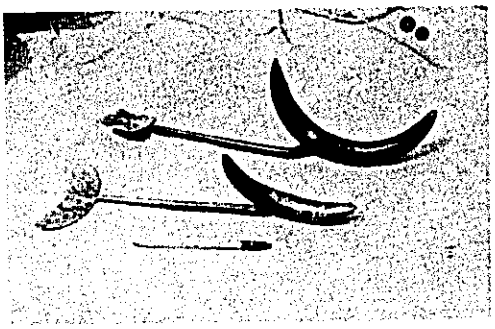


ダ　オ

広く使用されている鉈。野菜苗の定植時，定植場所に小さな植穴をあけるにも使用される。

製 作 費　20 taka（約300円）

耐用年数　2～3年



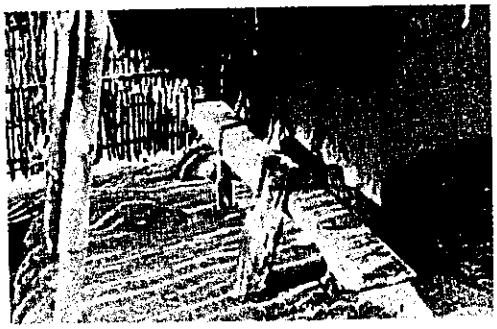
ニラニー

柄の部分は普通木で作られているが，時には水牛の角を利用したものも見られる。除草用農具。

大きさは，様々である。

製 作 費　5~8 taka（約75～120円）

耐用年数　3～5年



ディギー

足踏み式もみすり機

製 作 費　70～100 taka（約1,050～1,500円）

耐用年数　約20年

ガ イ ル（臼）

シ　ア（杵）

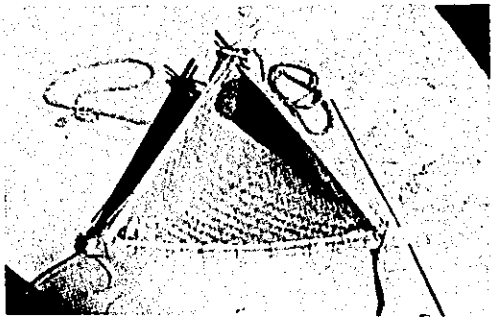
もみすり，製粉用農具。

チャキー

石臼（いしうす）　豆類を粉砕する時に使用される

製 作 費　不　明

耐用年数　数十年

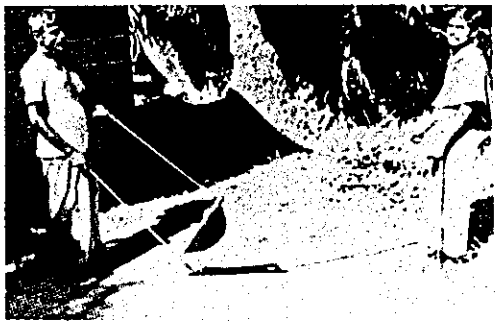


ヘウトゥ（Swing Baskets）

各地で呼称異なる。竹製，揚水カゴ。池や川から揚水するのに広く使用されている。

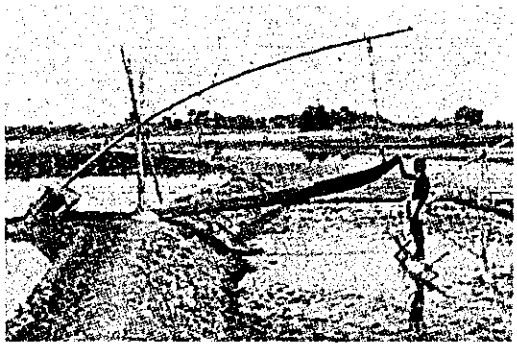
製 作 費　8 taka（約120円）

耐用年数　1年



ヘウトゥの使い方

写真の様に，2人1組になって使用し，カゴにつけた綱を上手に操作して揚水する。



ドーン　（Doon）

各地で呼称は異なるが，一般にはDoon（舟型の揚水農具）といわれている。

付属資料

7．英名・ベンガル語名
呼称対比表

〔英　名〕	〔ベンガル語名〕	〔読み方〕
1. Egg plant	বেগুন	Begun
2. Tomato	টম্যাটো	Tomat
3. Chilli plant	মরিচ	Morch
4. Cucumber	শসা	Shosha
5. Bottle Gourd	লাউ	Lan
6. Wax Gourd	চাল কুমড়া	Chalkumra
7. Squash	মিষ্টি কুমড়া	Misti Kumra
8. Water Melon	তরমুজ	Korla
9. Melon	বাংজি	Tormuj
10. Balsam Pear	করলা	Bangi
11. Balsampear	উচ্ছে	Uchre
12. Snake Gourd	চিচিঙ্গা	Chichinga
13. Angled Loofad	ঝিঙ্গা	Jhinga
14. Smooth Loofah	ধুন্দুল	Dhundul
15. Ivy Gourd	পটল	Potol
16. Spiny Bitter Cucumber	কাকরল	Kakrol
17. Soy Bean	সোয়াবীন	Soybean
18. Ground Nut	চীনা বাদাম	Chinabadam
19. French bean	ফ্রেনচি বীন	French bean
20. Garden Pea	মটর শুটী	Motor Shunti
21. Yard Long Bean	বরবটি	Borkoti
22. Lablab	সীম	Sheem
23. Sword Bean	মাখন সীম	Makhon Sheem
24. Four Angled Bean	চারকোনী সীম	Charkoni Sheem
25. Lima Bean	লাইমা বীন	Laima bean
26. Mung Bean	মুগ	Mung
27. Pigeog Bean	অড়হড়	Orhor
28. Gram	ছোলা	Chola
29. Grass Pea	খেসারী	Kheshari
30. Lentil	মসুরী	Moshur

〔英　名〕	〔ベンガル語名〕	〔読み方〕
31. Ladys Finger	ঢেঁড়শ	Dhenrosh
32. Horse Radish Tree	সজিনা	Shojina
33. Radish	মূলা	Mula
34. Turnip	শালগম	Shalgom
35. Beet root	বিট	Beat
36. Carrot	গাজর	Gajor
37. Potato	আলু	Alu
38. Sweet Potato	মিষ্টি আলু	Misti alu
39. Taro	মুখী কচু	Mukhi Kochu
40. Elephant Foot Yam	ওল কচু	Oolkochu
41. Onion	পেঁয়াজ	Peyaj
42. Cabbage	বাঁধাকপি	Bandhakopi
43. Cauliflower	ফুলকপি	Phulkopi
44. Chinese Cabbage	চিনা বাঁধাকপি	China bandha Kopi
45. Kholrabi	ওল কপি	Oolkopi
46. Lettuce	লেটুস	Lettuce
47. Swiss Chard	পালংশাক	Palongshak
48. Indian Mustard	সরিসা	Shorisha
49. Edible Amaranth	ডাঁটা	Danta
50. Edible Amaranth	লালশাক	Lalshak
51. Water Convolvulus	কলমীশাক	Kolmi Shak
52. Ceylon Spinach	পুঁইশাক	Puishak
53. Garlik	রসুন	Roshun
54. Ginger	আদা	Ada
55. Turmeric	হলুদ	Holud
56. Taro	পানি কচু	Pani Kochu
57. Taro	পঁঞ্চমুখী কচু	Ponchomukhi Kochn
58. Indian Mustard Group	রাইশাক	Rai Shak
59 Bracken	ঢেঁকিশাক	Dhekisheck

参　考　文　献

1. Dr. A.Alim, 1974, An Introduction to Bangladesh Agriculture, Swadesh Printing Press.
2. E・J・H・コーナー, 渡辺清彦, 図説　熱帯植物集成
3. Enamul Haq 他編, 1979, Meet Bangladesh, Department of Films & Publications, Govnt. of Bangladesh.
4. 長田満江他著, 1980, バングラデシュの農業, 財国際農林業協力協会, 国別研究シリーズ No 6.
5. 改訂新版, 海外生活の手引－第4巻　南西アジア編, 財世界の動き社
6. কামাল উদ্দীন আহমদ, ফুল ফল ও শাক সব্জী （カマール・ウッディン・アホマッド著「果樹及び野菜」）
7. 海外移住事業団, 南米農業要覧
8. Statistical Pocket Book of Bangladesh, 1978, Bangladesh Bureau of Statistics, Statistics Division, Govnt of Bangladesh
9. Dr. Suteki Shinohara, 1980, Guide book for Development of Vegetable Horticulture with Capable Seed Production in the Monsoon Sub-tropics, 養賢堂.
10. 中村　哲, 太陽と水と緑の国Bangladesh, 海外派遣教員帰国報告
11. Haroun Er Rashid, 1977, Geography of Bangladesh, University Press Ltd.
12. 星川清親, 千原光雄, 食用植物図説
13. G.A.C.Herkiots, Vegetable in South East Asia
14. J.W. Purseglove, Tropical Crops.

バングラデシュ

野菜栽培ハンドブック

—慣行野菜栽培調査報告書—

昭和57年3月

編　者　野菜栽培ハンドブック編集委員

発行所　国際協力事業団青年海外協力隊事務局

〒150 東京都渋谷区広尾4－2－24

電　話　(03) 400－7261(代)

印刷所　日青工業株式会社

非売品